

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

1. 入学定員 60 名、収容定員 240 名に設定したことについて

－資料 1 及び資料 2－

基本計画書（別記様式第 2 号 その 1 の 1）に示すとおり、本学既設の 5 学部 8 学科は、全て保健・医療・福祉に貢献する人材養成の学問分野で構成しており、いずれも卒業後当該職種の国家試験に合格することが求められる。入学定員は、薬学部薬学科（入学定員 160 名）と看護福祉学部看護学科（同 100 名）以外は、いずれも 1 学科の入学定員が 40 名～80 名の小規模な学科からなる。

この度、認可申請を行う医療技術学部臨床検査学科は、基本計画書に記載の通り、2019 年（平成 31 年）4 月入学定員 60 名で開設する予定である。

定員設定に当たっては、全国の臨床検査技師養成大学の入学定員平均が 70 名という状況を参考に、教育が最も効果的に行われ、学生確保と卒業後の進路が安定的に確保されることを前提として決定した。

決定に当たっては、1) 全国における臨床検査技師養成大学入学定員及び過去 5 年間の志願状況、2) 東北・北海道における臨床検査技師養成大学の志願動向（以上資料 1）、および、同養成専門学校の入学状況、3) 本学が独自に実施した受験生のニーズ調査の結果（資料 2）等様々な観点に基づき検討した結果、本学が本学科を設置した場合、長期的かつ安定的に学生を確保できるとの見通しを得ることが出来た。（詳細の説明は以下「イ」の項目で行う。）

資料 1 臨床検査技師養成大学入学定員一覧（2013 年度～2017 年度）

臨床検査技師養成大学志願状況（2013 年度～2017 年度）（一般、センター）

臨床検査技師養成大学志願状況等推移グラフ（2013 年度～2017 年度）（一般、センター）

北海道・東北における臨床検査技師養成大学志願状況等推移グラフ（2013 年度～2017 年度）（一般、センター）

資料 2 新学部学科設置計画に係るニーズ調査報告書（高校生編、事業所編）

2. 本学看護福祉学部臨床福祉学科の定員超過率が 4 年間平均 0.7 未満であることについて

－資料 3 及び資料 4－

基本計画書（様式第 2 号その 1 の 1）の既設大学等の状況欄に記載の通り、看護福祉学部臨床福祉学科の 4 年間定員超過率が 0.69 である。本学科は、2013 年定員を大幅に超過した入学生を確保しているが、その後定員未充足で推移しており 2014 年以降 4 年間の定員充足率の平均は、69.1%である。福祉系学科に於ける定員充足状況を本学の位置する北海道と、関東以北（本学が主に募集対象とする地域）で見ると以下の通りである。（詳細の説明は以下「イ」の項目で行う。）

- ・北海道内福祉系学科を有する 7 大学の 4 年間の入学定員平均充足率は、83.2%である。
- ・そのうち 5 大学が 4 年間の入学定員平均充足率が 70%を割っている。
- ・4 年間の平均が 100%を超過しているのは、1 大学のみである。
- ・関東以北における社会福祉士養成課程を有する私立大学学科の 2013 年以降過去 5 年間の一般入試とセンター利用入試志願状況は、一部の有力な大学と東京都内に位置する大学を除くと、どの地域においても福祉系学部は、学生募集で苦勞をしていることが推定される。
- ・東北地区は、13 大学中宮城県内の 2～3 大学を除いて 10 大学は定員未充足の状態が続いていると推定される。

・関東地区は、都内に有名大学が集中していて一部の大学を除いてほぼ定員は確保している
と見込まれるが、東京都以外の各県においては未充足大学が多いと推定される。

本学科の学生確保に向けた具体的取り組みについては、本文「②-2. 臨床福祉学科の学生確保に向けた取り組みについて」に記載しているが、保健・医療・福祉の連携・統合教育を教育理念とする本学において、いずれの学部も臨床福祉学科との連携教育は、医療系の多職種連携を推進する上でも必要なことであり、臨床福祉学科が今後も本学における教育の要のひとつとなっていくことは間違いのないところである。

高齢社会において、医療従事者の高度化と共に人間性豊かな福祉人材の確保が求められる。

本学は、2014年度入試から福祉・介護専門職の人材育成を図ることを目的に「福祉・介護人材育成奨学生制度」を導入して人材育成に努めている。これは4年間の学納金総額480万円の内390万円を減免し、納入総額が90万円とする制度である。2014年度入試から取り入れて2017年度入試まで合計35名という多くの学生がこの奨学金の恩恵を受けている。

本学の教育理念と、他大学に例を見ない奨学金制度の内容が、受験生に十分に届いていないということと、福祉の担い手に対する処遇の改善が進まないという事情もあり、志願者が伸びないと同時に受験して合格しても入学に至らないということに繋がっていると思われる。

本学の教育理念である保健・医療・福祉の連携・統合教育の具体的な授業の取組みと、より利用しやすい奨学金制度の開発を進めながら、本文「②-2. 臨床福祉学科の学生確保に向けた取り組みについて」に示す方策を行って受験生に本学の魅力を十分理解してもらうように努力する。

資料3 北海道における福祉系学部学科入学者定員充足率推移（2014年～2017年）

資料4 社会福祉士資格取得可能大学志願状況（2013年度～2017年度）（私立大学・関東以北）

関東以北社会福祉士養成私大志願状況等推移グラフ（2013年度～2017年度）

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1. 全国における臨床検査技師養成大学入学定員および過去5年間の志願動向 ー資料1ー

- ・2013年度から2017年度の5年間における全国の養成大学の入学定員は、20校・765名（京都大学は、2017年度の入学定員が不明のため、2017年度は京都大学を除くと19校・728名）、公立大学が3校・85名と変化なく推移している。
- ・私立大学は、2013年度が20校、1,375名であったものが2017年度は29校（9校45%増）、2,050名（675名49%増）と、校数・入学定員とも45%以上増加した。
- ・志願者については、一部大学において、推薦入試やA0入試の志願者数が非公表のため、公表されている一般入学試験とセンター利用入試の志願人数に基づいて算出した。
- ・過去5年間の志願動向は、国立大学は2,400名～2,600名台で推移、公立大学は2016年度に164名と落ち込んだものの毎年200名～300名台で推移している。
- ・資料1に示す通り、志願倍率は国立大学も公立大学も常に3倍以上を保っている。国公立大学は、入学試験前に選抜機能が働いて合格者はほぼ入学すると見込まれるので、実質1.1倍を超えれば入学者を確保しているといえる。
- ・私立大学は、この5年間で校数・入学定員とも45%程度増加しているが、志願者は、多少の上下はあるもののほぼ1万人前後で推移している。特に2017年度は、12,000人を上回っている。私立大学において通常、定員対比5倍、実質3倍を超えれば選抜機能が働くといわれている。
- ・以上から、国公立大学は選抜機能が働いて、定員を充足しているといえる。私立大学は、1大学を除いて例年3倍以上の倍率があり、平均すると例年8～11倍の志願倍率を確保しているので、選抜機能が十分働いて定員も確保する状態が続いているといえる。
- ・なお、京都大学（入学定員37名）は、2017年度学科再編を行い、人間健康科学科4専攻から3コースに変更し、臨床検査技師養成課程は、臨床技術科学専攻から総合医療科学コースに変

更した。また、学科入学定員を143名から100名にし、専攻別に行っていた入学試験を学科一括募集にそれぞれ変更したため、2017年度の臨床検査技師養成課程の入学定員は不明である。そのため、上記統計には含めていない。

2. 東北・北海道における臨床検査技師養成大学の志願動向、および同養成専門学校の入学状況

—資料1—

- ・北海道、東北地区における臨床検査技師養成大学は、北海道大学、東北大学、弘前大学の国立3大学で、公立、私立は設置されていない。このことから、本学が60名の入学定員で養成学部として新たに参入しても学生確保は十分期待できるといえる。
- ・3大学の2013年度から2017年度の5年間における入学定員は、114名であるが推薦を除いた定員は、2013年度・14年度は103名、15年度は99名、16年度は96名、17年度は94名である。
- ・3大学の過去5年間の推薦を除いた志願動向は、2017年度に300名台に落ち込んだものの毎年400名台で推移している。
- ・2017年度の志願動向を見ると、上記3大学合計の入学定員94名に対して313名の志願者であった。国立大学の場合、定員がほぼイコール合格者であり入学者であるとすると、3大学合計で200名超が臨床検査学科を志願して不合格であったこととなる。
- ・私立医療系学部は、授業料が国公立大学に比べ高額であるため、当該学部学科進学希望者は、浪人や道外大学への進学を避け、極力地元大学へ進学をする者が多い。本学が臨床検査学科を開設した場合、北海道内の私立医療系学部希望者は勿論のこと、理系国立大希望者や上記3大学を希望していて希望通りとならなかった者のうち相当数を本学受験に取り込むことが期待できる。
- ・また、北海道における臨床検査技師の養成は、従来は主に私立の専門学校が担ってきている。専門学校の志願動向は公表されていないため不明であるが、入学者の数は過去4年間分本学が独自に聞き取り調査した結果、以下の通り確認できた。

北海道・東北における臨床検査技師養成専門学校の入学状況

地区	学校名	設置年	入学定員(人)	入学者(人)			
				2014年	2015年	2016年	2017年
北海道	北海道医学技術専門学校(緑蔭会)	1974	40	39	40	34	41
	札幌医学技術福祉歯科専門学校(西野学園)	1982	80	73	72	61	73
	医療歯科専門学校(吉田学園)	2016	40	—	—	38	43
東北	福島県立総合衛生学院	1971	20	不明	不明	20	20

- ・北海道は、従来2校であったが2016年から吉田学園医療歯科専門学校が参入した。
- ・北海道の3校の定員充足率は1割程度の未充足で推移している。
- ・東北は、福島県立総合衛生学院1校のみである。同校ホームページによると受験倍率は過去5年間の平均が2.8倍であり、2016年度および2017年度の入学者は20名であることから、過去においても定員は充足していると推定される。
- ・一般的に大学志願者と専門学校志願者の学力、家庭の経済層は明らかに違うため、専門学校の動向はあまり参考にはならないとされているが、医療系については卒業後の国家資格取得を目指すことから、受験者層の重複はある程度見込まれる。
- ・従来、東北・北海道の臨床検査技師養成の大学進学希望者は、国立3大学の合格が困難と判断した場合は、他の医療系職種に志望変更するか、関東以南の大学を目指すしかなかったと推定される。
- ・一方、北海道内の高校進路指導部担当教員に伺うと、北海道大学の臨床検査学科を不合格にな

った者は、弘前大学の臨床検査学科に進学するかまたは、札幌市内の上記専門学校に進学しているとのことである。

- ・こうしたことから、本学の臨床検査学科が設置されると、関東方面へ進学していた者や専門学校に進学していた者の中から相当数が本学を志願し、入学してくることが見込まれる。
- ・また、臨床検査学科の基本的な受験者層は、大学の医療系や生物系、化学系等の理系進学希望者でもあるので、それらの受験者が対象になることも十分見込まれる。
- ・わが国の高齢社会における高度な医療技術を有する臨床検査技師養成の大学教育は益々必要とされており、本学の北海道における最初の私大臨床検査学科の設置は、地元北海道のみならず東北、更には関東地方からの受験者の掘り起こしに大きく貢献することが期待できる。

3. 受験生のニーズ調査結果（本学が独自に実施した高校生進学アンケート調査結果）－資料2－
（本計画は、当初2018年（平30）4月開設を目指していたため、対象は当時（2016年（平28））の高等学校2年生であったが、設置計画が1年延びたため、本来のアンケート対象は更に1学年下の学年となる。しかし、基本的な本学への関心に大きな変動はないと見込まれるため、当該調査結果を適用した。調査時の学部名も申請内容と異なっているが、学科名が同じであるためこれもそのまま適用した。）

- ・対象：本学既設学部への進学実績等から選定した北海道内の高等学校に在籍する2年生52校13,139人の内、回答のあった39校7,823人。（回答率59.5%）

受験生のニーズ調査結果（資料2 ニーズ調査報告書 高校生編 P15）

項目	人数（人）	構成比（%）	備考
全体	7,823	100.0	—
1. 進学を希望する	44	0.6	合格すれば本学に進学を希望する者
2. 進学を検討する	325	4.2	本学の受験を検討する者
3. 進学を希望しない	4,970	63.5	—
4. 分からない	1,435	18.3	—
5. 未回答・無効回答	1,049	13.4	—

北海道内の高校2年生（全日制）41,104人（2016年度）（学校基本調査から）

北海道内の大学等への進学率：43.4%（2016年度）（学校基本調査から）

- ・以上から本学臨床検査学科への進学希望予測を以下の通り推計できる

受験者数予測

41,104人（高校2年生）×43.4%（道内進学率）×4.2%（本学進学検討率）≒749人

入学者数予測

41,104人（高校2年生）×43.4%（道内進学率）×0.6%（本学進学希望率）≒107人

- ・北海道内において本学臨床検査学科への進学を検討している者は、749人が見込まれる。
- ・同様に本学に合格したら入学したいとの希望を持っている者は、107人が見込まれる。
- ・本学科の設置について何も広報をしていない2016年8月の時点で以上の結果が得られたことは、今後の広報展開によって、本学を受験し、合格したら入学したいと考えている者が増加する可能性が大きいことを示している。
- ・なお、調査は北海道内の高等学校だけを対象として上記の結果が得られたが、本学の既設学部在学学生は、東北地方・関東地方を始めとして全国から入学しているので、臨床検査学科も東北地方・関東地方からの入学生が期待できる。
- ・以上から、本学臨床検査学科の設置は、受験生、父母、高校の先生方から大きな期待を持って受け入れられ、60名の入学定員は、十分充足可能と見込まれる。

4. オープンキャンパスにおける参加者と反応

- ・今年の3月30日、認可申請後に高校2年生を対象に開催した全学的なオープンキャンパスには、本学科に17名の参加があった。多くは札幌市内と周辺からの参加であるが、稚内市や秋田県からの参加もあった。専願希望が3名、併願希望が11名（併願先は弘前大学、札幌医科大学、新潟医療福祉大学等）で、終了後のアンケートには、満足した14名（82.4%）、ほぼ満足した3名（17.6%）と全員から満足した旨の回答が寄せられた。
- ・自由意見欄には、①道内私立大学で臨床検査学科が設置されるのは初めてなので注目している、②臨床検査技師になるのが夢なので受験したい、③滅多に体験できない実験や観察をすることができて、医療に対する視野や幅が広がった。臨床検査技師になりたいという気持ちが強くなったなどの意見が寄せられた。
- ・6月17日（日）に2回目を開催したが、57名の参加があった。学期の途中でもあるので札幌市内からが多かったが、函館市や帯広市、また、芽室町、弟子屈町、倶知安町など遠方からの参加もあった。なお、認可申請中のため予定を示すにとどまり、他学科と同様な広報活動は行っていない。
- ・今年度はこの後8月と9月にも開催を予定しているが、臨床検査学科は、上記2回とも本学9つの学科の中で看護学科、薬学部、理学療法学科に次いで4番目に参加者が多く集まった学科であった。来年4月開設する学科であるにも関わらず、高校生の関心と期待の度合いが大きいと実感できる。
- ・本学の従来の経験値から、オープンキャンパスに参加した高校生の受験率は、概ね60%である。他の媒体誌やホームページなどと比較すると最も効果的に高校生への訴求が期待できる手段といえるので、さらに工夫を重ねて受験への意識を高めたい。

5. 本学看護福祉学部臨床福祉学科の定員超過率が4年間平均0.7未満であることについて

a) 北海道における福祉系学部学科7大学の過去4年間の定員充足状況

—資料3—

- ・北星学園大学は、2015年に3学科の内1学科で定員が未充足であったが、それ以外は毎年定員を充足している。
- ・藤女子大学は、2014年、2015年は定員を充足しているが、2016年以降未充足状態である。4年間の平均は、92.5%である。
- ・本学は、資料には現れていないが、2013年定員を大幅に超過した入学生を確保しているが、その後は未充足で推移している。2014年以降4年間の定員充足率の平均は、69.1%である。
- ・北星学園大学、藤女子大学以外の5大学（本学を含む）は、4年間の充足率平均がいずれも60%台で推移している。
- ・北翔大学は、2014年に従来の福祉系3学科を1学科に統合して160名の入学定員を60名にする学部改組を行った。しかし、改組後も定員は充足できず4年間の充足率平均は、62.5%に止まっている。
- ・旭川大学は、2015年に入学定員を60名から40名と20名の削減をしている。しかし、定員削減後も充足できず4年間の充足率平均は、62.2%に止まっている。
- ・北海道内7大学の4年間の入学定員平均充足率は、83.2%となっている。
- ・4年間の平均を見ると北星学園大学以外の6大学は定員充足率が100%以下である。
- ・本学の充足率は、北星学園大学、藤女子大学に次いで北海道内では3番目に位置している。

b) 関東以北（本学が主に募集対象とする地域）における社会福祉士養成課程を有する私立大学学科の2013年以降過去5年間の一般入試とセンター利用入試志願状況

—資料4—

- ・志願状況が経年的に比較できる資料はないため、毎年8月に旺文社が発行する「蛍雪時代全国大学内容案内号」に掲載されている全国大学入試結果から、個別大学の当該年度の志願者数を引用して本学独自に作成した。なお、当該冊子に記載の数値は、各大学の一般入試とセンター利用入試の志願者数のみで、推薦入試やAO入試は2015年度以降調査されて

いないので、各年度一般とセンター利用入試の合計数値だけで一覧表を作成した。各大学の正確な志願者数は公表されていないが、この作業によって凡その傾向は把握できるはずである。

- ・対象地域は、本学が学生募集上重要と認識している北海道、東北、関東地方に所在する社会福祉士国家試験受験資格取得可能な福祉系学部学科とした。
- ・この調査によると、一部の有力な大学と東京都内に位置する大学を除くと、どの地域においても福祉系学部は、学生募集で苦勞をしていることが推定される。
- ・北海道の各大学の状況は、上記 a) に記載した通りである。志願状況は 7 大学の平均が 4 倍強である。
- ・本学は、一度の出願で複数の学部学科を併願できる方法（受験料は 1 回分のみ）を採用しているため、志願、合格の数字は高いが、臨床福祉学科に合格しながら他学部にも合格した者が、志望順位の低い臨床福祉学科への入学を選択しないという現象が起こる。そのため、定員を確保できない側面もある。
- ・全国の同系大学の入試制度は詳細には把握していないが、一般的に入学定員比の志願倍率が 3 倍を切る場合は、定員確保が厳しいといわれている。こうした観点から資料をみると、東北地区は、13 大学中宮城県内の 2～3 大学を除いて 10 大学は定員未充足の状態が続いていると推定される。
- ・関東地区は、都内に有名大学が集中していて一部の大学を除いてほぼ定員は確保していると思込まれるが、東京都以外の各県においては未充足大学が多いと推定される。

c) 本学における既設 8 学科の合格者の入学手続き率

－資料 5－

- ・本学における過去 5 年間の 5 学部 8 学科の志願・受験・合格・入学状況を年度毎、都道府県別に整理した。本学の入試形態は AO、推薦、一般前期、一般後期、センター利用前期、センター利用後期といくつかに分けて募集しているが、それら全てを合計してまとめたものが資料 5 である。
- ・そこから過去 5 年間の平均入学率を学科別に算出したのが下表である。
- ・5 年間の平均入学率は、薬学部と理学療法学科は合格者の 51%強が入学しており、看護学科が 43.9%と続いている。歯学部、臨床心理学科、作業療法学科、言語聴覚領法学科が 20%強であるが、臨床福祉学科が 17.9%と最も少なく、定員未充足の状態が続いていることの要因となっている。
- ・本学は、5 学部 8 学科合計の入学者数は常に入学定員を上回っていて、大学として入学定員が未充足になったことはないが、臨床福祉学科は未充足の状態が続いている。

本学過去 5 年間の平均入学率

	薬学部	歯学部	看護福祉学部	
	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科
入学定員(人)	160	80	100	80
合格者平均(人)	343.8	327.6	263.0	373.8
入学者平均(人)	176.4	68.2	115.4	66.8
入学率(%)	51.3	20.8	43.9	17.9

	心理科学部	リハビリテーション科学部		
	臨床心理学科	理学療法学科	作業療法学科	言語聴覚療法学科
入学定員(人)	75	80	40	60
合格者平均(人)	354.2	177.6	202.6	263.4
入学者平均(人)	72.4	90.8	47.8	66.0
入学率(%)	20.4	51.1	23.6	25.1

ウ 学生納付金の設定の考え方

—資料6—

1. 本臨床検査学科の学納金は、下表に示すとおりである。

初年度 (円)	
入学金	300,000
授業料	1,150,000
合計	1,450,000
全国平均	1,751,379

2年時以降の授業料年額 (円)	
授業料	1,450,000
合計	1,450,000

卒業までの総納入金額 (円)	
入学金	300,000
授業料	5,500,000
合計	5,800,000
全国平均	6,305,448

本学は、設置している全ての学部・学科の学納金について同系私立大学の中で可能な限り低廉に抑える努力をしている。臨床福祉学科と臨床心理学科は全国的に文系学部への傾向が強い中本学は、医療系に強い福祉士や心理士養成を目指して病院や福祉施設等の臨地実習を必修化しているため、授業料が他大学より若干高めとなっているが、薬学部、歯学部、看護学科、リハビリテーション系学科（理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚療法学科）の全ての学部・学科が入学時、卒業時共に同系学科の全国平均以下または最低位となっている。

本臨床検査学科は、こうした本学の学納金政策を反映して、初年度は、入学金・授業料（実験実習費・施設維持費等含む）併せて1,450,000円（全国平均1,751,379円）、卒業までの総納入金額は、5,800,000円（全国平均6,305,448円）と、資料6に示すとおりいずれも全国の同系他大学に比較して最低位に位置している。

更に本学は、以下に示すとおり独自の各種奨学金制度を整えている。

本臨床検査学科にも独自の奨学金制度を今後検討したい。

本学独自の奨学金制度

制 度	内 容
夢つなぎ入試制度	経済的理由により大学進学が困難な状況にある者。 センター後期・一般後期入試出願時に申請。 各学部学科の総定員の5～10%以内。 初年度は、入学金全額と授業料の半額免除。次年度以降は、学業成績が当該学部学科の上位1/3以内で家計の経済的困難が継続すると見込まれる者に対して授業料の半額免除を継続する。 2017年度実績：全学部で33名。
歯学部特待奨学生	将来、歯科医学・歯科医療の分野をリードするという高い志を持ち、人物学業ともに優れている者。 センター前期A・一般後期B入試において実施。

	<p>本学と国公立大学の差額相当分を減免。 定員 5 名。 2017 年度実績：8 名。</p>
<p>薬学部特待奨学生 (2017 年度入学生)</p>	<p>将来活躍が期待される人間性豊かな薬剤師を養成するため、特に学業成績及び人物の優れた薬学部入学生に対し奨学金を給付する。 センター前期 A・一般前期入試において実施 本学と国公立大学の学納金との差額を減免。 定員 3 名。 2017 年度実績：3 名。</p>
<p>薬学教育・研究者育成奨学生 (2020 年度第 4 学年生の 11 月予定)</p>	<p>本学薬学部卒業後、本学大学院薬学研究科博士課程に進学し、研究科修了後、教員として本学薬学部の教育・研究を支えることを志望する者で、人物学業ともに優れている者。 学部 5、6 学年の 2 年間。 本学と国公立大学の学納金との差額を減免。 定員 2 名。</p>
<p>福祉・介護人材養成奨学生</p>	<p>人材不足が社会問題となっている福祉・介護専門職の人材育成を図るため、臨床福祉学科を志望する人物・学業成績とも優れている者 センター前期 A・センター前期 B・一般前期入試において実施。 学納金を 390 万円減免し、4 年間で総額 90 万円とする。 定員 10 名程度。 2017 年度実績：12 名。</p>
<p>臨床検査技師地域医療特別 奨学生 (2020 年度入学生)</p>	<p>北海道内において人口 10 万人当たりの臨床検査技師数が全国平均を下回る地域 (9 つの振興局) に所在する高等学校または中等教育学校の中から、本学が指定する学校の出身者。 出願要件は、本学卒業後、当該地域の医療に貢献することを強く志望し、人物学業ともに優れている者とする。 定員 3 名 入学金相当額を減免</p>

資料 6 臨床検査技師養成大学 学納金一覧

② 学生の確保に向けた具体的な取り組み状況

— 資料 7 —

1. 医療技術学部臨床検査学科の告知について

申請の臨床検査学科は、東北・北海道の私立大学では初の学科である。

本学が、設置に向けた独自のニーズ調査 (2016 年 (平 28) 8 月～9 月) を実施し、当時の北海道内の高校 2 年生に、本学が設置している学部学科の中で臨床検査技師も含めて取得したい資格の認知度を訊ねたところ、臨床検査技師は、回答者総数 9,478 人中、看護師 1,178 人 (12.4%)、理学療法士 935 人 (9.9%) 薬剤師 832 人 (8.8%) に次いで 554 人 (5.8%) であった。(資料 2 ニーズ調査報告書高校生編 P11。)

この結果は、臨床検査技師養成大学が東北・北海道に国立の 3 大学 (北大、東北大、弘前大) で、入学定員も 3 大学で 120 名程度という現状を鑑みると、本学がこの学科を設置した場合、相当数の受験生を見込むことが出来るということを示しているといえる。

上記「イ-3. 受験生のニーズ調査結果」に記載したとおり、何も広報をしていない 2016 年 (平 28) の時点において既に受験生の 749 人が、本学が養成検討中の臨床検査技師資格に興味を持っていて、更に合格した場合本学に入学したいと見込まれる高校生が 107 人と推定される状況である。

現在、申請から認可にいたるまで、更に認可後の学生確保の具体的な取組について段階的な方策を別添資料 7 に示す年間計画を検討している。その告知についての概要は以下の通りである。

- ・申請後は、本学臨床検査学科紹介の簡易リーフレット（認可申請中のクレジット入り）を、認可後は学部紹介リーフレットを、それぞれ関東以北の本学他学部に興味を持って接触している受験生及び、医療系特に臨床検査技師に興味を持っている受験生（医療系学部を志望している受験生名簿に基づく）にDM送付して本学医療技術学部臨床検査学科への興味を促す。
 - ・同リーフレットを、認可前と認可後に北海道、東北の主要高校、予備校に直接訪問して担当者に説明し、在校生への周知方を依頼する。
 - ・新学部についてのWEB広告を年間を通じて実施する。（認可前は、認可申請中のクレジットを附す。）
 - ・テレビCM・・・地元北海道の民放テレビ2～3局にスポット広告を流す。（認可申請中のクレジットを附す。）
 - ・新聞広告・・・地元北海道新聞に認可前に突き出し広告2回、認可後に教育特集カラー版を1回掲載する。（認可前は、認可申請中のクレジットを附す。）
- 上記諸方策を時期を見ながら提供し、新学部への興味を持たせながら出願・受験に結びつける。

資料7 医療技術学部臨床検査学科 広報年間計画（案）

2. 臨床福祉学科の学生確保に向けた取り組みについて

基本計画書の「既設大学等の状況」において看護福祉学部臨床福祉学科の定員超過率が0.7倍未満である。このことについては、上記「①学生の確保の見通し ア 定員充足の見込み 2本学看護福祉学部臨床福祉学科の定員超過率が4年間平均0.7未満であることについて」に記載したとおりであるが、従来行ってきた大学全体の広報に加えて次年度以降、臨床福祉学科学生確保に向け特に力を注ぐための方策として以下をおこなう。

- ・例年本学に招いて実施している体験学習（2016年度実績12校27講座、うち福祉に関する講座3校4講座）や高校等に出向いて行う出張模擬講義（2016年度実績50校66講座、うち福祉に関する講義9校9講義）は、高校の教員や高校生からは好感をもって受け入れられているので、一層充実した講座を提供する。
- ・また、本学が高大連携協定を締結している高校（札幌市立8校、丘珠高校、浦河高校、有朋高校）とは特に緊密な交流を続けているが、体験学習や模擬講義は、経験することによって医療や福祉に関する興味が一層高まるので、可能な限り回数を増やしていきたい。
- ・本学の教育理念である保健・医療・福祉の連携・統合を図る教育は、わが国の高齢社会において臨床福祉学にこそ求められているものであるため、その特色と魅力について特に力を注いで伝えていきたい。
- ・臨床福祉学科在学生の中から数名を選出して、出身高校に出向いて本学の教育内容と福祉の仕事について後輩に紹介する。
- ・福祉学、社会学・心理学・語学志望者リストに基づいて本学臨床福祉学科紹介リーフレットを送付して興味を促す。（東北・北海道3,000人。）
- ・オープンキャンパスを年4回開催する。（6月、8月2回、9月。）
- ・AO入試を1期だけにとどまらず、2期、3期を実施する。
- ・AO、推薦、前期入試の入学手続き者を入学式直前に札幌市内のサテライトキャンパスに集めて入学後の生活・学修全般についてのアドバイスを実施する。
- ・北海道が主催する福祉・介護の仕事についての説明会を共催する。（高校生対象）

（2）人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

—資料8—

「保健・医療・福祉の連携・統合教育の推進」を教育目標とする本学は、医療や福祉の現場でチーム医療や多職種連携の担い手として活躍できる人材養成に重点を置いており、既設の5学部8

学科では、複数の学部が合同で学部横断的に多職種連携教育を開講している。これは、本学の大きな魅力の一つとして受験生にも浸透しており、毎年新入生に対して行っているアンケート調査では、本学を選択した理由のトップに「医療系総合大であること」、次に「国家試験の合格率が高いこと」、「他学部・学科の友人が出来そう」が選ばれていることから分かる。

一方、世界に類例を見ないスピードで高齢社会に到達した我が国においては、必然的に高齢者福祉、医療保険、介護保険など質の高い医療や福祉の提供に加えて、「治す医療」から「治し、支える医療」への転換が必要とされる。多職種連携による在宅医療や介護連携の推進によって、住み慣れた地域での安心した生活が支えられることが望まれており、在宅医療への臨床検査技師の活用は高齢社会に対応するための選択肢の一つである。

また、チーム医療や多職種連携による医療を推進する上では、様々な職種との円滑なコミュニケーションは大切であるが、それに加えて科学的根拠に基づいた検査データの共有が必須である。このことは病院医療に限らず在宅医療においても同様に求められる。

以上から、本学は、医学と臨床検査に関連する高度な知識・技術を基盤として、検査データの適切な管理能力、多職種連携における他者とのコミュニケーション能力、そして課題の発見と解決能力を涵養し、臨床検査の現場で指導的役割を果たし、また、教育や研究の場で活躍できる臨床検査技師の育成を目的として医療技術学部 臨床検査学科を開設する。

資料 8 本学志望の理由（新入生アンケートから 複数回答可）

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1. 事業所のニーズ調査結果（詳細は資料 2 ニーズ調査報告書事業所編 P2～4。）

（本計画は、当初平成 30 年 4 月開設を目指していたため、アンケート調査は、平成 28 年 8 月 18 日～9 月 8 日に実施したが、設置計画が 1 年延びたため、採用意向が 1 年ずれることとなった。また、当初入学生員を 80 名として計画していた（その後 60 名に計画変更）。しかし、基本的な本学への関心に大きな変動はないと見込まれるため、当該調査結果を適用した。調査時の学部名も申請内容と異なっているが、学科名が同じであるためこれもそのまま適用した。）

- ・対象：本学既設学部からの採用実績があり、本臨床検査学科卒業生の就職先と考えられる北海道内の病院、臨床検査センター、行政機関等 494 事業所を対象にアンケート調査を実施。（209 件のアンケート回収。回収率 42.3%）
- ・回答のあった事業所全体の過去 3 年間の臨床検査技師採用実績人数をアンケート回収率 42.3% で除することによって算出した過去 3 年間の臨床検査技師の推計採用人数が、下表である。

採用推計人数

年度（平成）	採用実績		アンケート回収率（42.3%）で除して算出した採用推計人数
	事業所数	人数	
2014（26）	46	90	90/42.3%=213 人
2015（27）	53	120	120/42.3%=284 人
2016（28）	42	105	105/42.3%=248 人

北海道内の臨床検査技師採用推計人数が例年 200 名を超えていることは、1) 本学の他学部・学科卒業生の就職先の地元北海道への就職率が 85%程度であることから、本学科の卒業生（60 名程度）が北海道に就職を希望した場合は、ほぼ希望通り就職できると見込まれること、2) 新学部の求職活動も既設学部学科に絡めながら紹介するため、開拓しやすいこと、2) 北海道大学などの求人状況等を鑑みると北海道以外の東北、関東圏等からの求人が相当数あるため、北海道外で就職したい者には十分な就職先が見込まれること、3) 学年進行と同時に構想している本学大学院への進学者が一定数見込まれること等々から、本臨床検査学科卒業生は、ほぼ希望通りの進路に進むことが出来ると類推される。

2. 人口 10 万人比における都道府県別臨床検査技師数と北海道との対比

—資料 9—

臨床検査技師について、医師・歯科医師・薬剤師のような人口 10 万人対比人数の統計資料は国から出されてはいないが、本学が独自に臨床検査技師会の入金会員名簿に基づき、都道府県別の人口 10 万人対比臨床検査技師数を算出し、さらに厚生労働省「医療施設動態調査」から都道府県別の病院施設数に基づき一施設当たりの臨床検査技師数を算出し比較したのが資料 9 である。

人口 10 万人対比で見ると全国平均が 46.7 人に対して北海道は 56.7 人、中国地方は 62.7 人、四国地方は 65.8 人、九州地方は 56.2 人と平均を上回っているのに対して、人口密集地である関東地方は 38.8 人、近畿地方は 35.7 人と平均を下回っている。

一方、一医療施設当たりの臨床検査技師数を比較してみると、全国平均が 7.0 人であるのに対して北海道は 5.4 人、四国地方は 5.4 人、九州地方は 5.2 人と平均を下回っているのに対して関東地方 8.2 人、中部地方 8.7 人と平均を大きく上回り、人口 10 万人対比との関係は逆転する。東北地方は、両指数とも平均並み、近畿圏は両指数とも平均を下回っている。

このことは、関東地方や中部地方のような人口密集地においては、一医療施設の規模が大きく患者数も多いため、それに応じて一医療施設当たりの臨床検査技師が数多く必要とされたためと思われる。

北海道や四国・九州地方は、人口も多くはなく一医療施設の規模も大きくはないが、大都市のように人口が密集していない分、医療機関も各地に点在しているため、一医療施設ごとの臨床検査技師は多くはないが、医療施設ごとに臨床検査技師を必要とするということである。

特に北海道のような広大な地域に人々が点在しているようなところは、この条件が当てはまると思われる。

北海道は、14 の振興局が設置され、地域政策、保健環境、産業振興に関する事務・事業などが実施されている。各振興局は、広大な面積を有しているため、面積的には道外の一つ一つの県に相当し、最大の十勝振興局(10,800km²)は、新潟県(10,360km²)とほぼ同じであり、最小の檜山振興局(2,630km²)でも東京都(2,200km²)よりもその面積は大きい。そのため、移動距離、移動時間、冬季間の対応など道外の都府県とは様々な条件が大きく異なる。

したがって、北海道と、狭い地域に人口が密集している道外他地区とを同様な基準を持って比較することは困難であり、振興局ごとの特性を考慮することが必要である。

北海道内の振興局では 14 の振興局中 9 振興局において臨床検査技師の対人口比率(36.7/10 万人)は全国平均(46.7/10 万人)を大きく下回っており、また、臨床検査技師がいない道内市町村は 72 市町村に上っており、地方において臨床検査技師の不足が顕著である。

なお、人口 10 万人当たりの臨床検査技師数が全国平均を上回り、一医療施設当たりの臨床検査技師数が全国平均を下回る中四国、九州地方の臨床検査技師養成の私立 7 大学(川崎医療福祉大学、倉敷芸術科学大学、広島国際大学、国際医療福祉大学、純真学園大学、熊本保健科学大学、九州保健福祉大学)について資料 1-2 に基づき入試の状況をみると以下のことが判明する。

7 大学の入学定員平均は、64.3 人である。このうち推薦、AOを除いた一般とセンター利用入試の入学定員の平均は 39.7 人で、それに対する志願倍率は、7.2 倍と十分な倍率を示している。このことから推薦と AO入試と合わせて入学定員は確保できていると推定される。

これらのことに鑑みて本学が本学科を設置して高度専門職業人である臨床検査技師を輩出することは、地域医療を担っている北海道各地の医療施設や地域住民にとって大きな朗報となると思われる。また、コ・メディカルスタッフを目指して本学科の設置を待ち望んでいる受験生にとっても大きな励みになるはずである。

資料 9 都道府県別人口 10 万人対比および一医療施設当たりの臨床検査技師数(一覧、グラフ)
北海道内市町村別臨床検査技師数(振興局別)(人口 10 万人対比)

3. 北海道医療大学他学部の就職状況と臨床検査学科の就職見込み

—資料 10—

本学は、基本計画書の「既設大学等の状況」の通り 5 学部 8 学科からなる医療・福祉系総合大学である。

北海道において臨床検査技師教育は、長年北海道大学を除いて 3 年制の専門学校で行われてきた。このため臨床検査技師を目指している受験生には、大学卒業者と専門学校卒業者との相違をより明確に理解してもらうことが必要である。

最も分かりやすい違いは、給与面での待遇（一般的に大学卒業者の臨床検査技師は給与的に 2,500～10,000 円の優遇）であるが、就職面での選択肢が専門学校卒業の場合、ほぼ全員が病院、検査センターへ就職するが、4 年制大学卒業の場合は、病院、検査センターに加えて、医薬メーカー等の総合職、研究職や行政機関への就職も可能であり、卒業後の大学院進学への道も開け、将来の進路の幅が大きく広がることである。このことを折に触れて伝えていく。

実際に本学が行ったニーズ調査における病院等からの聞き取り調査では、北海道内の地方都市においては新規卒業者を対象とした臨床検査技師の求人に対して応募が少なく、本学臨床検査学科開設への期待が大きいと感じられた。（資料 2－2 P16, 17 参照）

ニーズ調査時の自由意見欄記載の新学部への期待意見

<ul style="list-style-type: none"> ・人材不足しているので是非進めていただきたい。少子高齢化の時代に新しい学科を設置するお考えは、これから公衆衛生の向上、問題解決能力、コミュニケーション能力の高い教育をされるかと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在、臨床検査技師が不足しているため、新しい学部の設置は、ありがたいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在特に女性技師さんの生理機能（エコー中心）検査スタッフが不足しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・団塊の世代の退職が続くニーズはあると思います。特に地方の医療機関では医療技術職の慢性的な不足が続いています。一方でコミュニケーションや基礎学力の不足でなかなか一人前にならない職員も増えています。学校でも職場でも時間をかけて育てることが重要だと思いますのでよろしくお願い致します。
<ul style="list-style-type: none"> ・当院は道北の中小病院で、コ・メディカル（薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、管理栄養師、理学療法士）を配置しておりますが、地域的に医療職の人材資源が少ない状況があり、現在の職員が退職した後の新規採用が厳しいため、貴校において、そうした人材育成の学科が新設されることは非常に助かります。その際は是非求人させて頂きたいと考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・道内における臨床検査人材は不足していると感じます。弊社の事情をお話させて頂くと、今後毎年 7～8 名もの技師が定年を迎える等、高齢化が進んでいます。ここ数年は、多くの取引先病院においても、意欲的な若手技師の採用が難しいと聞いており、地域医療に貢献する活躍の場は、大きく広がっていると感じます。
<ul style="list-style-type: none"> ・道内にとどまって働いてくれる方が育つよう、情報を発信していただければ幸いです。
<ul style="list-style-type: none"> ・北海道における臨床検査学科を設置している教育機関が少なく、地域の医療機関としては臨床検査の学生が増える事で人員を確保しやすくなるため歓迎致します。
<ul style="list-style-type: none"> ・優れた臨床検査技師を育てることはもちろんですが、何よりも優れた人間を育てて下さい。よろしくお願い致します。
<ul style="list-style-type: none"> ・優秀な人材の育成環境は、医療機関にとって、良い事と考えます。

また、札幌市内の大学病院検査室においても次代を担う臨床検査技師の不足を懸念する声やより専門的・研究的な知識や技術を持った人材が不足しているという意見もあった。

北海道内の臨床現場における臨床検査技師の不足感は大きく、本学の高度専門職業人としての臨床検査技師養成への期待は大きいと感じられる。

資料 10－1 は、本学既設 7 学科の過去 5 年間の就職実績を職種別・地域別に分類したものである。同様に資料 10－2 は、過去 5 年間の北海道内における支庁別の就職実績を現したしたもの

のである。歯学部は、卒業後研修制度があるため就職統計の対象としていない。また、リハビリテーション科学部の理学療法学科と作業療法学科は、2016年度初の卒業生が出たため、1期生の実績のみである。

本文(2)-②に示す通り、就職については一定の求人が見込まれる。また、本学既設学部の過去5年間平均の就職状況を見ると85%が地元北海道の病院・福祉施設に就職している。そのうち札幌市を中心とした石狩管内への就職が66.3%と最も多くなっているが、平均で5名を越える地域が7支庁、10名を越える地域が4支庁ある。ひとつの大学から医療・福祉関連に毎年5~10名コンスタントに就職していることの意味は大きいと思われる。

本臨床検査学科の卒業生は、札幌市への希望者は当然多くなると予想されるが、ディプロマ・ポリシーに示す通り、わが国の高齢社会において、「生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている」という弱者への暖かい眼差しを持った学生を育て、卒業後医療過疎の地域への就職を指導していきたい。

施策のひとつとして、入学時における指定校特別推薦の地域医療特別枠を設定(設置の趣旨を記載した書類 8-②-2)し、合格者の中から3名について入学金免除の特別奨学金制度(本文(1)-①-ウ 本学独自の奨学金制度 参照)を設ける予定である。3名には、卒業後は出身地域の医療機関等への就職を促すこととする。

また、3学年後期に行う臨床実習について、地方出身者には出来る限り出身地域の病院での実習が望ましい旨の指導をすることとする。

病院・福祉施設は、卒業生を通して本学の教育内容や成果を評価しているが、保健・医療・福祉の連携・統合教育の推進という本学教育理念の下で教育され巣立っていった卒業生は、その実力・気質・人柄が、各事業所において相応の評価がなされていると思われる。

全くの新設大学とは異なり、積み重ねてきた従来の伝統に加えて新たな専門教育を受けて卒業していく本医療技術学部臨床検査学科学生への評価も大いに期待されると確信する。

資料 10-1 北海道医療大学 学科別就職状況 (2012年度~2016年度) (職種別、道内外別)

資料 10-2 北海道医療大学 学科別就職状況 (2012年度~2016年度) (道内(振興局)・道外別)

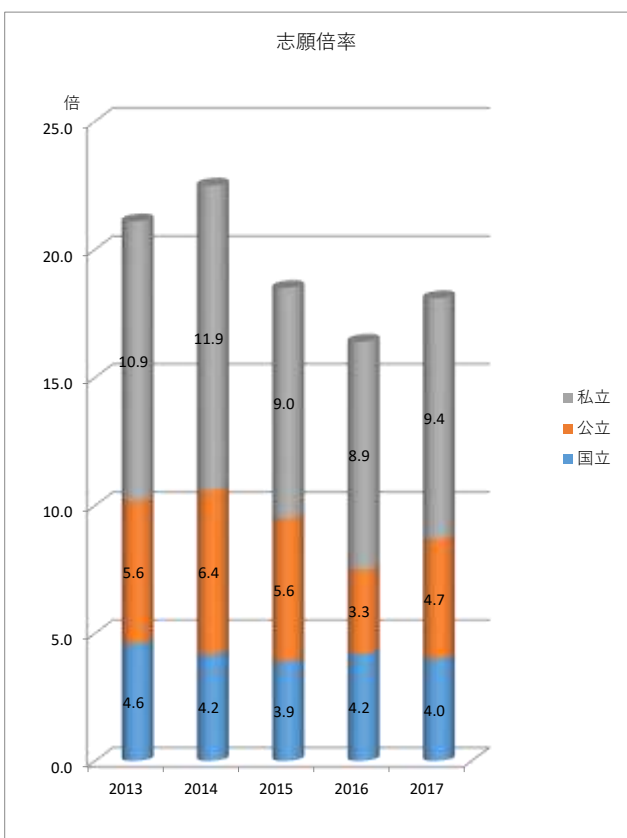
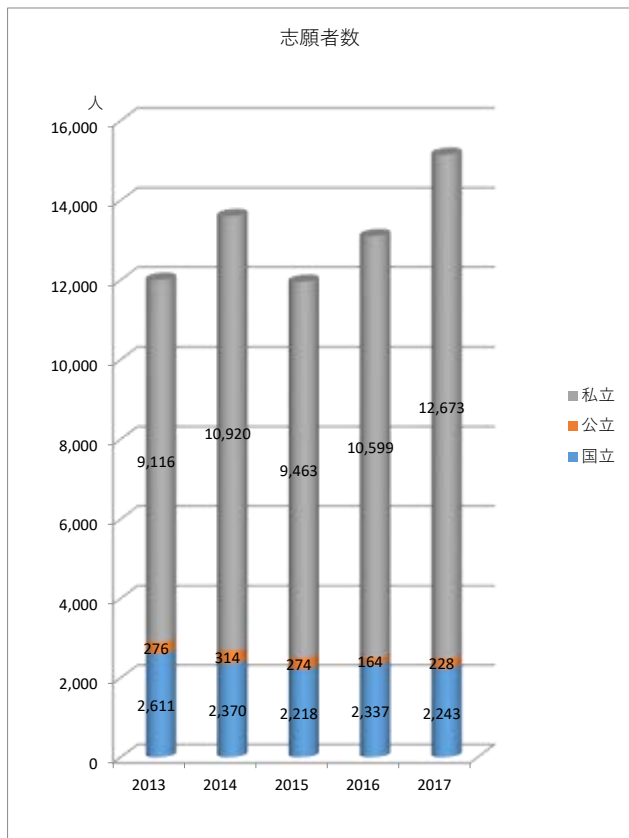
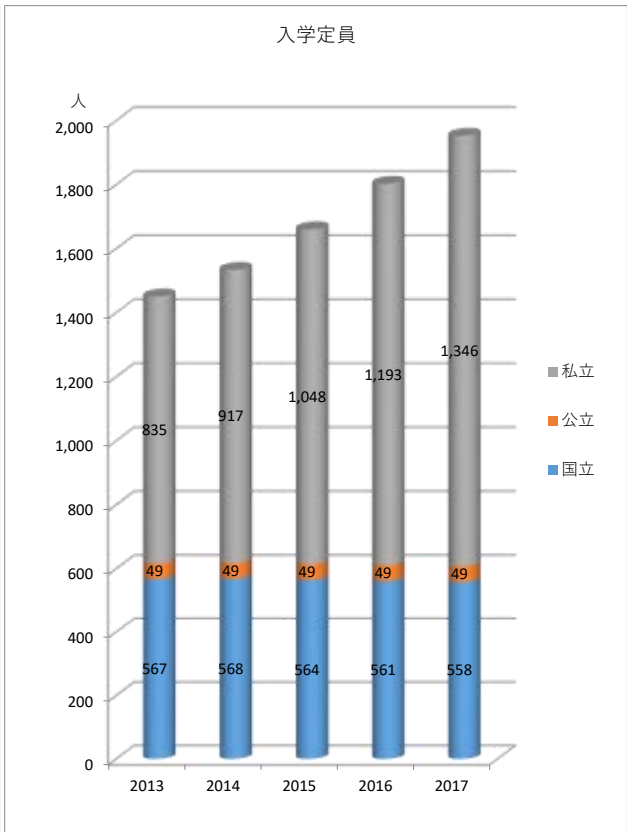
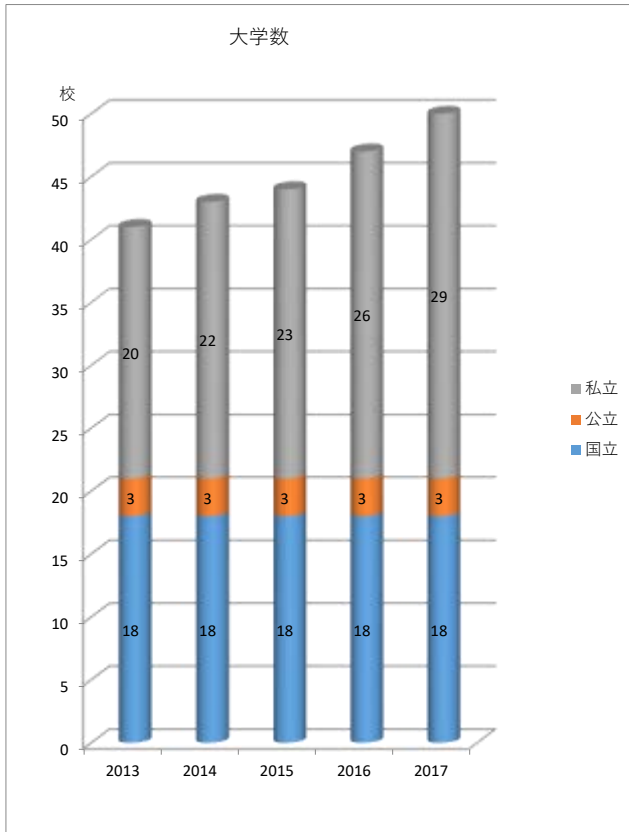
臨床検査技師養成大学入学定員一覧(2013年度～2017年度)

資料1-1

設置区分	都道府県	校数	設置年	大学名	学部・学科・専攻等名称	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
国立	北海道	1	04	北海道大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	37	37	37	37	37
	青森県	1	01	弘前大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	40	40	40	40	40
	宮城県	1	04	東北大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	37	37	37	37	37
	茨城県	1	03	筑波大学	医学部 医療科学類	37	37	37	37	37
	群馬県	1	97	群馬大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	40	40	40	40	40
	東京都	1	89	東京医科歯科大学	医学部 保健衛生学科 検査技術科学専攻	35	35	35	35	35
	新潟県	1	00	新潟大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	37	37	37	37	38
	石川県	1	96	金沢大学	医薬保健学域 保健学類 検査技術科学専攻	40	40	40	40	40
	長野県	1	03	信州大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	37	37	37	37	37
	愛知県	1	98	名古屋大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	40	40	40	40	40
	京都府	1	04	京都大学	医学部 人間健康科学科 検査技術科学専攻	37	37	37	37	不明
	大阪府	1	94	大阪大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	40	40	40	40	40
	兵庫県	1	95	神戸大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	40	40	40	40	40
	鳥取県	1	00	鳥取大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	40	40	40	40	40
	岡山県	1	99	岡山大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	40	40	40	40	40
	山口県	1	01	山口大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	40	40	40	40	40
	徳島県	1	02	徳島大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	17	17	17	17	17
	福岡県	1	03	九州大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	34	34	34	33	33
	熊本県	1	04	熊本大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	37	37	37	37	37
	沖縄県	1		琉球大学	医学部 保健学科 検査技術科学専攻	60	60	60	60	60
	小計	20	—	—	—	765	765	765	764	728
公立	埼玉県	1	99	埼玉医科大学	保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻	40	40	40	40	40
	香川県	1	04	香川県立保健医療大学	保健医療学部 臨床検査学科	20	20	20	20	20
	愛媛県	1	04	愛媛県立医療技術大学	保健科学部 臨床検査学科	25	25	25	25	25
	小計	3	—	—	—	85	85	85	85	85
私立	茨城県	1	14	つくば国際大学	医療保健学部 臨床検査学科	—	80	80	80	80
	群馬県	1	13	群馬パース大学	保健科学部 検査技術学科	60	60	60	60	60
	埼玉県	1	06	埼玉医科大学	保健医療学部 健康医療科学科	70	70	70	70	70
	千葉県	1	16	国際医療福祉大学	成田保健医療学部 医学検査学科	—	—	—	80	80
	東京都	94	北里大学	医療衛生学部 医療検査学科	90	90	90	90	105	
		79	杏林大学	保健学部 臨床検査技術学科	80	85	85	85	120	
		04	帝京大学	医療技術学部 臨床検査学科	80	80	80	80	80	
		14	東京工科大学	医療保健学部 臨床検査学科	—	80	80	80	80	
		06	文京学院大学	保健医療技術学部 臨床検査学科	80	80	80	80	80	
	神奈川県	1	78	麻布大学	生命・環境科学部 臨床検査技術学科	70	80	80	80	80
	新潟県	1	11	新潟医療福祉大学	医療技術学部 臨床検査学科	80	80	80	80	80
	福井県	1	17	北陸大学	医療保健学部 医療技術学科	—	—	—	—	60
	岐阜県	1	06	岐阜医療科学大学	保健科学部 臨床検査学科	80	80	80	80	90
	愛知県	1	06	中部大学	生命健康科学部 生命医科学科	60	60	60	60	60
		1	68	藤田保健衛生大学	医療科学部 臨床検査学科	95	95	95	120	120
	三重県	1	11	鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部 医療栄養学科 臨床検査コース	40	40	40	40	40
	滋賀県	1	17	長浜バイオ大学	バイオサイエンス学部 バイオサイエンス学科 臨床検査プログラム	—	—	—	—	30
	大阪府	1	13	関西医療大学	保健医療学部 臨床検査学科	50	50	50	50	50
		1	16	森ノ宮医療大学	保健医療学部 臨床検査学科	—	—	—	60	60
	兵庫県	1	16	神戸学院大学	栄養学部 栄養学科 生命栄養学専攻	—	—	—	65	65
		1	08	神戸常盤大学	保健科学部 医療検査学科	80	80	80	80	80
	奈良県	1	12	天理医療大学	医療学部 臨床検査学科	30	30	30	30	30
	岡山県	1	17	川崎医療福祉大学	医療技術学部 臨床検査学科	—	—	—	—	60
		1	04	倉敷芸術科学大学	生命科学部 生命医科学科	50	50	50	50	50
	広島県	1	13	広島国際大学	保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻	40	40	40	40	40
	福岡県	1	13	国際医療福祉大学	福岡保健医療学部 医学検査学科	80	80	80	80	80
		1	11	純真学園大学	保健医療学部 検査科学科	60	60	60	60	60
	熊本県	1	03	熊本保健科学大学	保健科学部 医学検査学科	100	100	100	100	100
	宮崎県	1	15	九州保健福祉大学	生命医科学部 生命医科学科	—	—	60	60	60
小計	29	—	—	—	1,375	1,550	1,610	1,840	2,050	
合計	52	—	—	—	2,225	2,400	2,460	2,689	2,863	

設置区分	2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度			
	大学数	入学定員	志願者数	倍率	大学数	入学定員	志願者数	倍率	大学数	入学定員	志願者数	倍率	大学数	入学定員	志願者数	倍率	大学数	入学定員	志願者数	倍率
国立	18	567	2,611	4.6	18	568	2,370	4.2	18	564	2,218	3.9	18	561	2,337	4.2	18	558	2,243	4.0
公立	3	49	276	5.6	3	49	314	6.4	3	49	274	5.6	3	49	164	3.3	3	49	228	4.7
私立	20	835	9,116	10.9	22	917	10,920	11.9	23	1,048	9,463	9.0	26	1,193	10,599	8.9	29	1,346	12,673	9.4
合計	41	1,451	12,003	8.3	43	1,534	13,604	8.9	44	1,661	11,955	7.2	47	1,803	13,100	7.3	50	1,953	15,144	7.8

2014年まで保健学科一括公表のため臨床検査学専攻の志願者数が不明の信州大学と2017年度から入試形態を学科一括募集に変更したため臨床検査学専攻の志願者数が不明の京都大学の2校は統計数字から除外した。

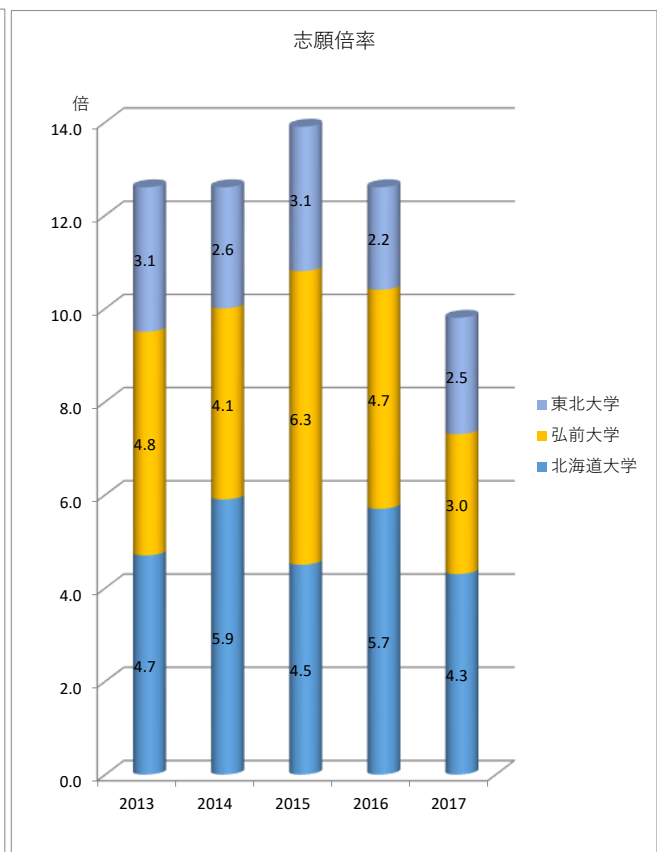
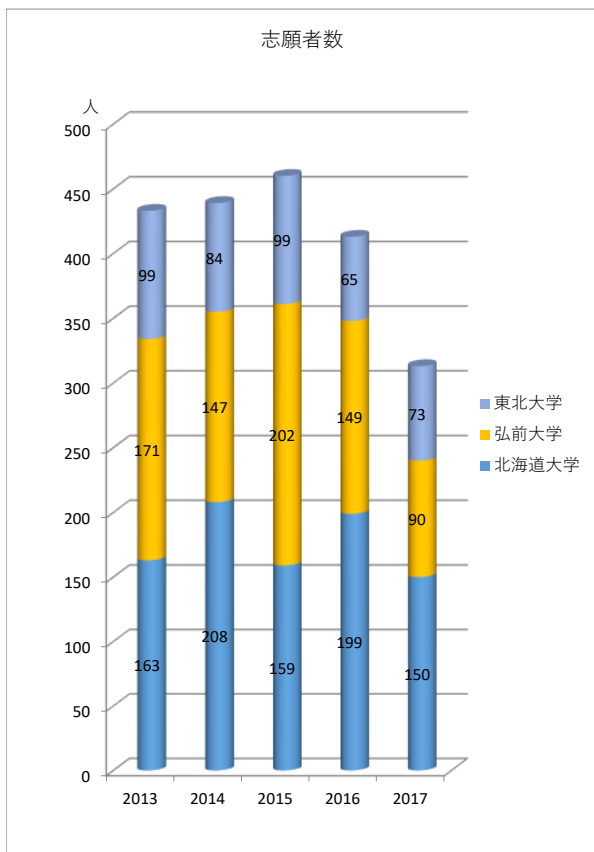
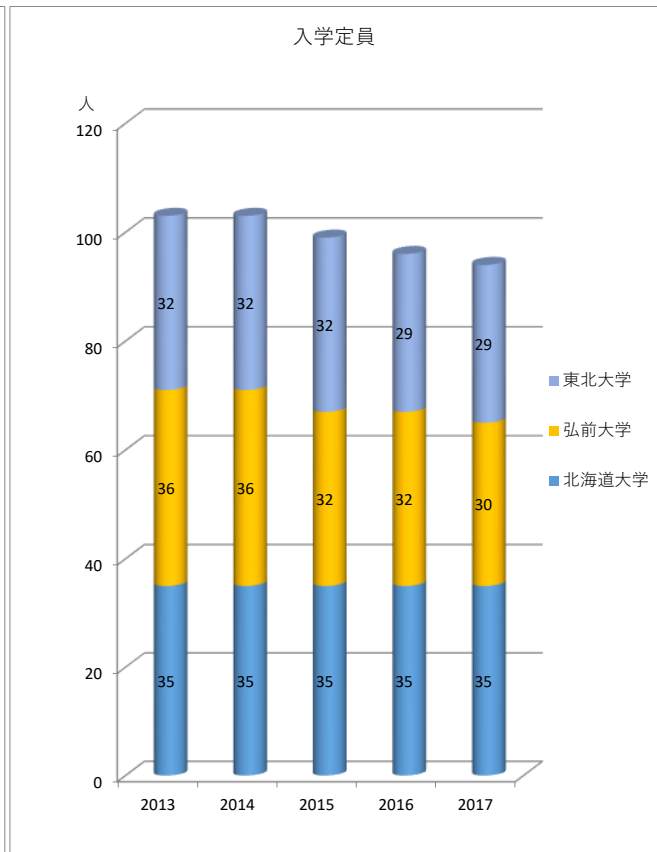
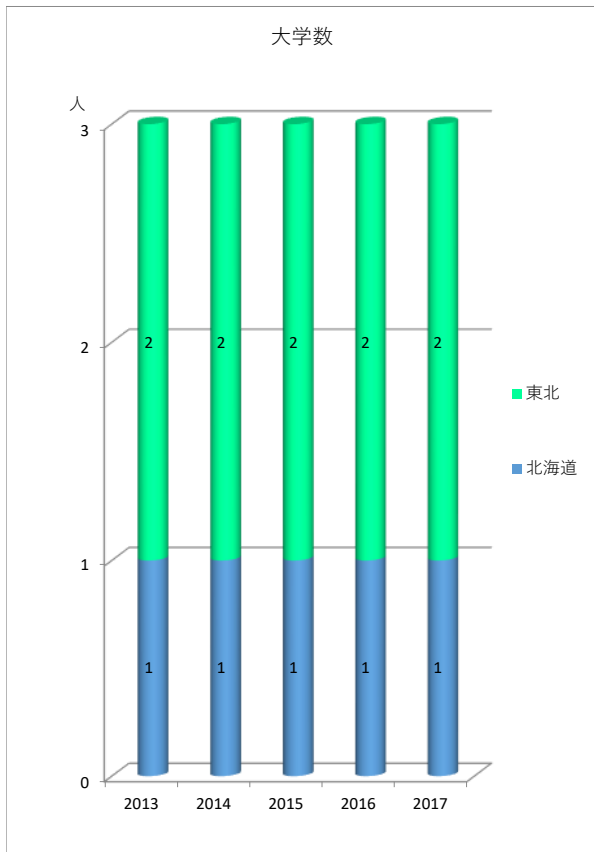


北海道・東北における臨床検査技師養成大学志願状況等推移グラフ
(2013年度～2017年度) (一般、センター)

資料 1 - 4

④

設置区分	2013年度			2014年度			2015年度			2016年度			2017年度		
	入学定員	志願者数	倍率	入学定員	志願者数	倍率	入学定員	志願者数	倍率	入学定員	志願者数	倍率	入学定員	志願者数	倍率
北海道大学	35	163	4.7	35	208	5.9	35	159	4.5	35	199	5.7	35	150	4.3
弘前大学	36	171	4.8	36	147	4.1	32	202	6.3	32	149	4.7	30	90	3.0
東北大学	32	99	3.1	32	84	2.6	32	99	3.1	29	65	2.2	29	73	2.5
合計	103	433	4.2	103	439	4.3	99	460	4.6	96	413	4.3	94	313	3.3



北海道医療大学 御中

新学部 学科設置計画に係る
ニーズ調査報告書(高校生編)

平成28年11月
丸善雄松堂株式会社
大学経営コンサルティング部

目次

● 調査概要	P2
● 調査・分析結果の要旨	P3
● 全体集計結果	P5
● 健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析	P20
● 進学需要推計	P31
● 補記	P34

調査概要

1. 調査目的 北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科(仮称)設置計画検討のため、本アンケート調査により高校生の進学需要等を把握し、設置計画の基礎資料とすることを目的とする。
2. 調査対象 北海道医療大学 既設学部への進学実績等から選定した高等学校に在籍する高校2年生。
3. 実施時期 平成28年8月18日～平成28年9月15日
4. 回収状況 本調査では、52校13,139人を対象に調査票を配布し、その結果39校7,823件の調査票を回収することができた。(回収率59.5%)
5. 調査方法 調査票による定量調査(アンケート調査)
6. 利用調査票 添付アンケート調査票参照

調査・分析結果の要旨

○調査結果の要旨

①属性

- a.回答者の性別は「男性」3,527人(45.1%)、「女性」4,267人(54.5%)と、「女性」が「男性」より多い。
- b.回答者の7割近く、5,291人(67.6%)が「道央(石狩・空知・胆振・日高・後志)」に居住している。
- c.回答者の5,159人(65.9%)が「四年制大学への進学」を希望している。

②進学希望分野

- a.進学したい分野(第1希望)は、第一位が「理学・工学」998人(12.8%)で、第二位「経済学・経営学・商学」829人(10.6%)、第三位「看護学」806人(10.3%)となっている。
- b.進学希望(第2希望)は第一位が「医療技術(リハビリ・臨床検査など)」619人(7.9%)で、第二位「教育学(教員養成を含む)・保育学」610人(7.8%)、第三位「経済学・経営学・商学」595人(7.6%)となっている。

③取得したい資格

- ・回答者の取得したい資格は、「看護師」1,178人(12.4%)が最も多く、「臨床検査技師」は554人(5.8%)となっている。

④進学先決定時の重視要因

- ・回答者の進学先決定時の重視要因は、第一位が「学部・学科等の学問分野」3,742人(26.7%)で、第二位「就職実績」1,751人(12.5%)、第三位「入試の難易度・入試科目」1,605人(11.5%)となっている。

⑤北海道医療大学の認知度

- ・「知っていた」が335人(4.3%)、「ある程度知っていた」が598人(7.6%)で、これらの合計が933人(11.9%)となっている。

⑥健康衛生学部 臨床検査学科(仮称)への興味・関心、及び進学意向

- ・ 回答者のうち1,459人(18.6%)が何らかの興味を持ち、369人(4.8%)が何らかの進学意向を持っている。

* 何らかの興味・関心:「興味・関心がある」354人(4.5%)、「ある程度の興味・関心がある」1,105人(14.1%)の合計。

* 何らかの進学意向:「進学を希望する」44人(0.6%)、「進学を検討する」325人(4.2%)の合計。 * 「何らかの進学意向」を持つ生徒4.8%を関心層と定義する。(P21参照)

調査・分析結果の要旨

○分析結果の要旨

健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向は、「進学を希望する」が44人(0.6%)、「進学を検討する」が325人(4.2%)で、何らかの進学の意向を持つこれらの生徒の合計が369人(4.8%)となり、**「進学を希望する」で入学定員(80人)の0.6倍、「進学を検討する」まで含めて4.6倍となる。(P15)**また、回答者は「Q5 取得したい資格」として、554人(5.8%)が「臨床検査技師」を選択し、このうち398人が「四年制大学への進学」を希望している。これに対して、北海道内の四年制大学の臨床検査技師養成校は、北海道大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻(入学定員35人)のみであり、専門学校である北海道医学技術専門学校 臨床検査技師科(入学定員40人)、札幌医学技術福祉歯科専門学校 臨床検査技師科(入学定員80人)をあわせても入学定員合計は155人である。さらに、東北地区の臨床検査技師養成校も弘前大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻(入学定員35人)、東北大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻(入学定員37人)、福島県立総合衛生学院 臨床検査学科(入学定員37人)のみとなっている。従って、北海道及び東北地区での四年制大学の臨床検査技師養成校の入学定員は計107人、専門学校では計120人で、合計は227人となる。以上から、**県外への流出を考慮しても調査対象全体では、四年制大学の臨床検査技師養成校に対する一定の進学需要があり、「進学を検討する」層からも一定数の進学者がいることが推測されることから、北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への一定の進学需要が窺われる。**

但し、全回答者に対する、「進学を希望する」回答者の比率を未回答者数に乗じて算出した調査未回答者の推計進学意向者数は15名(P33)に留まっており、現時点で「進学を希望する」推計進学意向者数は、「Q9 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向」で「進学を希望する」を選択した44人と合計しても調査対象全体で59人となる。この数値は入学定員80名に対して約0.74倍(P33)で、入学定員を現在の計画値(80人)とする場合、「進学を検討する」を選択した潜在的志願者層325人(4.2%)をどのように臨床検査学科の志願者層として顕在化させるかがポイントとなる。関心層は、進学先決定の重視要因として「学部・学科等の学問分野」、「資格を取得できる」、「学費(入学金・授業料・奨学金)」等を挙げており、**学びの分野と共に、この分野の就職の前提条件となる資格取得を重視していることから、確実に資格を取得させるための教育内容と学生支援体制の整備が重要な成功要因となる。**また、この分野では他の分野と比較して、学費が高額となる傾向があるため、「学費(入学金・授業料・奨学金)」が重視されていると考えられる。前述のとおり、現在、**北海道、東北地区での臨床検査技師養成校は、国立大学と専門学校となることから、これらの状況を鑑みた学納金の設定や奨学金制度の整備、さらに入学定員の再考も重要な成功要因となる。**

加えて、関心層では、北海道医療大学の認知度の低下と共に「進学希望する」よりも「進学を検討する」の比率が上昇しており、大学の認知度アップも志願者層の開拓につながると考えられる。また、「Q10 健康衛生学部 臨床検査学科設置計画への意見要望」のコメントから、現状の説明では健康衛生学部 臨床検査学科の教育・研究の特色のみならず、臨床検査技師という職業についても十分に認知されていないことが窺われる。従って、**高校訪問、オープンキャンパス等で健康衛生学部 臨床検査学科の養成する人材像や教育・研究の特色と共に臨床検査技師という職業についても丁寧に説明し、大学が位置する道央地区のみならず、ターゲットとなる北海道全域で、大学とそこで養成する人材像の認知度を上げる広報戦略の検討も課題となる。**

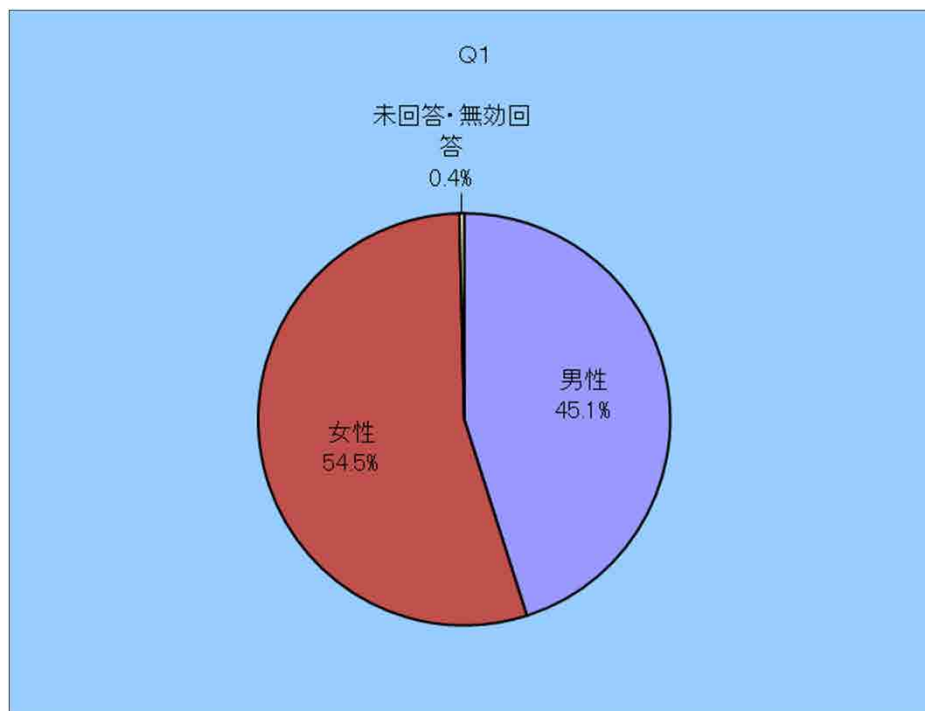
全体集計結果

Q1) 性別

回答者の性別は、「男性」3,527人(45.1%)、「女性」4,267人(54.5%)と、「女性」の方が「男性」より多くなっている。尚、「未回答・無効回答」として集計した未回答、もしくは判別不能の回答は全体の0.4%となっている。

Q1)あなたの性別は、どちらですか？

	回答数(人)	構成比(%)
全体	7,823	100.0%
男性	3,527	45.1%
女性	4,267	54.5%
未回答・無効回答	29	0.4%



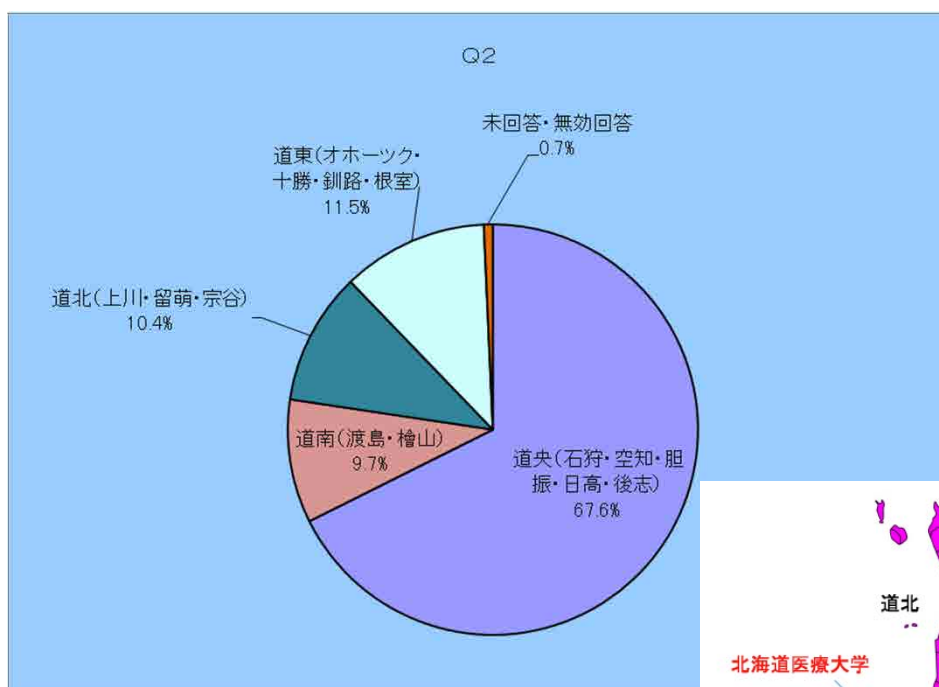
*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q2)居住地域

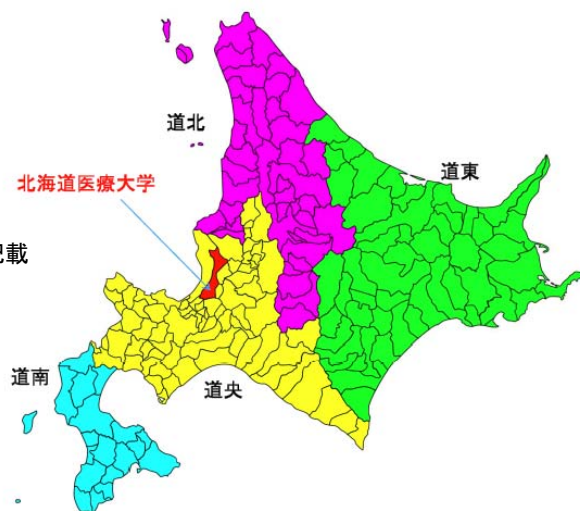
回答者の居住地域は「道央(石狩・空知・胆振・日高・後志)」5,291人(67.6%)が最も多く7割近くとなっており、「道東(オホーツク・十勝・釧路・根室)」899人(11.5%)、「道北(上川・留萌・宗谷)」817人(10.4%)と続いている。尚、「未回答・無効回答」として集計した未回答、もしくは判別不能の回答は全体の0.7%となっている。

Q2)あなたのお住まいはどちらですか？

	回答数(人)	構成比(%)
全体	7,823	100.0%
道央(石狩・空知・胆振・日高・後志)	5,291	67.6%
道南(渡島・檜山)	761	9.7%
道北(上川・留萌・宗谷)	817	10.4%
道東(オホーツク・十勝・釧路・根室)	899	11.5%
未回答・無効回答	55	0.7%



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

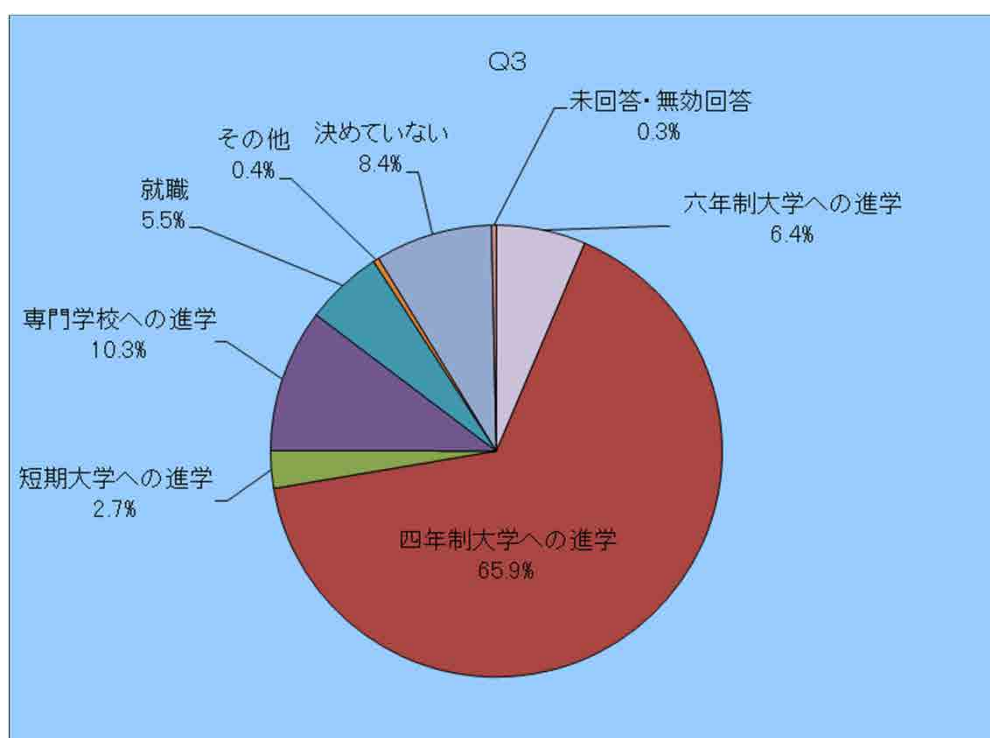


Q3)高校卒業後の進路

回答者の卒業後の進路は「四年制大学への進学」5,159人(65.9%)が最も多く、「専門学校への進学」804人(10.3%)、「決めていない」656人(8.4%)と続いている。尚、「未回答・無効回答」として集計した未回答、もしくは判別不能の回答は全体の0.3%となっている。

Q3)あなたは高校卒業後どのような進路を考えていますか？

	回答数(人)	構成比(%)
全体	7,823	100.0%
六年制大学への進学	501	6.4%
四年制大学への進学	5,159	65.9%
短期大学への進学	209	2.7%
専門学校への進学	804	10.3%
就職	434	5.5%
その他	33	0.4%
決めていない	656	8.4%
未回答・無効回答	27	0.3%



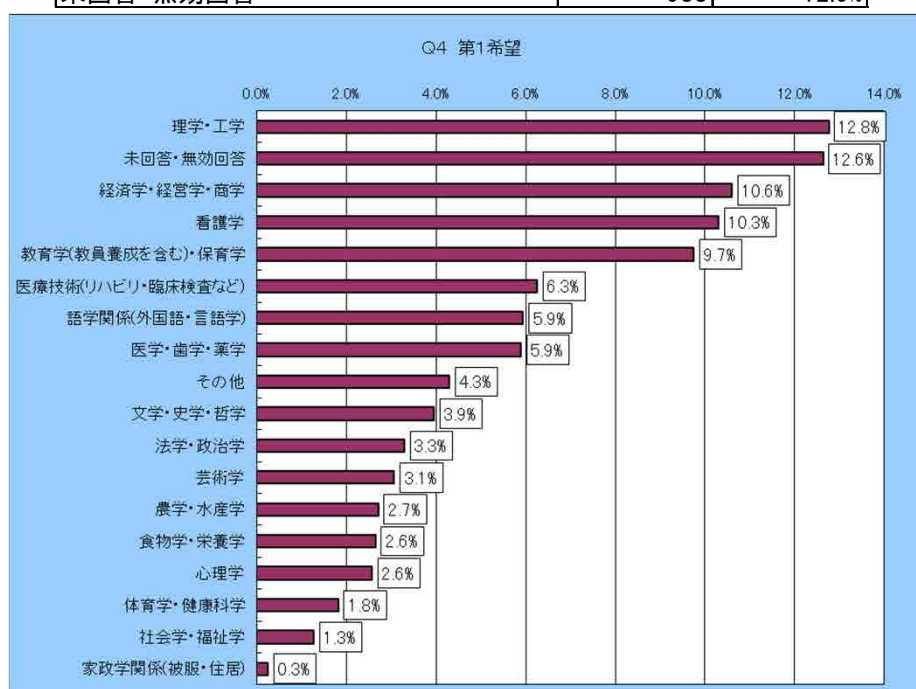
*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q4)進学したい分野(第1希望)

回答者の進学したい分野(第1希望)は、「未回答・無効回答」を除くと、第一位が「理学・工学」998人(12.8%)で、第二位「経済学・経営学・商学」829人(10.6%)、第三位「看護学」806人(10.3%)と続いており、「医療技術(リハビリ・臨床検査など)」489人(6.3%)は第五位となっている。尚、「未回答・無効回答」として集計した未回答、もしくは判別不能の回答は全体の12.6%となっている。

Q4)あなたの進学したい分野は次のうちのどれですか？(第1希望)

第1希望	回答数(人)	構成比(%)
総計	7,823	100.0%
文学・史学・哲学	309	3.9%
語学関係(外国語・言語学)	465	5.9%
教育学(教員養成を含む)・保育学	762	9.7%
心理学	201	2.6%
法学・政治学	258	3.3%
経済学・経営学・商学	829	10.6%
社会学・福祉学	100	1.3%
理学・工学	998	12.8%
農学・水産学	212	2.7%
医学・歯学・薬学	461	5.9%
看護学	806	10.3%
医療技術(リハビリ・臨床検査など)	489	6.3%
食物学・栄養学	207	2.6%
家政学関係(被服・住居)	20	0.3%
体育学・健康科学	142	1.8%
芸術学	240	3.1%
その他	336	4.3%
未回答・無効回答	988	12.6%



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q4)進学したい分野(第2希望)

回答者の進学したい分野(第2希望)は、「未回答・無効回答」を除くと、第一位が「医療技術(リハビリ・臨床検査など)」619人(7.9%)で、第二位「教育学(教員養成を含む)・保育学」610人(7.8%)、第三位「経済学・経営学・商学」595人(7.6%)と続いている。尚、「未回答・無効回答」として集計した未回答、もしくは判別不能の回答は全体の16.9%となっている。

Q4)あなたの進学したい分野は次のうちのどれですか？(第2希望)

第2希望	回答数(人)	構成比(%)
総計	7,823	100.0%
文学・史学・哲学	450	5.8%
語学関係(外国語・言語学)	435	5.6%
教育学(教員養成を含む)・保育学	610	7.8%
心理学	534	6.8%
法学・政治学	348	4.4%
経済学・経営学・商学	595	7.6%
社会学・福祉学	244	3.1%
理学・工学	393	5.0%
農学・水産学	267	3.4%
医学・歯学・薬学	472	6.0%
看護学	305	3.9%
医療技術(リハビリ・臨床検査など)	619	7.9%
食物学・栄養学	245	3.1%
家政学関係(被服・住居)	74	0.9%
体育学・健康科学	297	3.8%
芸術学	219	2.8%
その他	393	5.0%
未回答・無効回答	1,323	16.9%



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

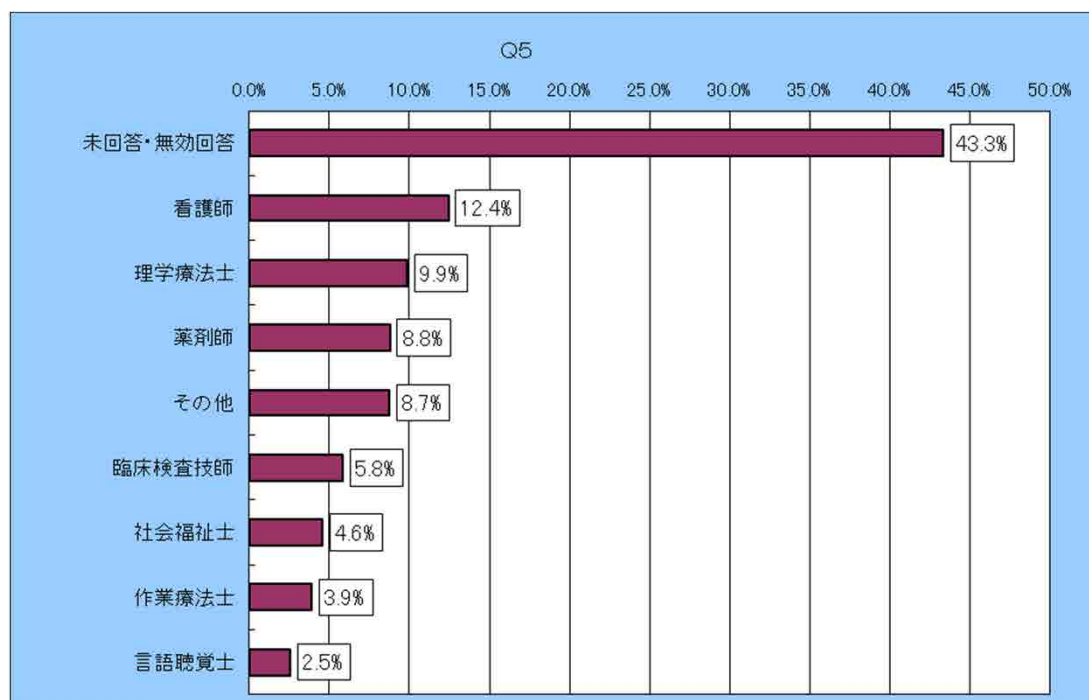
Q5)取得したい資格

回答者の取得したい資格は、「未回答・無効回答」を除くと、「看護師」1,178人(12.4%)が最も多く、「理学療法士」935人(9.9%)、「薬剤師」832人(8.8%)と続いており、「臨床検査技師」は554人(5.8%)となっている。尚、「未回答・無効回答」として集計した未回答、もしくは判別不能の回答は全体の43.3%となっている。

* 2つまで回答可

Q5)次のうちにあなたが取得したい資格があれば次の中から2つまで選び○をつけて下さい。

	回答数(人)	構成比(%)
総計	9,478	100.0%
臨床検査技師	554	5.8%
理学療法士	935	9.9%
作業療法士	372	3.9%
言語聴覚士	241	2.5%
看護師	1,178	12.4%
薬剤師	832	8.8%
社会福祉士	433	4.6%
その他	829	8.7%
未回答・無効回答	4,104	43.3%



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

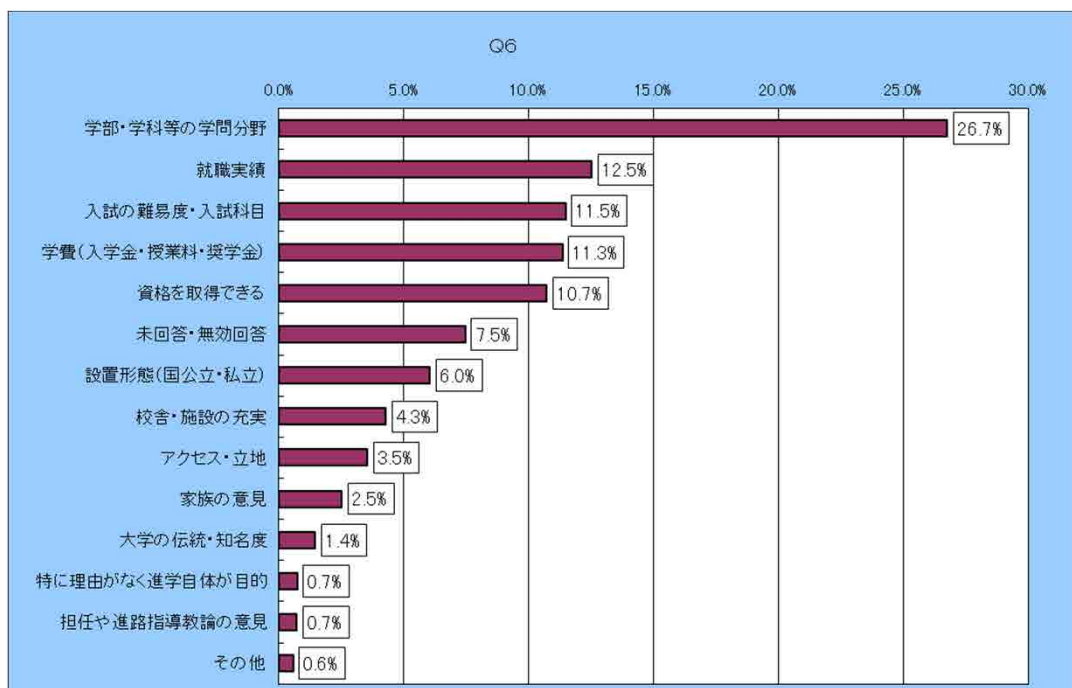
Q6)進学先決定時の重視要因

回答者の進学先決定時の重視要因は、第一位が「学部・学科等の学問分野」3,742人(26.7%)で、第二位「就職実績」1,751人(12.5%)、第三位「入試の難易度・入試科目」1,605人(11.5%)となっており、「学費(入学金・授業料・奨学金)」1,588人(11.3%)、「資格を取得できる」1,499人(10.7%)も各10%以上の回答者に選択されている。尚、「未回答・無効回答」として集計した未回答、もしくは判別不能の回答は全体の7.5%となっている。

* 2つまで回答可

Q6)あなたは進学先を決定する際に、どのような要因を重視しますか？

	回答数(人)	構成比(%)
総計	13,997	100.0%
学部・学科等の学問分野	3,742	26.7%
就職実績	1,751	12.5%
資格を取得できる	1,499	10.7%
設置形態(国公立・私立)	846	6.0%
校舎・施設の充実	598	4.3%
学費(入学金・授業料・奨学金)	1,588	11.3%
大学の伝統・知名度	200	1.4%
入試の難易度・入試科目	1,605	11.5%
担任や進路指導教諭の意見	100	0.7%
家族の意見	353	2.5%
アクセス・立地	493	3.5%
特に理由がなく進学自体が目的	101	0.7%
その他	78	0.6%
未回答・無効回答	1,043	7.5%



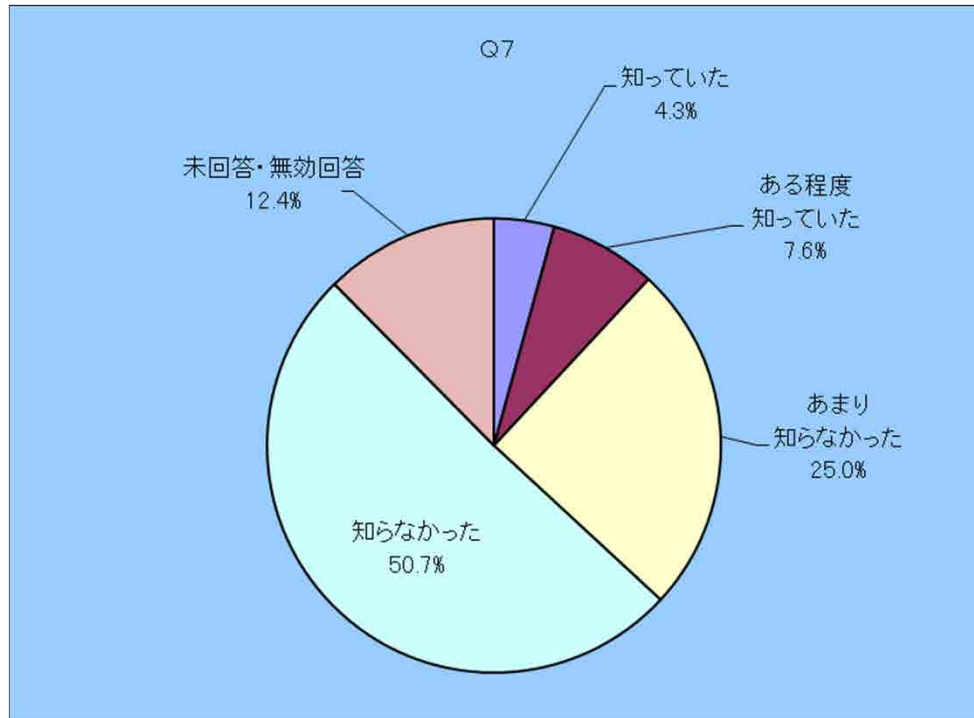
*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入記載

Q7)北海道医療大学の認知度

回答者の北海道医療大学の認知度は、「知っていた」が335人(4.3%)、「ある程度知っていた」が598人(7.6%)で、これらの合計が933人(11.9%)となっている。一方、「あまり知らなかった」は1,952人(25.0%)、「知らなかった」は3,967人(50.7%)で、これらの合計は5,919人(75.7%)となっている。尚、「未回答・無効回答」として集計した未回答、もしくは判別不能の回答は全体の12.4%となっている。

Q7)これまで北海道医療大学の教育・研究内容(分野・特色等)について知っていましたか？

	回答数(人)	構成比(%)
全体	7,823	100.0%
知っていた	335	4.3%
ある程度知っていた	598	7.6%
あまり知らなかった	1,952	25.0%
知らなかった	3,967	50.7%
未回答・無効回答	971	12.4%



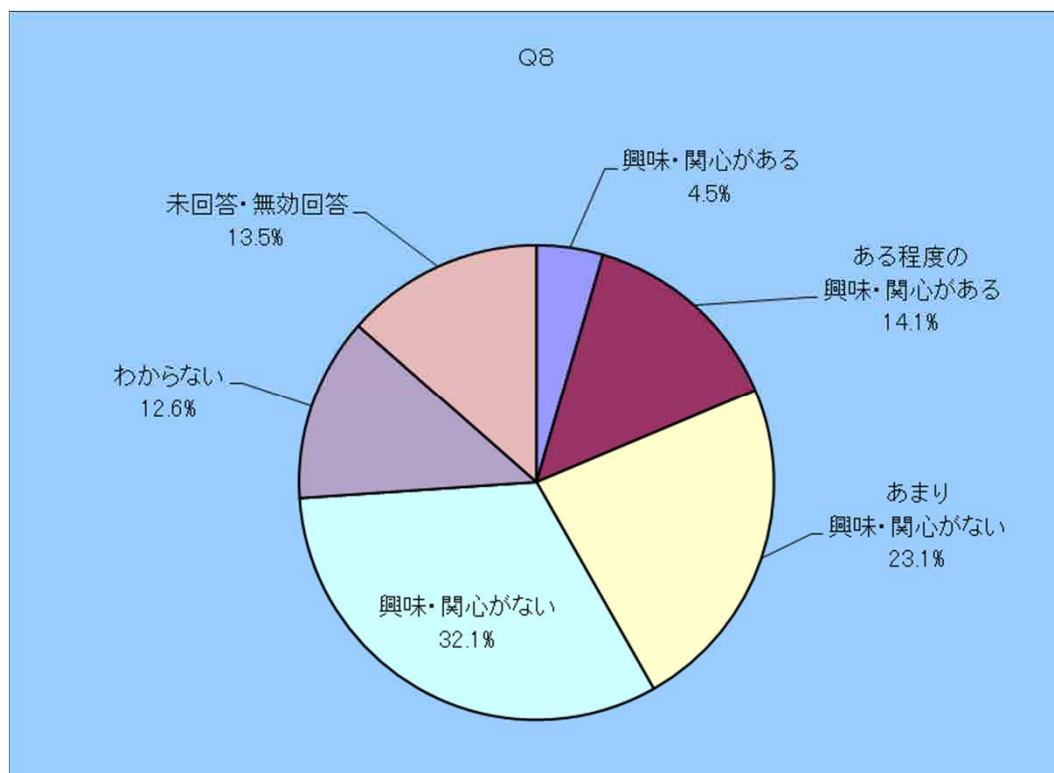
*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q8)健康衛生学部 臨床検査学科への 興味・関心

回答者の健康衛生学部 臨床検査学科への興味・関心は、「興味・関心がある」が354人(4.5%)、「ある程度の興味・関心がある」が1,105人(14.1%)で、これらの合計が1,459人(18.6%)となっている。一方、「あまり興味・関心がない」は1,809人(23.1%)、「興味・関心がない」は2,515人(32.1%)で、これらの合計は4,324人(55.2%)となっている。また、983人(12.6%)の生徒が「わからない」と回答しており、この層には健康衛生学部 臨床検査学科の養成する人材像や教育・研究の特色が十分に伝わっていない可能性がある。尚、「未回答・無効回答」として集計した未回答、もしくは判別不能の回答は全体の13.5%となっている。

Q8)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科に興味・関心がありますか？

	回答数(人)	構成比(%)
全体	7,823	100.0%
興味・関心がある	354	4.5%
ある程度の興味・関心がある	1,105	14.1%
あまり興味・関心がない	1,809	23.1%
興味・関心がない	2,515	32.1%
わからない	983	12.6%
未回答・無効回答	1,057	13.5%



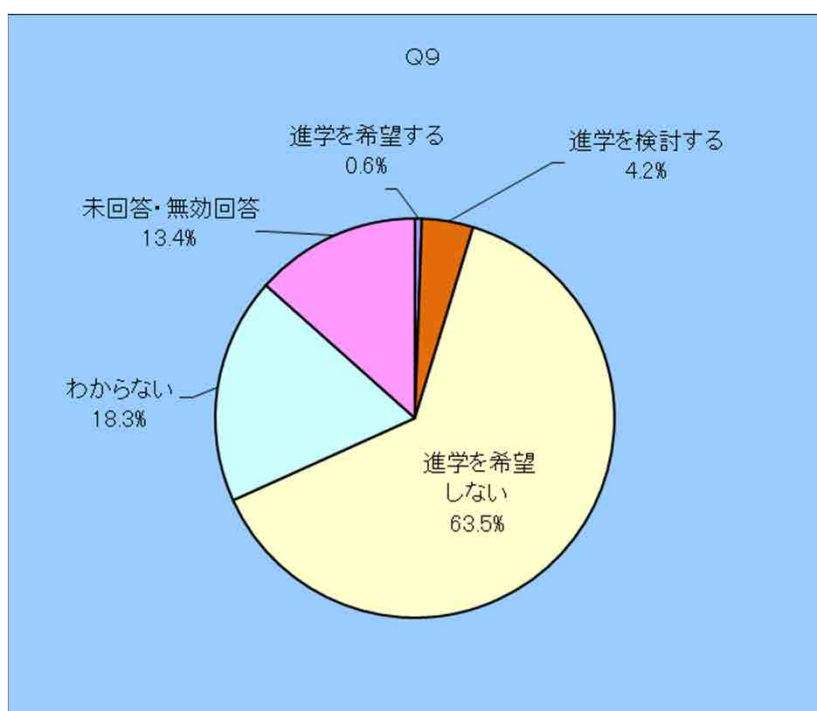
*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q9)健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向

回答者の健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向は、「進学を希望する」が44人(0.6%)、「進学を検討する」が325人(4.2%)で、何らかの進学の意向を持つこれら生徒の合計が369人(4.8%)となり、進学意向は「進学を希望する」で入学定員(80人)の0.6倍、「進学を検討する」まで含めると4.6倍となる。また、「進学を希望しない」と回答した進学意向のない生徒は4,970人(63.5%)で、「わからない」と回答した生徒が1,435人(18.3%)いることから、この層には健康衛生学部 臨床検査学科の養成する人材像や教育・研究の特色が十分に伝わっていない可能性がある。

Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科に進学したいと思いますか？

	回答数(人)	構成比(%)
全体	7,823	100.0%
進学を希望する	44	0.6%
進学を検討する	325	4.2%
進学を希望しない	4,970	63.5%
わからない	1,435	18.3%
未回答・無効回答	1,049	13.4%



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入記載

Q10)健康衛生学部 臨床検査学科設置計画への 意見・要望1/4

Q10)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科設置計画に対するご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

Q10
安いと思いました。
意外と学費が安かったです。
学納金が他の私立大に比べ少ないというのは良い点だと思います。
学納金が他の大学より安いのはなぜか気になる。
学費が安いところが良いと思う。
他の大学に比べて学納金が安いので、いいなと思いました。
他の大学に比べて学費が安いところが良いと思った。
他の大学よりも学納金が安かったりしていいと思います。
他の大学より学費が安いのは良いと思った。
他の大学より学費が安くいいと思います。
同じ分野の他の大学と比べ、学納金が安いのが魅力的だと思う
いっぱいお金がかかるんだなと思った。
お金が高すぎる気がする。
とても良いと思いますが、やはり、学費が高いため、手が出にくいのでは？
もう少し学費が安くしてほしい。
家あまり経済的に安定してわけではないので学費の負担がもう少し減らされれば望ましいかなと思います。
学生が学ぶ環境をつくっていくのはとても良いことだと思います。でも、経済的に厳しい人もたくさんいるので、そこが課題だと思います。
学納金がもう少し安いと行きたいと思います。
学納金がやはり高いと思いました。
学納金が高い。
学納金が高過ぎる。
学費が高い。
学費が高い。
学費を安くして欲しい。
学費を下げてほしい。
学費を減らしてほしい。
学費安くして下さい。
学部を増やすくらいなら学費を減らしてほしいです。
授業料がもう少し安ければと思う。
同分野の他の大学よりも学納金が少ないのは良いと思った。
費用が高い
臨麻検査の仕事には興味があるけど、私立は学費が高いので行けません。
たくさん学科があるというので色々な学科が交流したりできるような機会をたくさんつけてほしいです。
よくわからないもっと詳しい内容を知りたい。
医療に関しての新たな学部を設置するのは興味があるのでぜひ設置してほしいです。
医療のレベルが上がると思うのでいいと思います。
医療の進化に伴って学ぶ分野が増えていくのはいいことだと思います。本校のますますの発展を祈っています。
医療大では他の学部と一緒にやる授業があるのでチーム医療が重視されている今学部をふやすのはいいことだと思う。
各学部との連携が増えることを期待します。
学部が増えることでグループ医療に強くなるので良いと思います。

Q10)健康衛生学部 臨床検査学科設置計画への 意見・要望2/4

Q10
教養だけでなく、高い倫理観やコミュニケーション能力は医療分野で大事だと思う。
健康衛生学部臨床検査学科の特色が良いと思いました。
高度な技術を習得できるのは良いと思う。
高度な養成を受けられるのはいいと思う。
そこでどんなことをするのかもっと知りたいです。
その学部が何をするのか知らないなのでそこが知りたい。
どういことをやるのかよくわからないからわからない。
どういう学科なのか想像がつかない。
どのような、学習をしていくのか。
どのようなことをするのですか？
どのようなことをする学部・学科なのかあまりわからないので詳しい説明があると嬉しいです。
どんなことをしているのか聞きたいと思いました。
どんなことをするのかがよくわからない。
どんな事しているのかわからない。
どんな事をするか。
なにをするための学科なんですか？
もう少し細かい情報がないとわからない
もっとくわしく説明がほしいです。
もっとくわしく知りたい。
もっと学部などの説明がほしいです。
何をする学科なのかわからないので教えてほしい。
何を学ぶ学部なのかいまいまいちわからなかった。
具体的に何をするのかよくわからないです。はたらくところはわかってもやれることがわからないのはちょっと困るです。
具体的に何をするのですか？
具体例として、どのような授業内容がありますか。
資料の内容が難しく、少しわかりづらかった。
自分達がこの学部に入った時に、先輩達がいらないという事は、先輩の助言などや先輩の声などの、どのようなものかなど分からないのでリスクもあるのかなと思った。
新しい学部を設置することによって臨床検査技師に興味をもつ人が多くなると思うのでとてもすばらしいと思いました。
道内で、福祉系(看護、リハビリ)等の学科は増えているが、臨床検査学科が少ないので、是非設置を検討して頂きたいです。
道内に臨床検査に関する学科はすくないのでとてもいいと思う。
道南の医療の充実に向けていいとおもいます。
北海道・東北には私立が1つしかなかったのでぜひつくってください。
北海道で臨床検査学科が設置されることは良いことだと思います。
北海道にこの学科はあまりないので、とても良いと思います！
北海道に臨床検査学科がとても少ないので、設置を希望します。
北海道に臨床検査学科のある大学が少なくて困っていたので、設置をする事に賛成です。北海道医療大に進学したいと思いました。
北海道の大学に、検査学科を学べる大学が少ないのでぜひ作ってほしい
北海道医療大学のオープンキャンパスに行かせてもらいましたが、今回、自分の行きたい学部が設置されそうなのでうれしいです。
北大での臨床検査の募集人数が少ないため、臨床検査を目指している人にはありがたいことだと思います！

Q10)健康衛生学部 臨床検査学科設置計画への 意見・要望3/4

Q10
友人に聞いたところ、私大でこの学科はまだ北海道にない、と聞いたので、進路の幅が広がると思うので設置した方がいいと思います。
臨床検査を学べる学校が少ないので、設置してほしいです。
臨床検査学に以前興味があったので、少し気になりました。
臨床検査学は興味があるのでとても良いとおもいました。
臨床検査学科が設置されている大学が少ないので、設置するべきだと思います。
臨床検査学科の希望で行ける大学の範囲が広がって良いと思います。
臨床検査技士を目指したいと思っているのでぜひ設置してほしいです
臨床検査技士を目指していても、なれる学校が少ないと思うので、良いと思う。
臨床検査技師ということについてはとても良いと思います。新たな人材の養成を心から望んでおります。
臨床検査技師の試験受験資格があるということに興味をもちました。
臨床検査技師を目指している人にとっては札幌市近郊に学校ができるのは良いことであると思います。
初めて聞いた学科だったので、よくわかりませんでした。でも、少し興味のある話でした！！
初めて聞いた学科なのでよくわかりませんが、学ぶ分野が増えて、とても良いと思います。
初めて聞いた名前なのであまりよく分かりません。
正直臨床検査学科と言われても具体的に何をやるのかわからない。
他の大学にも臨床検査技師の資格とれる学部・学科があるのに他にも作ってしまったら臨床検査技士の難易度がさがる。
臨床検査がどういうものなのか、よく知らないので興味をもてませんでした。
臨床検査がなにかよくわからない。
臨床検査がわからない。
臨床検査って何をするのか、具体的によくわかりません。他の学校との違いがよくわからないので、他の札幌など栄えた所に行きたいと思います。
臨床検査というものの自体がハッキリとしたイメージが湧かないのもっと臨床検査についての情報が欲しい。
臨床検査学とは何を学ぶのかがよく分からないので気になります。
臨床検査学科が何をしているのか詳しい内容を別紙に書いて欲しい
臨床検査技士は需要が少ない
ドラマを見てこの職業にすごくあこがれた時期があったので、嬉しい。
近年では臨床検査技師も減っていると聞くので、いいと思う。
国家資格とれるからよさそう
今のところ臨床検査技師になることを目指していて、その資格を取れる私立大学が北海道になかったので、とてもうれしいです。
最近、臨床検査技師の人気も高まっていると思うので良いと思います。
私は将来、臨床検査技師を目指しています。私立で臨床検査学科がある所はあまりなかったので、進学を検討したいと思っています。
資格が取れるのは良いなと思いました。
資格などをたくさんとれるのであればいいと思います。
資格もとれて良いと思う。
資格をとることができるのは良いと思います。
北海道では勉強できる内容に限りがあるので、北海道でとれる資格の幅が広がるのは良いと思いました。
北海道内で臨床検査技師の資格がとれる学校は全然ないので、出来てくれるととても嬉しい。
資格を複数とれるようにしたほうがよい。
取得可能な資格を増やしてほしいです。
卒業後の活躍フィールドが広いと思った。
実際に働くときの役割や勤務先がどのようなものか知りたい。

Q10) 健康衛生学部 臨床検査学科設置計画への 意見・要望4/4

Q10
卒業後の活躍フィールドをもっと増やしてほしい
最新設備、機械の導入、資格の充実を求めます。
施設を充実させたいと思います。
他の学部ができるのはどうでもいいが、医療大の取り組み施設はとても素晴らしいと思う。これからもがんばって下さい。
北海道医療大学さんには以前から以前から関心があったので、その大学に学部(学科)がふえるのは個人的にとっても良いと思います。
北海道内で有名な大学に学部が増えるのは良い事だと思います。
御校についての情報がありません。情報をパンフレット等でもっと公開されたら、と思います。
始めて聞いた校名でした。
正直に申し上げますと、私の知識不足ではございますが、名前も初めて聞いたようなものですので意見ございません。とても駅から近くていいですね。
知らないのではありません。
知らなかったです。
知りません。
学部の名称が長いと思いました。
アクセスが良いと思います。
アクセスもよく、校舎もキレイですが学費が高く、入学できそうにありません。
アクセスもよく、優秀な臨床検査技師の育成ができるようなので、進路も広がるため良いと思う。
駅から近くていいと思った
駅から近くてよいと思う。
駅が近くてアクセスしやすく良い立地だと思った。
交通アクセスが良いことはいいと思う。
交通が便利で良いと思います
アクセスが近いのはいいと思った
イメージがわからない。アクセスが悪い。

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

健康衛生学部 臨床検査学科の関心層

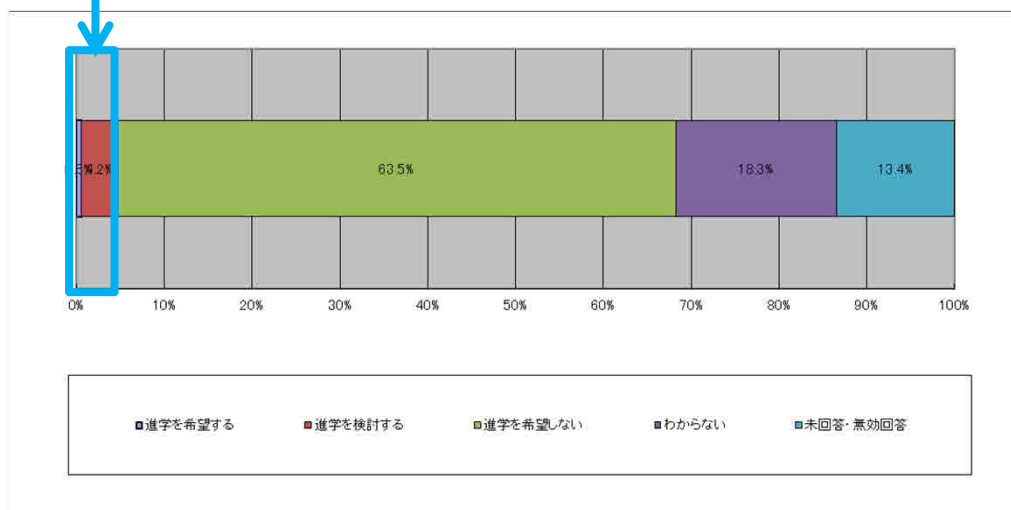
回答者の健康衛生学部 臨床検査学科への関心を分析するため、以下のとおり「関心層」を定義する。

Q9)において、「進学を希望する」、「進学を検討する」を選択した合計369人(4.8%)を「関心層」と定義し、次項より「関心層」の傾向を分析する。

Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科に進学したいと思いますか？

	回答数(人)	構成比(%)
全体	7,823	100.0%
進学を希望する	44	0.6%
進学を検討する	325	4.2%
進学を希望しない	4,970	63.5%
わからない	1,435	18.3%
未回答・無効回答	1,049	13.4%

関心層



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載
*次頁以降の集計は、各設問から未回答・無効回答を除いて集計

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q1)性別

有効回答者の性別は、全体平均では「男性」3,033人(44.9%)、「女性」3,716人(55.1%)と「女性」が多くなっており、関心層でも「男性」が156人(42.6%)、「女性」が210人(57.4%)と「女性」が「男性」を上回っている。また、dif(関心層での比率と全体平均での比率の差)では、関心層と性別で「女性」を選択した層にやや相関性がみられる。

Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向とQ1)性別の相関性

単位:(人)(%)

Q1)性別	全体平均		進学を希望する		進学を検討する		関心層		dif	進学を希望しない		わからない	
調査数	6,749	100.0%	42	100.0%	324	100.0%	366	100.0%		4,954	100.0%	1,429	100.0%
男性	3,033	44.9%	14	33.3%	142	43.8%	156	42.6%	-2.3%	2,208	44.6%	669	46.8%
女性	3,716	55.1%	28	66.7%	182	56.2%	210	57.4%	2.3%	2,746	55.4%	760	53.2%

上記は、表頭(表の上側)に「Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向」を尋ねた質問の回答を記載。

それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

*dif=関心層での比率－全体平均での比率

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q2)居住地域

関心層の居住地域は、「道央(石狩・空知・胆振・日高・後志)」229人(62.7%)が最も多く、「道南(渡島・檜山)」59人(16.2%)、「道北(上川・留萌・宗谷)」42人(11.5%)と続いている。また、dif(関心層での比率と全体平均での比率の差)では、関心層と居住地域で「道南(渡島・檜山)」を選択した層に相関性がみられ、「道北(上川・留萌・宗谷)」を選択した層にもやや相関性がみられる。

Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向とQ2)居住地域との相関性

単位:(人)(%)

Q2)居住地域	全体平均		進学を希望する		進学を検討する		関心層		dif	進学を希望しない		わからない	
調査数	6,731	100.0%	44	100.0%	321	100.0%	365	100.0%		4,938	100.0%	1,428	100.0%
道央(石狩・空知・胆振・日高・後志)	4,702	69.9%	28	63.6%	201	62.6%	229	62.7%	-7.1%	3,501	70.9%	972	68.1%
道南(渡島・檜山)	692	10.3%	7	15.9%	52	16.2%	59	16.2%	5.9%	468	9.5%	165	11.6%
道北(上川・留萌・宗谷)	647	9.6%	3	6.8%	39	12.1%	42	11.5%	1.9%	452	9.2%	153	10.7%
道東(オホーツク・十勝・釧路・根室)	690	10.3%	6	13.6%	29	9.0%	35	9.6%	-0.7%	517	10.5%	138	9.7%

上記は、表頭(表の上側)に「Q9)北海道医療大学健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向」を尋ねた質問の回答を記載。

それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

*dif=関心層での比率-全体平均での比率

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q3)高校卒業後の進路

関心層の高校卒業後の進路は、「四年制大学への進学」269人(73.3%)が最も多く、「六年制大学への進学」45人(12.3%)、「専門学校への進学」36人(9.8%)と続いている。また、dif(関心層での比率と全体平均での比率の差)では、関心層と高校卒業後の進路で「六年制大学への進学」を選択した層に相関性がみられる。

Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向とQ3)高校卒業後の進路との相関性

単位:(人)(%)

Q3)高校卒業後の進路	全体平均		進学を希望する		進学を検討する		関心層		dif	進学を希望しない		わからない	
	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)		人数	比率(%)	人数	比率(%)
調査数	6,751	100.0%	44	100.0%	323	100.0%	367	100.0%		4,956	100.0%	1,428	100.0%
六年制大学への進学	484	7.2%	6	13.6%	39	12.1%	45	12.3%	5.1%	340	6.9%	99	6.9%
四年制大学への進学	4,979	73.8%	33	75.0%	236	73.1%	269	73.3%	-0.5%	3,683	74.3%	1,027	71.9%
短期大学への進学	205	3.0%	2	4.5%	1	0.3%	3	0.8%	-2.2%	163	3.3%	39	2.7%
専門学校への進学	759	11.2%	1	2.3%	35	10.8%	36	9.8%	-1.4%	582	11.7%	141	9.9%
就職	61	0.9%	0	0.0%	1	0.3%	1	0.3%	-0.6%	45	0.9%	15	1.1%
その他	12	0.2%	0	0.0%	1	0.3%	1	0.3%	0.1%	8	0.2%	3	0.2%
決めていない	251	3.7%	2	4.5%	10	3.1%	12	3.3%	-0.4%	135	2.7%	104	7.3%

上記は、表頭(表の上側)に「Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向」を尋ねた質問の回答を記載。

それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

*dif=関心層での比率-全体平均での比率

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q4)進学したい分野(第1希望)

関心層の進学希望分野(第1希望)は、第一位が「医療技術(リハビリ・臨床検査など)」112人(31.0%)で、第二位「看護学」80人(22.2%)、第三位「医学・歯学・薬学」52人(14.4%)と続いている。またdif(関心層での比率と全体平均での比率の差)では、関心層と進学したい分野(第1希望)で「医療技術(リハビリ・臨床検査など)」を選択した層に非常に高い相関性が、「看護学」を選択した層に高い相関性がみられ、「医学・歯学・薬学」を選択した層にも一定の相関性がみられる。

Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向とQ4)進学したい分野(第1希望)との相関性

単位:(人)(%)

Q4)進学したい分野(第1希望)	全体平均		進学を希望する		進学を検討する		関心層		dif	進学を希望しない		わからない	
調査数	6,601	100.0%	42	100.0%	319	100.0%	361	100.0%		4,855	100.0%	1,385	100.0%
文学・史学・哲学	292	4.4%	3	7.1%	4	1.3%	7	1.9%	-2.5%	223	4.6%	62	4.5%
語学関係(外国語・言語学)	447	6.8%	2	4.8%	4	1.3%	6	1.7%	-5.1%	380	7.8%	61	4.4%
教育学(教員養成を含む)・保育学	735	11.1%	6	14.3%	7	2.2%	13	3.6%	-7.5%	570	11.7%	152	11.0%
心理学	197	3.0%	1	2.4%	12	3.8%	13	3.6%	0.6%	139	2.9%	45	3.2%
法学・政治学	251	3.8%	2	4.8%	5	1.6%	7	1.9%	-1.9%	204	4.2%	40	2.9%
経済学・経営学・商学	802	12.1%	3	7.1%	11	3.4%	14	3.9%	-8.3%	623	12.8%	165	11.9%
社会学・福祉学	94	1.4%	0	0.0%	3	0.9%	3	0.8%	-0.6%	80	1.6%	11	0.8%
理学・工学	968	14.7%	2	4.8%	37	11.6%	39	10.8%	-3.9%	748	15.4%	181	13.1%
農学・水産学	206	3.1%	0	0.0%	2	0.6%	2	0.6%	-2.6%	170	3.5%	34	2.5%
医学・歯学・薬学	451	6.8%	5	11.9%	47	14.7%	52	14.4%	7.6%	291	6.0%	108	7.8%
看護学	776	11.8%	5	11.9%	75	23.5%	80	22.2%	10.4%	470	9.7%	226	16.3%
医療技術(リハビリ・臨床検査など)	475	7.2%	11	26.2%	101	31.7%	112	31.0%	23.8%	230	4.7%	133	9.6%
食物学・栄養学	201	3.0%	1	2.4%	3	0.9%	4	1.1%	-1.9%	155	3.2%	42	3.0%
家政学関係(被服・住居)	20	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-0.3%	19	0.4%	1	0.1%
体育学・健康科学	139	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-2.1%	99	2.0%	40	2.9%
芸術学	228	3.5%	1	2.4%	4	1.3%	5	1.4%	-2.1%	192	4.0%	31	2.2%
その他	319	4.8%	0	0.0%	4	1.3%	4	1.1%	-3.7%	262	5.4%	53	3.8%

上記は、表頭(表の上側)に「Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向」を尋ねた質問の回答を記載。

それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

*dif=関心層での比率-全体平均での比率

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q4)進学したい分野(第2希望)

関心層の進学希望分野(第2希望)は、第一位が「医療技術(リハビリ・臨床検査など)」95人(26.8%)で、第二位「医学・歯学・薬学」及び「看護学」各45人(12.7%)、第三位「理学・工学」27人(7.6%)と続いている。またdif(関心層での比率と全体平均での比率の差)では、関心層と進学したい分野(第1希望)で「医療技術(リハビリ・臨床検査など)」を選択した層に高い相関性が、「看護学」、「医学・歯学・薬学」を選択した層にも相関性がみられる。

Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向とQ4)進学したい分野(第2希望)との相関性

単位:(人)(%)

Q4)進学したい分野(第1希望)	全体平均		進学を希望する		進学を検討する		関心層		dif	進学を希望しない		わからない	
調査数	6,283	100.0%	39	100.0%	315	100.0%	354	100.0%		4,603	100.0%	1,326	100.0%
文学・史学・哲学	436	6.9%	1	2.6%	3	1.0%	4	1.1%	-5.8%	363	7.9%	69	5.2%
語学関係(外国語・言語学)	421	6.7%	1	2.6%	5	1.6%	6	1.7%	-5.0%	345	7.5%	70	5.3%
教育学(教員養成を含む)・保育学	594	9.5%	4	10.3%	18	5.7%	22	6.2%	-3.2%	453	9.8%	119	9.0%
心理学	509	8.1%	3	7.7%	15	4.8%	18	5.1%	-3.0%	382	8.3%	109	8.2%
法学・政治学	337	5.4%	3	7.7%	9	2.9%	12	3.4%	-2.0%	266	5.8%	59	4.4%
経済学・経営学・商学	571	9.1%	1	2.6%	11	3.5%	12	3.4%	-5.7%	457	9.9%	102	7.7%
社会学・福祉学	234	3.7%	0	0.0%	3	1.0%	3	0.8%	-2.9%	192	4.2%	39	2.9%
理学・工学	378	6.0%	1	2.6%	26	8.3%	27	7.6%	1.6%	286	6.2%	65	4.9%
農学・水産学	262	4.2%	1	2.6%	14	4.4%	15	4.2%	0.1%	192	4.2%	55	4.1%
医学・歯学・薬学	459	7.3%	2	5.1%	43	13.7%	45	12.7%	5.4%	285	6.2%	129	9.7%
看護学	297	4.7%	6	15.4%	39	12.4%	45	12.7%	8.0%	182	4.0%	70	5.3%
医療技術(リハビリ・臨床検査など)	597	9.5%	6	15.4%	89	28.3%	95	26.8%	17.3%	320	7.0%	182	13.7%
食物学・栄養学	239	3.8%	6	15.4%	10	3.2%	16	4.5%	0.7%	157	3.4%	66	5.0%
家政学関係(被服・住居)	71	1.1%	0	0.0%	1	0.3%	1	0.3%	-0.8%	64	1.4%	6	0.5%
体育学・健康科学	287	4.6%	2	5.1%	18	5.7%	20	5.6%	1.1%	194	4.2%	73	5.5%
芸術学	215	3.4%	0	0.0%	5	1.6%	5	1.4%	-2.0%	171	3.7%	39	2.9%
その他	376	6.0%	2	5.1%	6	1.9%	8	2.3%	-3.7%	294	6.4%	74	5.6%

上記は、表頭(表の上側)に「Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向」を尋ねた質問の回答を記載。

それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

*dif=関心層での比率-全体平均での比率

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q5)取得したい資格

関心層の取得したい資格は、「臨床検査技師」181人(31.4%)が最も多く、「看護師」115人(19.9%)、「理学療法士」108人(18.7%)と続いている。また、dif(関心層での比率と全体平均での比率の差)でも、関心層と取得したい資格で「臨床検査技師」を選択した層に非常に高い相関性があり、「理学療法士」を選択した層に非常にもやや相関性がみられる。

Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向とQ5)取得したい資格との相関性

単位:(人)(%)

Q5)取得したい資格	全体平均		進学を希望する		進学を検討する		関心層		dif	進学を希望しない		わからない	
	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)		人数	比率(%)	人数	比率(%)
調査数	5,184	100.0%	60	100.0%	517	100.0%	577	100.0%		3,233	100.0%	1,374	100.0%
臨床検査技師	539	10.4%	18	30.0%	163	31.5%	181	31.4%	21.0%	205	6.3%	153	11.1%
理学療法士	902	17.4%	6	10.0%	102	19.7%	108	18.7%	1.3%	527	16.3%	267	19.4%
作業療法士	358	6.9%	6	10.0%	38	7.4%	44	7.6%	0.7%	211	6.5%	103	7.5%
言語聴覚士	229	4.4%	3	5.0%	17	3.3%	20	3.5%	-1.0%	157	4.9%	52	3.8%
看護師	1,130	21.8%	13	21.7%	102	19.7%	115	19.9%	-1.9%	689	21.3%	326	23.7%
薬剤師	810	15.6%	11	18.3%	68	13.2%	79	13.7%	-1.9%	523	16.2%	208	15.1%
社会福祉士	417	8.0%	3	5.0%	7	1.4%	10	1.7%	-6.3%	305	9.4%	102	7.4%
その他	799	15.4%	0	0.0%	20	3.9%	20	3.5%	-11.9%	616	19.1%	163	11.9%

上記は、表頭(表の上側)に「Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向」を尋ねた質問の回答を記載。

それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

*dif=関心層での比率-全体平均での比率

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q6)進学先決定時の重視要因

関心層の進学先決定時の重視要因は、「学部・学科等の学問分野」171人(24.6%)が最も多く、「資格を取得できる」111人(16.0%)、「学費(入学金・授業料・奨学金)」99人(14.3%)と続いている。また、dif(関心層での比率と全体平均での比率の差)でも、関心層と進学先決定時の重視要因で「資格を取得できる」、「学費(入学金・授業料・奨学金)」を選択した層にやや相関性がみられる。関心層は学びの分野を重視すると共に、この分野での就職の前提条件となる資格取得を重視していることから、確実に資格を取得させるための教育内容の充実と学生支援体制が重要な成功要因となると考えられる。また、医療系分野では他の分野と比較して、学費が高額となる傾向があることから、「学費(入学金・授業料・奨学金)」が重視されていると考えられ、同分野の学部学科の状況を鑑みた学納金の設定や奨学金制度の整備も重要な課題となる。

Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向とQ6)進学先決定時の重視要因との相関性

単位:(人)(%)

Q6)進学先決定時の重視要因	全体平均		進学を希望する		進学を検討する		関心層		dif	進学を希望しない		わからない	
調査数	12,728	100.0%	76	100.0%	618	100.0%	694	100.0%		9,374	100.0%	2,660	100.0%
学部・学科等の学問分野	3,676	28.9%	19	25.0%	152	24.6%	171	24.6%	-4.2%	2,800	29.9%	705	26.5%
就職実績	1,718	13.5%	10	13.2%	73	11.8%	83	12.0%	-1.5%	1,262	13.5%	373	14.0%
資格を取得できる	1,475	11.6%	16	21.1%	95	15.4%	111	16.0%	4.4%	1,019	10.9%	345	13.0%
設置形態(国公立・私立)	835	6.6%	4	5.3%	42	6.8%	46	6.6%	0.1%	668	7.1%	121	4.5%
校舎・施設の充実	584	4.6%	6	7.9%	27	4.4%	33	4.8%	0.2%	451	4.8%	100	3.8%
学費(入学金・授業料・奨学金)	1,555	12.2%	9	11.8%	90	14.6%	99	14.3%	2.0%	1,081	11.5%	375	14.1%
大学の伝統・知名度	197	1.5%	0	0.0%	7	1.1%	7	1.0%	-0.5%	169	1.8%	21	0.8%
入試の難易度・入試科目	1,578	12.4%	5	6.6%	78	12.6%	83	12.0%	-0.4%	1,135	12.1%	360	13.5%
担任や進路指導教諭の意見	98	0.8%	0	0.0%	6	1.0%	6	0.9%	0.1%	68	0.7%	24	0.9%
家族の意見	350	2.7%	0	0.0%	22	3.6%	22	3.2%	0.4%	250	2.7%	78	2.9%
アクセス・立地	485	3.8%	4	5.3%	22	3.6%	26	3.7%	-0.1%	352	3.8%	107	4.0%
特に理由がなく進学自体が目的	99	0.8%	3	3.9%	3	0.5%	6	0.9%	0.1%	64	0.7%	29	1.1%
その他	78	0.6%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%	-0.5%	55	0.6%	22	0.8%

上記は、表頭(表の上側)に「Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向」を尋ねた質問の回答を記載。

それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

*dif=関心層での比率-全体平均での比率

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q7) 北海道医療大学の認知度

関心層の北海道医療大学の認知度では、「知っていた」が70人(19.2%)、「ある程度知っていた」が68人(18.6%)となっており、これらの合計が138人(37.8%)で4割近くになっている。また、dif(関心層での比率と全体平均での比率の差)では、関心層と北海道医療大学の認知度で「知っていた」、「あまり知らなかった」を選択した層に高い相関性が、「ある程度知っていた」を選択した層にも相関性がみられる。これらの層では認知度の低下と共に「進学希望する」よりも「進学を検討する」の比率が上昇していることから、高校訪問、オープンキャンパス等で健康衛生学部 臨床検査学科の養成する人材像や教育・研究の特色を丁寧に説明すると共に、大学が位置する道央地区のみならず、ターゲットとなる北海道全域で、大学の認知度を上げる広報戦略も重要な成功要因になると考えられる。

Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向とQ7)北海道医療大学の認知度との相関性

単位:(人)(%)

Q7)北海道医療大学の認知度	全体平均		進学を希望する		進学を検討する		関心層		dif		進学を希望しない		わからない	
調査数	6,731	100.0%	43	100.0%	322	100.0%	365	100.0%			4,942	100.0%	1,424	100.0%
知っていた	327	4.9%	23	53.5%	47	14.6%	70	19.2%	14.3%	183	3.7%	74	5.2%	
ある程度知っていた	591	8.8%	6	14.0%	62	19.3%	68	18.6%	9.8%	390	7.9%	133	9.3%	
あまり知らなかった	1,922	28.6%	7	16.3%	138	42.9%	145	39.7%	11.2%	1,333	27.0%	444	31.2%	
知らなかった	3,891	57.8%	7	16.3%	75	23.3%	82	22.5%	-35.3%	3,036	61.4%	773	54.3%	

上記は、表頭(表の上側)に「Q9)健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向」を尋ねた質問の回答を記載。

それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

*dif=関心層での比率-全体平均での比率

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q8) 健康衛生学部 臨床検査学科への興味・関心

関心層の健康衛生学部 臨床検査学科への興味・関心では、「興味・関心がある」が182人(49.3%)、「ある程度の興味・関心がある」が148人(40.1%)となっており、これらの合計が330人(89.4%)で9割近くとなっている。また、dif(関心層での比率と全体平均での比率の差)では、関心層と健康衛生学部 臨床検査学科への興味・関心で「興味・関心がある」、「ある程度の興味・関心がある」を選択した層に非常に高い相関性がみられる。

Q9)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向とQ8)健康衛生学部 臨床検査学科への興味・関心との相関性

単位:(人)(%)

Q8)興味・関心	全体平均		進学を希望する		進学を検討する		関心層		dif	進学を希望しない		わからない	
調査数	6,759	100.0%	44	100.0%	325	100.0%	369	100.0%		4,960	100.0%	1,430	100.0%
興味・関心がある	354	5.2%	38	86.4%	144	44.3%	182	49.3%	44.1%	84	1.7%	88	6.2%
ある程度の興味・関心がある	1,104	16.3%	2	4.5%	146	44.9%	148	40.1%	23.8%	619	12.5%	337	23.6%
あまり興味・関心がない	1,806	26.7%	2	4.5%	27	8.3%	29	7.9%	-18.9%	1,565	31.6%	212	14.8%
興味・関心がない	2,514	37.2%	1	2.3%	2	0.6%	3	0.8%	-36.4%	2,281	46.0%	230	16.1%
わからない	981	14.5%	1	2.3%	6	1.8%	7	1.9%	-12.6%	411	8.3%	563	39.4%

上記は、表頭(表の上側)に「Q9)健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向」を尋ねた質問の回答を記載。

それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

*dif=関心層での比率-全体平均での比率

進学需要推計

進学需要推計

①分析対象

北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科への進学ターゲット層として選定した進学需要調査対象校52校に在籍する高校2年生13,139人。

②調査対象の在籍者数、回答者数内訳

調査対象校52校の第2学年全在籍者数13,139人を対象とし、回答が得られた39校の第2学年在籍者数は9,743人で、このうち7,823人の調査票を回収した。

調査対象内訳

項目	高等学校数(校)	在籍者数(人)－A	回答者数(人)－B	C(=B÷A)
調査対象全体(調査母数)	52	13,139		
回答	39	9,743	7,823	80.3%
未回答	13	3,396	*未回答者数	—

③未回答校 進学ターゲット層人数の推計

上記②では、調査回答校の在籍者数と回答者数に差があることから、ここでは保守的に回答者数を調査回答校に在籍する健康衛生学部 臨床検査学科への進学ターゲット層人数と定義し、回答校の在籍者数に対する回答者数の比率(C)から、未回答校の進学ターゲット層人数(=*未回答者数)を推計する。

$$\begin{aligned} & \text{○未回答校の進学ターゲット層人数(=*未回答者数)} \\ & = 3,396 \text{人(未回答校在籍者数)} \times 80.3\% \text{(C)} = \underline{2,727 \text{人}} \quad \text{－③} \end{aligned}$$

④健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向比率

アンケートの回答者数は合計7,823人、また健康衛生学部 臨床検査学科へ「進学を希望する」を選択した生徒は合計44人であった。ここではこの「進学を希望する」人数をアンケートの回答者数で除した数値を進学意向比率(%)として算出する。

$$\begin{aligned} & \text{○健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向比率} \\ & = 44 \text{人(Q9)進学を希望する} \div 7,823 \text{人(アンケート回答者数)} = 0.56\% \quad \text{－④} \end{aligned}$$

進学需要推計

④未回答校の進学者意向者数の推計

前出の③未回答校 進学ターゲット層人数の推計及び④健康衛生学部 臨床検査学科への進学意向比率から、下記に未回答校の健康衛生学部 臨床検査学科への進学者意向者数を推計する。

○未回答校の進学者意向者数

$$=2,727人(③推計未回答者数) \times 0.56\%(④臨床検査学科への進学意向比率) = \underline{15人}$$

上記から、未回答校の健康衛生学部 臨床検査学科への推計進学意向者数は、15名となり、回答者のうち「進学を希望する」を選択した44人との合計で、調査対象全体の推計進学意向者数は59人となる。この数値は入学定員80名に対して約0.74倍に留まっている。

補記

アンケート説明文

北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科(仮称) 平成30年4月開設予定(設置構想中)

薬学部、歯学部、看護福祉学部(看護学科、臨床福祉学科)、心理科学部、リハビリテーション科学部(理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚療法学科)を設置する北海道医療大学が、臨床検査技師を養成する新たな学部の設置を計画しています。

健康衛生学部 臨床検査学科について

臨床検査を実践する上で必要な高度な知識と技術を身につけるとともに、専門職として求められる幅広い教養、高い倫理観および優れたコミュニケーション能力を有し、社会の要請に的確に対応できる高度な臨床検査技師の養成を目的とした学部学科です。

学部学科の構成

学部名	学科名	学位の種類	入学定員(収容定員)
健康衛生学部	臨床検査学科	学士(臨床検査学)	80名(320名)

健康衛生学部 臨床検査学科の特色

- ①医療技術の進歩により、高度化・複雑化する臨床検査業務に対応できる高い知識と技術を持った臨床検査技師を養成します。
- ②自らの専門性と他の関連職種との役割を理解し、協調してチーム医療を実践できる優れた医療人を養成します。
- ③医療や公衆衛生の向上に寄与するにとどまらず、臨床検査を通じて広く社会に貢献できる人材を育成します。

●取得可能な資格 臨床検査技師国家試験受験資格

卒業後の活躍フィールド

病院・診療所、臨床検査センター、健診センター、検査機器メーカー、国・地方自治体の保健衛生機関、製薬会社等

—学納金について—

◆本学 学納金(予定)

【健康衛生学部 臨床検査学科】 初年度:1,375,000円
4年間:5,500,000円

◆同分野の学部 学科の学納金(平成28年度実績)

【国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科】
初年度:1,550,000円
4年間:5,900,000円

【北里大学 医療衛生学部 医療検査学科】
初年度:1,800,000円
4年間:7,050,000円

【群馬パース大学 保健科学部 検査技術学科】
初年度:1,550,000円
4年間:6,500,000円

●設置予定地

北海道石狩郡当別町金沢1757番地

【アクセス】

JR学園都市線 北海道医療大学駅 徒歩1分
(連絡通路有)



*学部・学科の名称、定員等の記載内容は現時点での計画であり、変更することがあります。

アンケート調査票2/2

【質問6】あなたは進学先を決定する際に、どのような要因を重視しますか？

次の中から2つまで選び○を付けてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 学部・学科等の学問分野 | 8 入試の難易度・入試科目 |
| 2 就職実績 | 9 担任や進路指導教諭の意見 |
| 3 資格を取得できる | 10 家族の意見 |
| 4 設置形態(国公立・私立) | 11 アクセス・立地 |
| 5 校舎・施設の充実 | 12 特に理由なく進学自体が目的 |
| 6 学費(入学金・授業料・奨学金) | 13 その他() |
| 7 大学の伝統・知名度 | |

【質問7】あなたはこれまで北海道医療大学の教育・研究内容(分野・特色等)について知っていましたか？

次の中から1つ選び○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 知っていた | 3 あまり知らなかった |
| 2 ある程度知っていた | 4 知らなかった |

【質問8～10】は、別紙「北海道医療大学健康衛生学部 臨床検査学科(仮称)」の概要をご覧ください、ご記入ください。

北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科について

【質問8】北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科に興味・関心がありますか？

次の中から1つ選び○を付けてください。

- | | | |
|-----------------|---------------|---------|
| 1 興味・関心がある | 3 あまり興味・関心がない | 5 わからない |
| 2 ある程度の興味・関心がある | 4 興味・関心がない | |

【質問9】北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科に進学したいと思いますか？

次の中から1つ選び○を付けてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|------------|---------|
| 1 進学を希望する | 2 進学を検討する | 3 進学を希望しない | 4 わからない |
|-----------|-----------|------------|---------|

【質問10】北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科設置計画に対するご意見・ご要望をお聞かせください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

北海道医療大学 新学部設置準備担当

北海道医療大学 御中

新学部 学科設置計画に係る
ニーズ調査報告書(事業所編)

平成28年10月
丸善雄松堂株式会社
大学経営コンサルティング部

目次

● 調査概要	P2
● 調査・分析結果の要旨	P3
● 全体集計結果	P5
● 健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析	P18
● 採用需要推計	P26
● 補記	P30

調査概要

1. 調査目的 北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科(仮称)設置計画検討のため、本アンケート調査により事業所の人材需要等を把握し設置計画の基礎資料とすることを目的とする。
2. 調査対象 北海道療大学 既設学部からの採用実績、新学部 学科の専攻分野から選定した卒業生の就職先として考えられる事業所。
3. 実施時期 平成28年8月18日～平成28年9月8日
4. 回収状況 本調査では494事業所を対象にアンケート調査を依頼、209件のアンケートを回収することが出来た。(回収率42.3%)
5. 調査方法 アンケート調査票による定量調査(アンケート調査)
6. 利用調査票 添付アンケート調査票参照

調査・分析結果の要旨

○調査結果の要旨

①属性

- ・回答事業所の種別は、「病院」202事業所がほとんどを占めている。
- ・回答事業所の所在地は、「道央(石狩・空知・胆振・日高・後志)」123事業所が最も多く、6割近くを占めている。

②臨床検査技師採用実績

- ・回答事業所の過去3年間の臨床検査技師採用実績は、「採用した」が83事業所で、4割近くの事業所は過去3年間に臨床検査技師を採用している。

③臨床検査技師採用人数

- ・平成26年度46事業90人、平成27年度53事業所120人、平成28年度42事業所105人で、採用数の増減はあるものの回答事業所全体として毎年90人～120人の臨床検査技師を採用している。

④臨床検査技師の充足状況

- ・程度の差はあるものの2割近くの事業所で人材が不足している。

⑤人材採用の際の重視点

- ・「基礎学力」、「語学力」よりもコミュニケーションや、協調性等に関する項目が重視されている。

⑥北海道医療大学の認知度

- ・程度の差はあるものの4割近くの事業所が認知されていると思うと回答している。

⑦健康衛生学部 臨床検査学科設置の必要性

- ・設置について103事業所(49.2%)と半数近くの事業所が何らかの必要性を感じている。
 - * 上記「何らかの必要性」を感じている事業所:
「必要性を感じる」40事業所(19.1%)、「ある程度の必要性を感じる」63事業所(30.1%)の合計。

⑦健康衛生学部 臨床検査学科卒業生の採用意向

- ・回答事業所は48事業所(22.9%)と、2割以上の事業所が何らかの採用意向を持っている。
 - * 上記「何らかの採用意向」を持つ事業所:「採用したい」12事業所(5.7%)、「採用を検討したい」36事業所(17.2%)の合計。この「採用したい」、「採用を検討したい」と回答した事業所を関心層と定義。(P19参照)

調査・分析結果の要旨

○分析結果の要旨

回答事業所の健康衛生学部 臨床検査学科卒業生の採用意向人数は、「採用したい」または「採用を検討したい」と回答した事業所で合計45人(15人+30人)となっており、計画される入学定員(80人)の0.56倍に留まっている。(P15) また、採用選考において実際に採用に至るか否かについては、就職希望者個人の人格や能力が大きく影響することから、ここでは「採用したい」に加えて、「採用を検討したい」までを採用需要として定義し、採用意向で人数が未回答・不明であった13事業所の採用希望人数を保守的に1事業所当たり1人と仮定した場合、推計採用意向人数(採用の可能性のある人数)は58人で、健康衛生学部 臨床検査学科の入学定員(80人)に対して0.73倍に留まっている。(P27)

さらに健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生を「採用したい」、「採用を検討したい」と回答した関心層48事業所の採用実績合計においても、平成26年度46人(52.2%)、平成27年度45人(37.5%)、平成28年度41人(39.0%)と減少傾向で、いずれも40人程度の採用人数で推移し、計画される入学定員を下回っている。(P28)

但し、回答事業所全体の過去3年間の臨床検査技師採用実績人数を、今回調査のアンケート回収率(=調査回答率)42.3%で除することによって算出した調査対象全体の過去3年間の臨床検査技師の推計採用人数は、平成26年度で213人、平成27年度で284人、平成28年度で248人といずれも213人以上で推移している。

これに対して、北海道内の四年制大学の臨床検査技師養成校は、北海道大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻(入学定員35人)のみであり、専門学校である北海道医学技術専門学校 臨床検査技師科(入学定員40人)、札幌医学技術福祉歯科専門学校 臨床検査技師科(入学定員80人)をあわせても入学定員合計は155人である。さらに、隣接する東北地区の臨床検査技師養成校も弘前大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻(入学定員35人)、東北大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻(入学定員37人)、福島県立総合衛生学院 臨床検査学科(入学定員37人)のみであることから、県外からの流入を考慮しても調査対象全体では、臨床検査技師に対する一定の潜在的人材需要があることが窺われる。

従って、上記の潜在的臨床検査技師の需要を採用意向として顕在化させる施策として、既存学部の実習先を含めた就職先となる病院、事業所とその対象地域の見直しや、リレーションの再構築を行い、計画的に北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用需要を高めることが重要な成功要因になると考えられる。そのためには、複数の医療関連専門職人材を養成する自学の強みを活かした質の高い教育によって、「コミュニケーション能力」、「チームで働く力」等の社会から求められる能力を身に付けた優秀な人材を排出し、この分野での北海道医療大学のブランドを構築するといった戦略の検討や、それらを踏まえた入学定員の再考も課題となる。

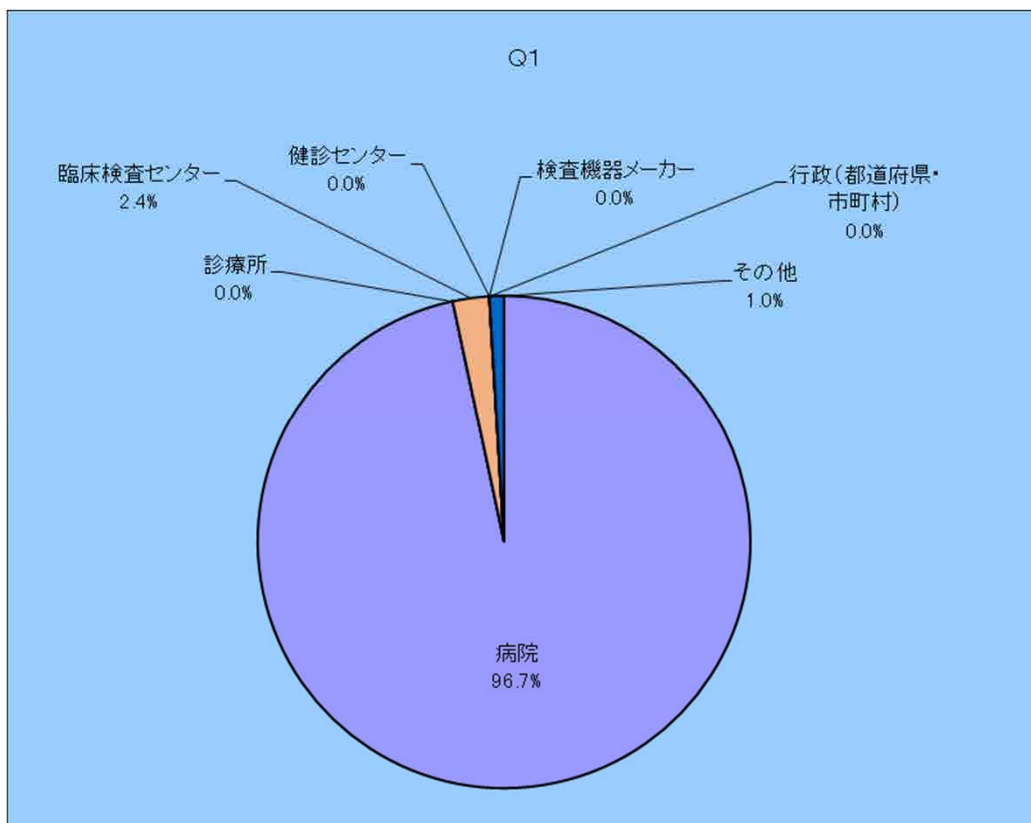
全体集計結果

Q1)事業所の種別

回答事業所の種別は、「病院」202事業所(96.7%)がほとんどで、「臨床検査センター」が5事業所(2.4%)、「その他」が2事業所(1.0%)となっている。

Q1) 貴事業所の主となる種別は次のどちらですか？

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	209	100.0%
病院	202	96.7%
診療所	0	0.0%
臨床検査センター	5	2.4%
健診センター	0	0.0%
検査機器メーカー	0	0.0%
行政(都道府県・市町村)	0	0.0%
その他	2	1.0%



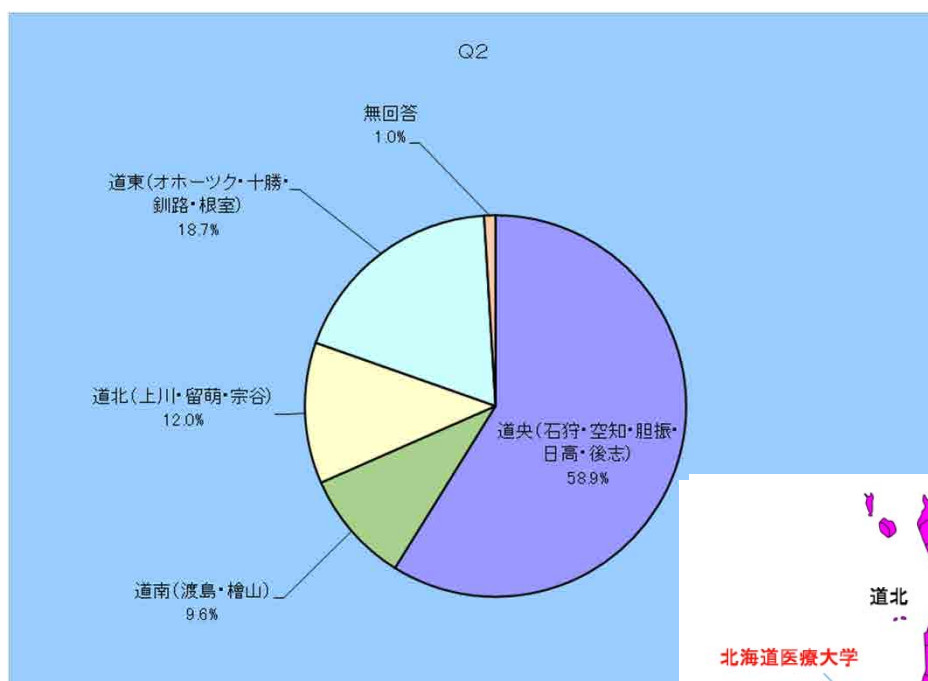
※パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q2)事業所の所在地

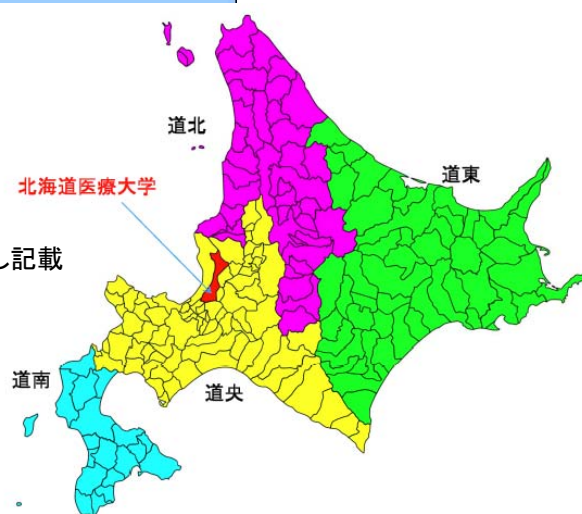
回答事業所の所在地は、「道央(石狩・空知・胆振・日高・後志)」123事業所(58.9%)が最も多く6割近くを占めており、「道東(オホーツク・十勝・釧路・根室)」39事業所(18.7%)、「道北(上川・留萌・宗谷)」25事業所(12.0%)と続いている。

Q2)貴事業所の所在地は、次のどちらですか？

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	209	100.0%
道央(石狩・空知・胆振・日高・後志)	123	58.9%
道南(渡島・檜山)	20	9.6%
道北(上川・留萌・宗谷)	25	12.0%
道東(オホーツク・十勝・釧路・根室)	39	18.7%
無回答	2	1.0%



※パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

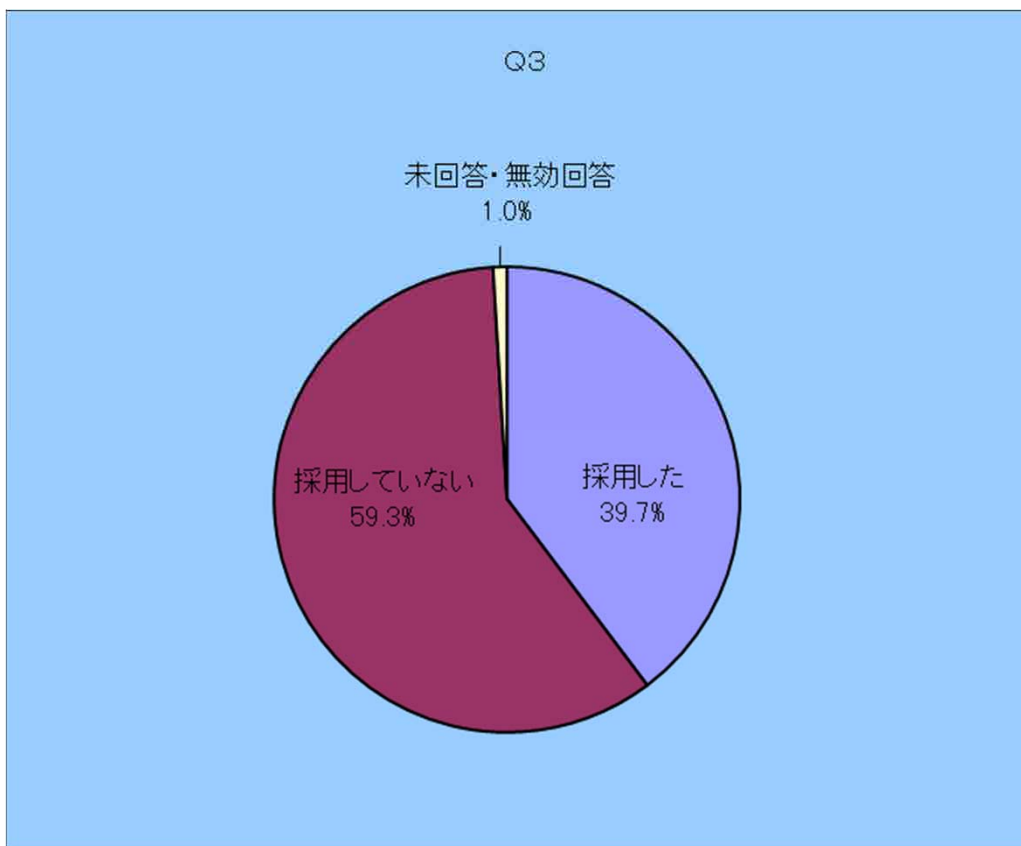


Q3)-1 過去3年間の臨床検査技師採用実績

回答事業所の過去3年間の臨床検査技師採用実績は、「採用した」が83事業所(39.7%)、「採用していない」が124事業所となっており4割近くの事業所は過去3年間に臨床検査技師を採用しているものの、6割近くの事業所では、過去3年間 臨床検査技師が採用されていないことがわかる。

Q3)-1 臨床検査技師について、貴事業所での過去3年間の採用状況(採用の有無)をお聞かせください。

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	209	100.0%
採用した	83	39.7%
採用していない	124	59.3%
未回答・無効回答	2	1.0%



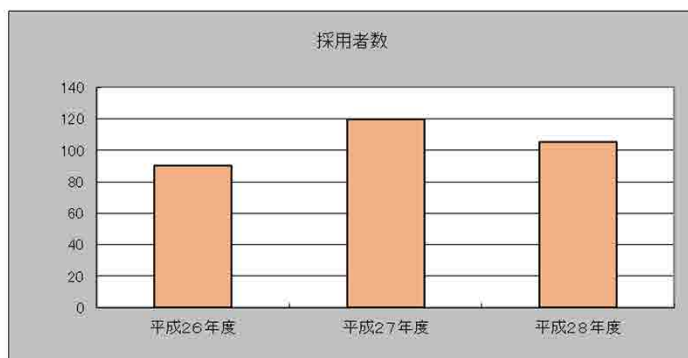
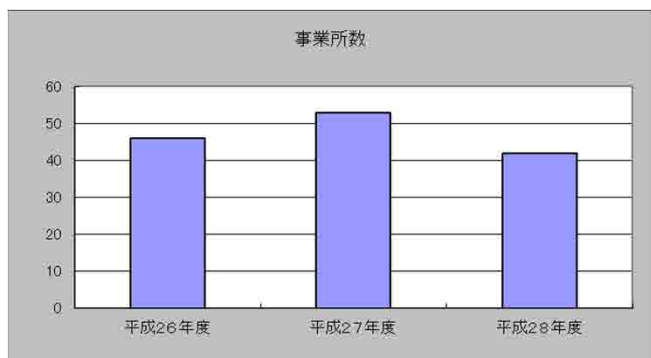
※パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q3)-2 過去3年間の臨床検査技師採用人数

回答事業所の過去3年間の臨床検査技師採用人数合計は、平成26年度46事業所90人、平成27年度53事業所120人、平成28年度42事業所105人で、平成26年度から平成28年度では、採用人数は増減はあるものの、いずれの年度も合計90人以上であり、アンケート回答事業所全体として、毎年90人から120人の臨床検査技師を採用していることがわかる。

Q3)-2 臨床検査技師の過去3年間の採用人数について人数をご記入ください。
* 採用人数について、詳細がご不明な場合は概数をご記入ください。

年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
項目	事業所数(事業所)	採用人数(人)	事業所数(事業所)	採用人数(人)	事業所数(事業所)	採用人数(人)
合計	46	90	53	120	42	105

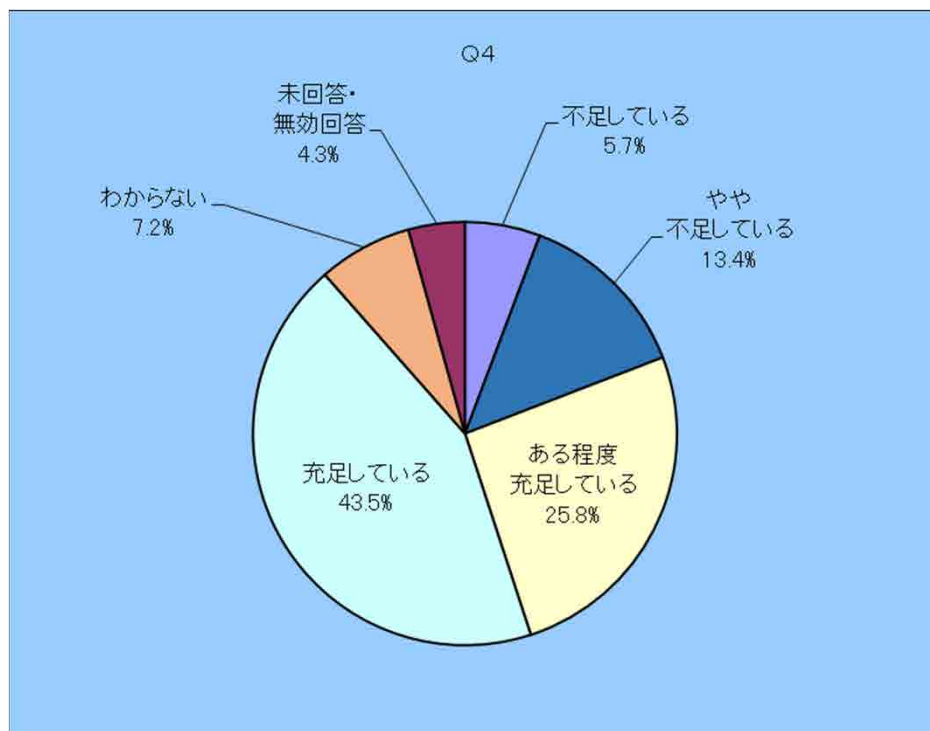


Q4)臨床検査技師の充足状況

回答事業所の臨床検査技師充足状況は、「不足している」が12事業所(5.7%)、「やや不足している」が28事業所(13.4%)で、これらの合計が40事業所(19.1%)となり、程度の差はあるものの2割近くの事業所が人材が不足していると回答している。一方、「ある程度充足している」は54事業所(25.8%)、「充足している」は91事業所(43.5%)で、これらの合計は145事業所(69.3%)となっている。

Q4)臨床検査技師の充足状況についてどのようにお考えですか？

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	209	100.0%
不足している	12	5.7%
やや不足している	28	13.4%
ある程度充足している	54	25.8%
充足している	91	43.5%
わからない	15	7.2%
未回答・無効回答	9	4.3%



※パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q5)人材採用の際の重視点

回答事業所の人材採用の際の重視点は、「コミュニケーション能力」150件(37.9%)が最も多く、「チームで働く力」75件(18.9%)、「専攻分野の基礎知識」62件(15.7%)と続いており、「基礎学力」7件(1.8%)や「語学力」1件(0.3%)等よりもコミュニケーションや協調性等に関する項目が重視されている。また、「国際感覚(広い視野・価値観)」を選択した事業所はなかった。

* 2つまで選択可

Q5)貴事業所では人材採用の際、どのような点を重視されていますか？

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	396	100.0%
コミュニケーション能力	150	37.9%
社会常識	58	14.6%
国際感覚(広い視野・価値観)	0	0.0%
チームで働く力	75	18.9%
問題解決能力	29	7.3%
基礎学力	7	1.8%
専攻分野の基礎知識	62	15.7%
語学力	1	0.3%
その他	6	1.5%
未回答・無効回答	8	2.0%



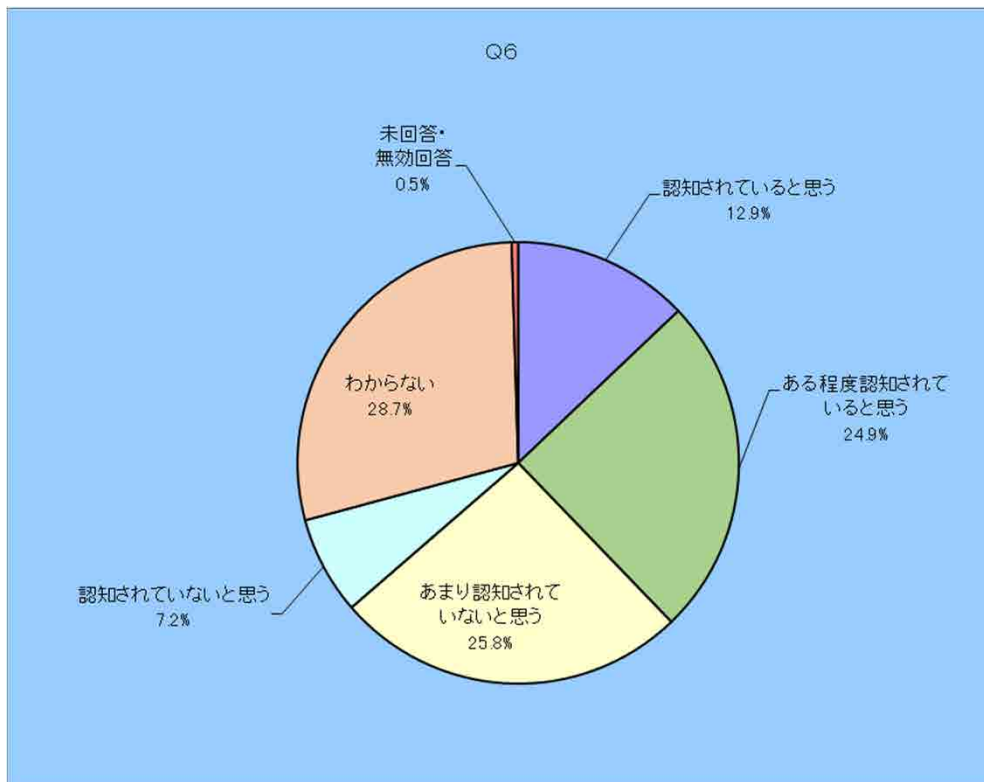
*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q6)北海道医療大学の認知度

回答事業所での北海道医療大学の認知度は、「認知されていると思う」が27事業所(12.9%)、「ある程度認知されていると思う」が52事業所(24.9%)で、これらの合計が79事業所(37.8%)となり、程度の差はあるものの4割近くの事業所が認知されていると思うと回答している。一方、「あまり認知されていないと思う」は54事業所(25.8%)、「認知されていないと思う」は15事業所(7.2%)で、これらの合計は69事業所(33.0%)となっている。

Q6)貴事業所内では、職員の皆様に北海道医療大学の教育・研究内容(分野・特色等)が認知されていると思われますか？

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	209	100.0%
認知されていると思う	27	12.9%
ある程度認知されていると思う	52	24.9%
あまり認知されていないと思う	54	25.8%
認知されていないと思う	15	7.2%
わからない	60	28.7%
未回答・無効回答	1	0.5%



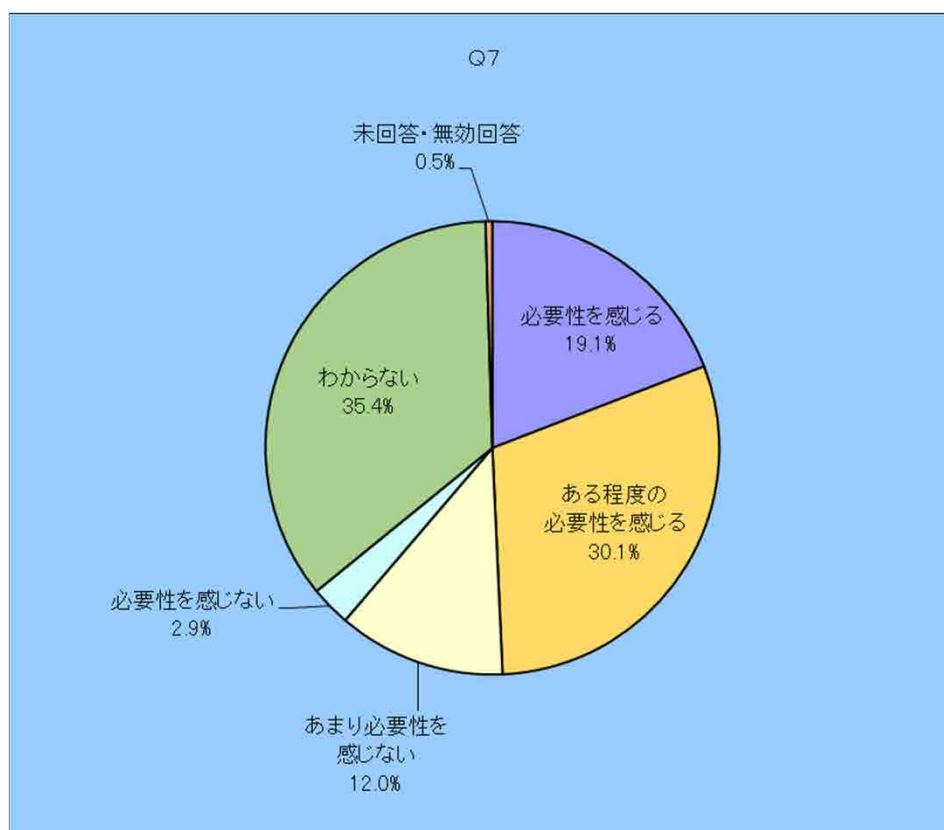
※パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q7) 健康衛生学部 臨床検査学科 設置の必要性

健康衛生学部 臨床検査学科設置の必要性について、「必要性を感じる」が40事業所(19.1%)、「ある程度の必要性を感じる」が63事業所(30.1%)で、これらの合計が103事業所(49.2%)と、設置について半数近くの事業所が何らかの必要性を感じている。一方、「あまり必要性を感じない」は25事業所(12.0%)、「必要性を感じない」は6事業所(2.9%)で、これらの合計は31事業所(14.9%)に留まっているものの、74事業所(35.4%)は「わからない」と回答している。

Q1) 北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科の設置の必要性についてどのようにお考えですか？

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	209	100.0%
必要性を感じる	40	19.1%
ある程度の必要性を感じる	63	30.1%
あまり必要性を感じない	25	12.0%
必要性を感じない	6	2.9%
わからない	74	35.4%
未回答・無効回答	1	0.5%



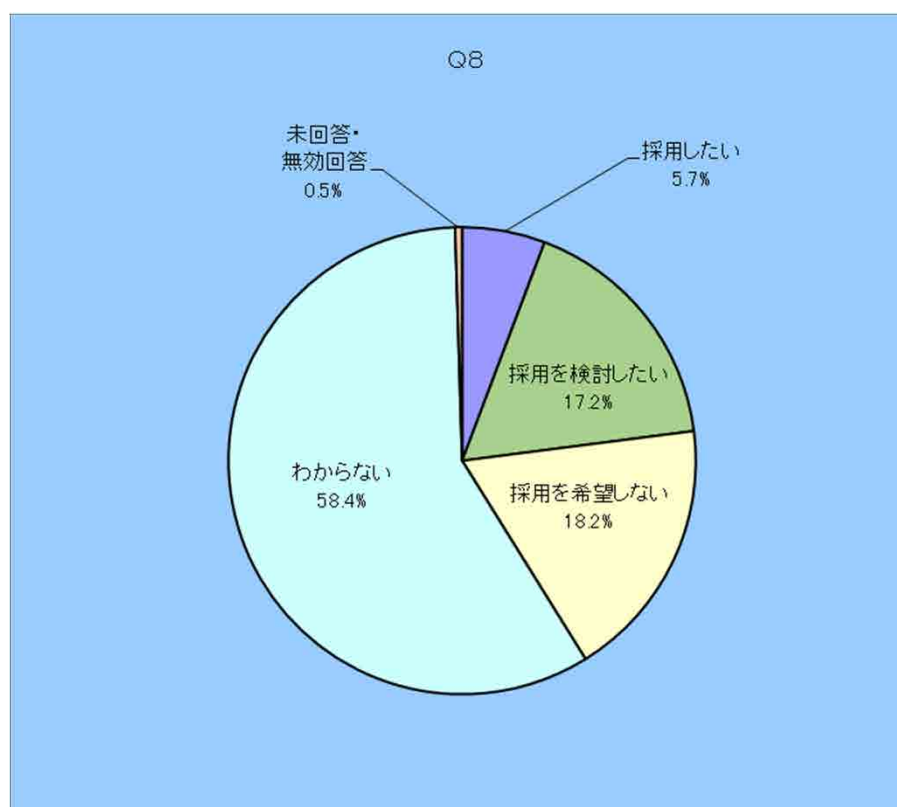
※パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q8)-1 健康衛生学部 臨床検査学科 卒業生の採用意向

回答事業所の健康衛生学部 臨床検査学科卒業生の採用意向については、「採用したい」が12事業所(5.7%)、「採用を検討したい」が36事業所(17.2%)で、これらの合計が48事業所(22.9%)となり、2割以上の事業所が卒業生に対する何らかの採用意向を持っていることがわかる。一方、「採用を希望しない」は38事業所(18.2%)に留まっているものの、122事業所(58.4%)が「わからない」と回答している。

Q8)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用についてどのようにお考えですか？

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	209	100.0%
採用したい	12	5.7%
採用を検討したい	36	17.2%
採用を希望しない	38	18.2%
わからない	122	58.4%
未回答・無効回答	1	0.5%



※パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q8)-2 健康衛生学部 臨床検査学科 卒業生の採用意向人数

回答事業所の健康衛生学部 臨床検査学科卒業生の採用意向人数は、「採用したい」または「採用を検討したい」と回答した事業所で合計45人(15人+30人)となっている。この数値は計画される入学定員(80人)の0.56倍に留まっている。

Q8)-2 健康衛生学部 臨床検査学科卒業生の採用意向人数

Q8)採用意向	採用希望人数内訳(人)	
	採用したい 12事業所	9事業所→計15人
採用を検討したい 36事業所	26事業所→計30人	10事業所→未回答・不明

Q9) 健康衛生学部 臨床検査学科への 意見・要望1/2

Q9) 北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科設置計画に対するご意見・ご要望をお聞かせください。

Q9
人材不足しているので是非進めていただきたい。少子高齢化の時代に新しい学科を設置するお考えは、これから公衆衛生の向上、問題解決能力、コミュニケーション能力の高い教育をされるかと思えます。
3年コースの専門性の基礎教育のみでは、チーム医療の中では視野を広げる必要性があります。
医療大出身者だから採用とはならない。募集した時に応募があればどこ出身者でも採用とする。薬剤師に於いては道内就職率は低いように思う。
学生数が減少している中で、新たな学科を新設するよりも、既存の学科教育に力を入れた方がいいのではないかと思います。卒業生なので、現在の学生の質の低下を危惧しています。
全く必要性を感じない。むしろ不用と思います。
検査技師人口が増えることは、競争的な意味でも、プラスに働いていくと思い、良いことと考えています。
現在、臨床検査技師が不足しているため、新しい学部の設置は、ありがたいと思うが、今、私立大学の薬学部に起きている学力の低下と同じような状態にはならないように、レベルの維持をお願いしたい。
現在、臨床検査技師は足りていますが、将来、不足となった場合は採用を検討したい。
現在特に女性技師さんの生理機能(エコー中心)検査スタッフが不足しています。
現在臨床検査技師数が充足しているか不足しているか認識しておらず新学科の設置計画が妥当であるかどうか解らない。
若者に多くの選択肢を提供することは素晴らしい。今後も可能な限り、選択肢を増やしていただくことを期待します。
新設で80名定員というのは多いのではと思いました。札幌医学技術福祉専門学校は40名→80名と長い歴史の中で増員することができています。北海道医学技術専門学校の閉校もあったと思いますが、一定のレベルを維持するとすれば1クラス40名から開始の方が良いのではと考えました。立地条件、学費で考えると80名の定員はハードルが高い印象です。
新卒者採用枠なし。
生理検査の基礎知識・技術につき、学内で十分に研鑽を積んでいただけるよう希望します。
全国に勤務する可能性があるため、地元志向及び道内の勤務を強く希望する学生ばかりであると、厳しいと思われます。多くの人材輩出をお願い致します。
団塊の世代の退職が続きニーズはあると思います。特に地方の医療機関では医療技術職の慢性的な不足が続いています。一方でコミュニケーションや基礎学力の不足でなかなか一人前にならない職員も増えています。学校でも職場でも時間をかけて育てることが重要だと思いますのでよろしくお願い致します。
地域医療のさらなる充実の為、貴大学の新学部、新学科の設置を期待しています。
当院では、臨床検査技師を採用しておらず検査は全て外注で対応しています。
当院では求人を行ってもなかなか応募してもらえない現状もあります。是非これを機に、将来有望な技師を確保できたらと思います。
当院は道北の中小病院で、コ・メディカル(薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、管理栄養師、理学療法士)を配置しておりますが、地域的に医療職の人材資源が少ない状況があり、現在の職員が退職した後の新規採用が厳しいため、貴校において、そうした人材育成の学科が新設されることは非常に助かります。その際は是非求人させて頂きたいと考えます。
当施設のみならず、各医療機関については大人数での採用枠はなく、就職支援や入学定員等、検討していくべきと思われる。
道内における臨床検査人材は不足していると感じます。弊社の事情をお話させて頂くと、今後毎年7~8名もの技師が定年を迎える等、高齢化が進んでいます。ここ数年は、多くの取引先病院においても、意欲的な若手技師の採用が難しいと聞いており、地域医療に貢献する活躍の場は、大きく広がっていると感じます。
道内にとどまって働いてくれる方が育つよう、情報を発信していただければ幸いです。少子化に向けて、採用する側の企業にどのような準備が必要か、またスキルupにむけてどのようなニーズがあるか、など分かると助かります。
函館は若い世代が不足し、札幌への就職が多い。Uターン就職など、地元への就職者を増やすような取り組みをご検討頂きたい。

Q9) 健康衛生学部 臨床検査学科への 意見・要望2/2

Q9
幅広い枠(社会人枠など)で入学を認めてほしい。
北海道における臨床検査学科を設置している教育機関が少なく、地域の医療機関としては臨床検査の学生が増える事で人員を確保しやすくなるため歓迎致します。
北海道外の需要が多いと思います。
優れた臨床検査技師を育てることはもちろんですが、何よりも優れた人間を育てて下さい。よろしくお願い致します。
優秀な人材の育成環境は、医療機関にとって、良い事と考えます。
養成に反対はしないが、卒業生の就職が心配。
良い人材を輩出いただけることを期待しております。
臨床検査技師の需要が増えるのであれば問題ないと思います。現在の状況は知りませんが、女性が多い印象なので、優秀な人材を輩出すれば女性が増々活躍できる社会に貢献できるものと思われれます。

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

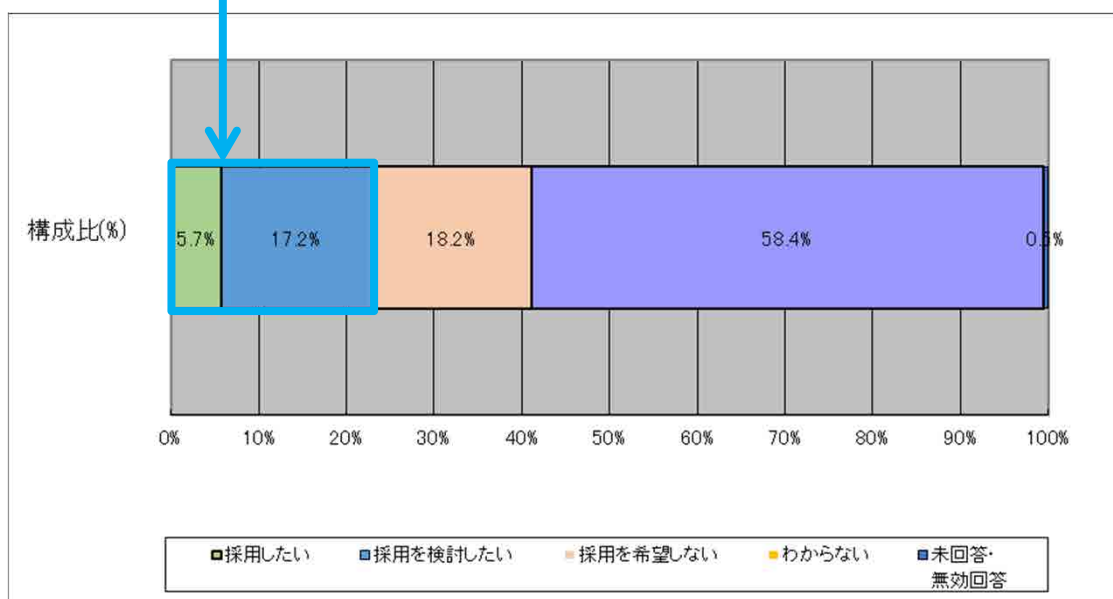
健康衛生学部 臨床検査学科の関心層

健康衛生学部 臨床検査学科への関心を分析するため、以下のように「関心層」を定義する。
Q8)において、「採用したい」12事業所(5.7%)、「採用を検討したい」36事業所(17.2%)と回答した計48事業所(22.9%)を「関心層」と定義し、次項より「関心層」の傾向を分析する。

Q8)北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用についてどのようにお考えですか？

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	209	100.0%
採用したい	12	5.7%
採用を検討したい	36	17.2%
採用を希望しない	38	18.2%
わからない	122	58.4%
未回答・無効回答	1	0.5%

関心層



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*次頁以降の集計は、未回答・無効回答を除いて集計

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q1)事業所の種別

関心層の事業所の種別は「病院」45事業所(93.8%)が最も多く、「臨床検査センター」3事業所(6.3%)がこれに続いている。また、dif(関心層での比率－全体平均での比率)では、関心層と事業所の種別として「臨床検査センター」と回答した層にやや相関性が見られる。

Q8)健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用意向とQ1)事業所の種別との相関性

単位:(事業所)(%)

Q1)種別	全体平均		採用したい		採用を検討したい		関心層		dif	採用を希望しない		わからない	
調査数	208	100.0%	12	100.0%	36	100.0%	48	100.0%		38	100.0%	122	100.0%
病院	201	96.6%	9	75.0%	36	100.0%	45	93.8%	-2.9%	37	97.4%	119	97.5%
診療所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨床検査センター	5	2.4%	3	25.0%	0	0.0%	3	6.3%	3.8%	0	0.0%	2	1.6%
健診センター	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
検査機器メーカー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
行政(都道府県・市町村)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-1.0%	1	2.6%	1	0.8%

上記は、表頭(表の上側)に「Q8)健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用意向」を尋ねた質問の回答を記載。それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q2)事業所の所在地

関心層の事業所の所在地は、「道央(石狩・空知・胆振・日高・後志)」24事業所(51.1%)が最も多く5割以上となっており、「道東(オホーツク・十勝・釧路・根室)」12事業所(25.5%)、「道北(上川・留萌・宗谷)」8事業所(17.0%)と続いている。また、dif(関心層での比率－全体平均での比率)では、関心層と事業所の所在地で「道東(オホーツク・十勝・釧路・根室)」、「道北(上川・留萌・宗谷)」と回答した層に一定の相関性がみられる。

Q8)健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用意向とQ2)事業所の所在地との相関性

単位:(事業所)(%)

Q2)所在地	全体平均		採用したい		採用を検討したい		関心層		dif	採用を希望しない		わからない	
調査数	206	100.0%	12	100.0%	35	100.0%	47	100.0%		38	100.0%	121	100.0%
道央(石狩・空知・胆振・日高・後志)	122	59.2%	6	50.0%	18	51.4%	24	51.1%	-8.2%	28	73.7%	70	57.9%
道南(渡島・檜山)	20	9.7%	1	8.3%	2	5.7%	3	6.4%	-3.3%	1	2.6%	16	13.2%
道北(上川・留萌・宗谷)	25	12.1%	2	16.7%	6	17.1%	8	17.0%	4.9%	4	10.5%	13	10.7%
道東(オホーツク・十勝・釧路・根室)	39	18.9%	3	25.0%	9	25.7%	12	25.5%	6.6%	5	13.2%	22	18.2%

上記は、表頭(表の上側)に「Q8)健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用意向」を尋ねた質問の回答を記載。それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q4)臨床検査技師の充足状況

関心層の臨床検査技師の充足状況は、「やや不足している」15事業所(31.3%)が最も多く、「ある程度充足している」13事業所(27.1%)、「充足している」11事業所(22.9%)と続いている。また、dif(関心層での比率－全体平均での比率)では、関心層と臨床検査技師の充足状況で「やや不足している」、「不足している」と回答した層に高い相関性がみられる。

Q8)健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用意向とQ4)臨床検査技師の充足状況との相関性

単位:(件)(%)

Q4)充足状況	全体平均		採用したい		採用を検討したい		関心層		dif	採用を希望しない		わからない	
調査数	199	100.0%	12	100.0%	36	100.0%	48	100.0%		31	100.0%	120	100.0%
不足している	12	6.0%	4	33.3%	5	13.9%	9	18.8%	12.7%	1	3.2%	2	1.7%
やや不足している	28	14.1%	6	50.0%	9	25.0%	15	31.3%	17.2%	0	0.0%	13	10.8%
ある程度充足している	53	26.6%	0	0.0%	13	36.1%	13	27.1%	0.5%	6	19.4%	34	28.3%
充足している	91	45.7%	2	16.7%	9	25.0%	11	22.9%	-22.8%	15	48.4%	65	54.2%
わからない	15	7.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-7.5%	9	29.0%	6	5.0%

上記は、表頭(表の上側)に「Q8)健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用意向」を尋ねた質問の回答を記載。それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q5)人材採用の際の重視点

関心層の人材採用の際の重視点は、「コミュニケーション能力」38件(41.3%)が最も多く、「チームで働く力」17件(18.5%)、「専攻分野の基礎知識」11件(12.0%)と続いている。また、dif(関心層での比率－全体平均での比率)では、関心層と人材採用の際の重視点で「コミュニケーション能力」及び「問題解決能力」と回答した層にやや相関性がみられる。

* 2つまで選択可

Q8)健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用意向とQ5)人材採用の際の重視点との相関性

単位：(件)(%)

Q5)重視	全体平均		採用したい		採用を検討したい		関心層		dif	採用を希望しない		わからない	
調査数	386	100.0%	22	100.0%	70	100.0%	92	100.0%		68	100.0%	226	100.0%
コミュニケーション能力	149	38.6%	8	36.4%	30	42.9%	38	41.3%	2.7%	26	38.2%	85	37.6%
社会常識	58	15.0%	6	27.3%	9	12.9%	15	16.3%	1.3%	9	13.2%	34	15.0%
国際感覚(広い視野・価値観)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
チームで働く力	75	19.4%	5	22.7%	12	17.1%	17	18.5%	-1.0%	16	23.5%	42	18.6%
問題解決能力	29	7.5%	2	9.1%	7	10.0%	9	9.8%	2.3%	5	7.4%	15	6.6%
基礎学力	7	1.8%	0	0.0%	2	2.9%	2	2.2%	0.4%	2	2.9%	3	1.3%
専攻分野の基礎知識	61	15.8%	1	4.5%	10	14.3%	11	12.0%	-3.8%	7	10.3%	43	19.0%
語学力	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-0.3%	1	1.5%	0	0.0%
その他	6	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-1.6%	2	2.9%	4	1.8%

上記は、表頭(表の上側)に「Q8)健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用意向」を尋ねた質問の回答を記載。それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q6)北海道医療大学の認知度

関心層の北海道医療大学の認知度は、「ある程度認知されていると思う」及び「わからない」各15事業所(31.3%)が最も多く、「認知されていると思う」10件(20.8%)、「あまり認知されていないと思う」6件(12.5%)と続いている。また、dif(関心層での比率－全体平均での比率)では、関心層と北海道医療大学の認知度で「認知されていると思う」および「ある程度認知されていると思う」と回答した層に相関性がみられる。

Q8)健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用意向とQ6)北海道医療大学の認知度との相関性

単位:(件)(%)

Q6)認知	全体平均		採用したい		採用を検討したい		関心層		dif	採用を希望しない		わからない	
調査数	208	100.0%	12	100.0%	36	100.0%	48	100.0%		38	100.0%	122	100.0%
認知されていると思う	27	13.0%	5	41.7%	5	13.9%	10	20.8%	7.9%	6	15.8%	11	9.0%
ある程度認知されていると思う	52	25.0%	3	25.0%	12	33.3%	15	31.3%	6.3%	8	21.1%	29	23.8%
あまり認知されていないと思う	54	26.0%	1	8.3%	5	13.9%	6	12.5%	-13.5%	9	23.7%	39	32.0%
認知されていないと思う	15	7.2%	1	8.3%	1	2.8%	2	4.2%	-3.0%	4	10.5%	9	7.4%
わからない	60	28.8%	2	16.7%	13	36.1%	15	31.3%	2.4%	11	28.9%	34	27.9%

上記は、表頭(表の上側)に「Q8)健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用意向」を尋ねた質問の回答を記載。それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

健康衛生学部 臨床検査学科への関心分析

Q7) 設置の必要性

設置の必要性について、関心層では「必要性を感じる」27事業所(56.3%)が最も多く、「ある程度の必要性を感じる」18事業所(37.5%)、「わからない」3事業所(6.3%)と続いている。また、dif(関心層での比率－全体平均での比率)では、関心層と設置の必要性について「必要性を感じる」と回答した層に非常に高い相関性がみられ、「ある程度の必要性を感じる」と回答した層にも一定の相関性がみられる。

Q8) 健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用意向とQ7) 設置の必要性との相関性

単位:(事業所)(%)

Q7)必要性	全体平均		採用したい		採用を検討したい		関心層		dif	採用を希望しない		わからない	
調査数	207	100.0%	12	100.0%	36	100.0%	48	100.0%		37	100.0%	122	100.0%
必要性を感じる	39	18.8%	10	83.3%	17	47.2%	27	56.3%	37.4%	3	8.1%	9	7.4%
ある程度の必要性を感じる	63	30.4%	2	16.7%	16	44.4%	18	37.5%	7.1%	8	21.6%	37	30.3%
あまり必要性を感じない	25	12.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-12.1%	11	29.7%	14	11.5%
必要性を感じない	6	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-2.9%	4	10.8%	2	1.6%
わからない	74	35.7%	0	0.0%	3	8.3%	3	6.3%	-29.5%	11	29.7%	60	49.2%

上記は、表頭(表の上側)に「Q8)健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用意向」を尋ねた質問の回答を記載。それぞれの回答者の中での、回答数と構成比(%)を記載した。

構成比(%)は表頭の「調査数」が100%となるように計算。

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

*未回答・無効回答を除いて集計

採用需要推計

採用需要推計

健康衛生学部 臨床検査学科採用需要推計

Q8)-2健康衛生学部 臨床検査学科卒業生を採用する可能性のある人数は下記のとおり。

Q8)採用意向	採用希望人数内訳(人)	
採用したい 12事業所	9事業所→計15人	3事業所→未回答・不明
採用を検討したい 36事業所	26事業所→計30人	10事業所→未回答・不明

実際に採用に至るか否かについては、就職希望者個人の人格や能力が大きく影響することから、ここでは「採用したい」に加えて、「採用を検討したい」までを採用需要として定義する。上記の採用意向で人数が未回答・不明であった事業所の採用希望人数を保守的に1事業所当たり1人と仮定した場合、推計採用意向人数(採用の可能性のある人数)は下記のとおりとなる。

Q8)採用意向	採用希望人数内訳(人)
採用したい 12事業所	9事業所15人+3事業所3人=18人
採用を検討したい 36事業所	26事業所30人+10事業所10人=40人
合計	58人

以上から、調査結果に基づく健康衛生学部 臨床検査学科の推計採用意向人数は58人となる。この数値は健康衛生学部 臨床検査学科の入学定員(80人)に対して0.73倍に留まっている。

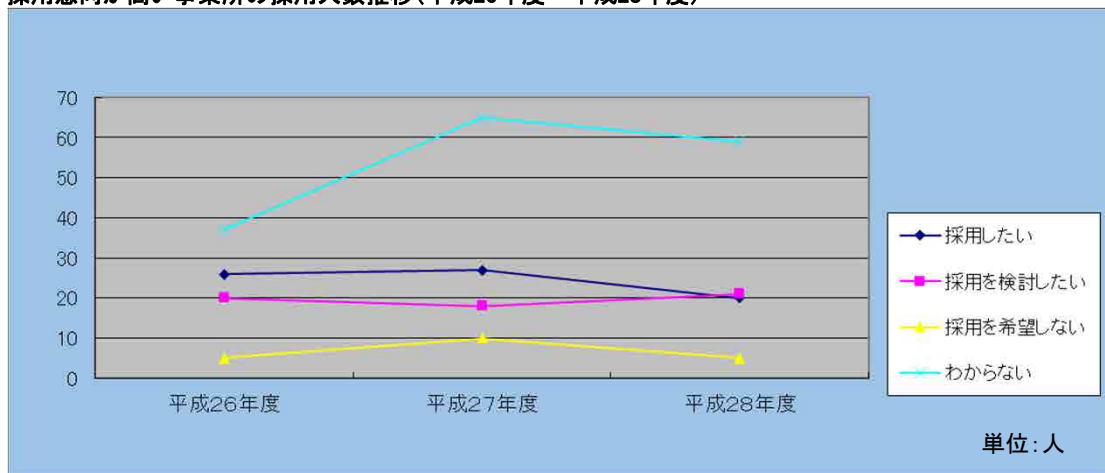
潜在的採用需要推計

以下は回答事業所の「Q8)健康衛生学部 臨床検査学科卒業生の採用意向」と各事業所の平成26年度～平成28年度の臨床検査技師採用実績推移を表にしたものである。「採用したい」、「採用を検討したい」と回答した関心層48事業所の採用実績合計は、平成26年度46人(52.2%)、平成27年度45人(37.5%)、平成28年度41人(39.0%)と減少傾向にあり、いずれも40人程度の採用人数で推移している。

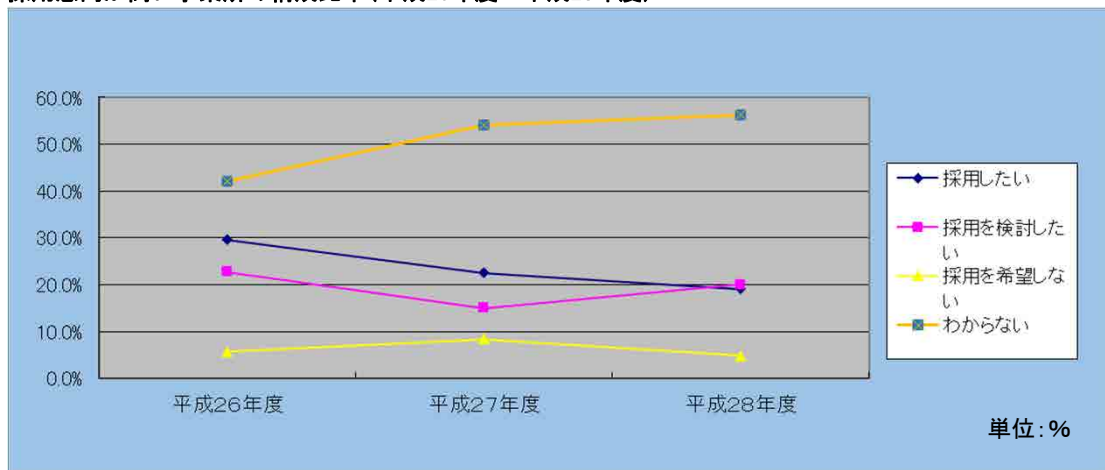
健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用意向が高い事業所の採用実績推移(平成26年度～平成28年度)

	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	採用人数(人)	構成比(%)	採用人数(人)	構成比(%)	採用人数(人)	構成比(%)
調査数	88	0.0%	120	100.0%	105	100.0%
採用したい	26	29.5%	27	22.5%	20	19.0%
採用を検討したい	20	22.7%	18	15.0%	21	20.0%
採用を希望しない	5	5.7%	10	8.3%	5	4.8%
わからない	37	42.0%	65	54.2%	59	56.2%

採用意向が高い事業所の採用人数推移(平成26年度～平成28年度)



採用意向が高い事業所の構成比率(平成26年度～平成28年度)



潜在的な社会人材需要推計

下記は前出「Q3）-2過去3年間の臨床検査技師採用人数」今回調査のアンケート回収率（＝調査回答率）42.3%で除することによって算出した調査対象全体の過去3年間の臨床検査技師の推計採用人数である。今回の調査対象事業所全体の臨床検査技師の推計採用人数は平成26年度で213人、平成27年度で284人、平成28年度で248人といずれも213人以上で推移している。

これに対して、北海道内の四年制大学の臨床検査技師養成校は、北海道大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻(入学定員35人)のみであり、専門学校である北海道医学技術専門学校 臨床検査技師科(入学定員40人)、札幌医学技術福祉歯科専門学校 臨床検査技師科(入学定員80人)をあわせも入学定員合計は155人であることから、臨床検査技師について、調査対象全体では一定の潜在的人材需要があることが窺われる。

調査対象全体の過去3年間の臨床検査技師 推計採用人数

	回答事業所 臨床検査技師採用人数(人)	調査回答率(%)	調査対象事業所全体 臨床検査技師の推計採用人数(人)
平成26年度	90	42.3%	213
平成27年度	120	42.3%	284
平成28年度	105	42.3%	248

補記

アンケート説明文

北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科(仮称) 平成30年4月開設予定(設置構想中)

薬学部、歯学部、看護福祉学部(看護学科、臨床福祉学科)、心理科学部、リハビリテーション科学部(理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚療法学科)を設置する北海道医療大学が、臨床検査技師を養成する新たな学部の設置を計画しています。

健康衛生学部 臨床検査学科について

臨床検査を実践する上で必要な高度な知識と技術を身につけるとともに、専門職として求められる幅広い教養、高い倫理観および優れたコミュニケーション能力を有し、社会の要請に的確に対応できる高度な臨床検査技師の養成を目的とした学部学科です。

学部学科の構成

学部名	学科名	学位の種類	入学定員(収容定員)
健康衛生学部	臨床検査学科	学士(臨床検査学)	80名(320名)

健康衛生学部 臨床検査学科の特色

- ①医療技術の進歩により、高度化・複雑化する臨床検査業務に対応できる高い知識と技術を持った臨床検査技師を養成します。
- ②自らの専門性と他の関連職種との役割を理解し、協調してチーム医療を実践できる優れた医療人を養成します。
- ③医療や公衆衛生の向上に寄与するにとどまらず、臨床検査を通じて広く社会に貢献できる人材を育成します。

●取得可能な資格 臨床検査技師国家試験受験資格

卒業後の活躍フィールド

病院・診療所、臨床検査センター、健診センター、検査機器メーカー、国・地方自治体の保健衛生機関、製薬会社等

—学納金について—

◆本学 学納金(予定)

【健康衛生学部 臨床検査学科】 初年度:1,375,000円
4年間:5,500,000円

◆同分野の学部 学科の学納金(平成28年度実績)

【国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科】
初年度:1,550,000円
4年間:5,900,000円

【北里大学 医療衛生学部 医療検査学科】
初年度:1,800,000円
4年間:7,050,000円

【群馬パース大学 保健科学部 検査技術学科】
初年度:1,550,000円
4年間:6,500,000円

●設置予定地

北海道石狩郡当別町金沢1757番地

【アクセス】

JR学園都市線 北海道医療大学駅 徒歩1分
(連絡通路有)



*学部・学科の名称、定員等の記載内容は現時点での計画であり、変更することがあります。

アンケート調査票1/2

北海道医療大学 新学部設置計画に係る事業所アンケート調査

北海道医療大学では、これまでの学部 学科に加えて、新たに健康衛生学部 臨床検査学科（仮称）を設置することを検討しています。設置計画検討の参考として、皆様の率直なご意見をお聞かせください。

【質問1】 貴事業所の主となる種別はどれですか？次の中から1つ選び○をつけてください。

- | | | |
|------------|----------------|-------|
| 1 病院 | 4 健診センター | 7 その他 |
| 2 診療所 | 5 検査機器メーカー | () |
| 3 臨床検査センター | 6 行政(都道府県・市町村) | |

【質問2】 貴事業所の所在地はどちらですか？該当する所在地を次の中から1つ選び○をつけてください。

- 道央(石狩・空知・胆振・日高・後志)
- 道南(渡島・檜山)
- 道北(上川・留萌・宗谷)
- 道東(オホーツク・十勝・釧路・根室)

【質問3】 臨床検査技師について、貴事業所での過去3年間の採用状況をお聞かせください。

○臨床検査技師の過去3年間の採用状況について何れか1つに○をつけてください。

- 採用した
- 採用していない

○臨床検査技師の過去3年間の採用人数について () 内に人数をご記入ください。

*採用人数について、詳細がご不明な場合は概数をご記入ください。

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
採用人数	()人	()人	()人

【質問4】 貴事業所では、臨床検査技師の充足状況についてどのようにお考えですか？

次の中から1つ選び○をつけてください。

- | | | |
|------------|--------------|---------|
| 1 不足している | 3 ある程度充足している | 5 わからない |
| 2 やや不足している | 4 充足している | |

【質問5】 貴事業所では人材採用の際、どのような点を重視されていますか？

次の中から2つまで選び○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-------------|-------|
| 1 コミュニケーション能力 | 5 問題解決能力 | 9 その他 |
| 2 社会常識 | 6 基礎学力 | () |
| 3 国際感覚(広い視野・価値観) | 7 専攻分野の基礎知識 | |
| 4 チームで働く力 | 8 語学力 | |

【質問6】 貴事業所内では、職員の皆様に北海道医療大学の教育・研究内容(分野・特色等)が認知されていると思われますか？次の中から1つ選び○をつけてください。

- | | | |
|------------------|------------------|---------|
| 1 認知されていると思う | 3 あまり認知されていないと思う | 5 わからない |
| 2 ある程度認知されていると思う | 4 認知されていないと思う | |

裏面へ続く⇒

アンケート調査票2/2

【質問7～9】は、別紙「北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科（仮称）」の概要をご覧ください、ご記入ください。

*採用意向人数については、あくまでも新学部設置計画検討の参考とさせていただくものであり、ご回答いただいた数の採用者を求めるものではありません。また、アンケートの集計結果と特定の機関・院・施設を関連付けることはありません。

北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科について

【質問7】貴事業所では、北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科の設置の必要性についてどのようにお考えですか？次の中から1つ選び○をつけてください。

- | | | |
|----------------|---------------|---------|
| 1 必要性を感じる | 3 あまり必要性を感じない | 5 わからない |
| 2 ある程度の必要性を感じる | 4 必要性を感じない | |

【質問8】貴事業所では、北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科の卒業生の採用についてどのようにお考えですか？次の中から1つ選び○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------|
| 1 採用したい ()人程度 | 3 採用を希望しない |
| 2 採用を検討したい()人程度 | 4 わからない |

【質問9】北海道医療大学 健康衛生学部 臨床検査学科設置計画に対するご意見・ご要望をお聞かせください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

北海道医療大学 新学部設置準備担当

北海道における福祉系学部学科入学者定員充足率推移（2014年～2017年）

大学名	学部名	学科名	2014年			2015年			2016年			2017年			平均		
			定員	入学者	定員充足率	定員	入学者	定員充足率	定員	入学者	定員充足率	定員	入学者	定員充足率	定員	入学者	定員充足率
旭川大学	保健福祉学部	コミュニティ福祉学科	60	22	36.7%	40	36	90.0%	40	20	50.0%	40	34	85.0%	45.0	28.0	62.2%
札幌学院大学	人文学部	人間科学科	130	85	65.4%	130	73	56.2%	130	68	52.3%	130	88	67.7%	130.0	78.5	60.4%
星槎道都大学	社会福祉学部	社会福祉学科	60	36	60.0%	60	49	81.7%	60	34	56.7%	60	46	76.7%	60.0	41.3	68.8%
藤女子大学	人間生活学部	人間生活学科	80	90	112.5%	80	85	106.3%	80	63	78.8%	80	58	72.5%	80.0	74.0	92.5%
北翔大学	生涯スポーツ学部	健康福祉学科	60	36	60.0%	60	44	73.3%	60	42	70.0%	60	28	46.7%	60.0	37.5	62.5%
北星学園大学	社会福祉学部	福祉計画学科	85	94	110.6%	85	102	120.0%	85	103	121.2%	85	86	101.2%	85.0	96.3	113.2%
		福祉臨床学科	85	91	107.1%	85	94	110.6%	85	88	103.5%	85	99	116.5%	85.0	93.0	109.4%
		福祉心理学科	64	73	114.1%	64	62	96.9%	64	74	115.6%	64	70	109.4%	64.0	69.8	109.0%
北海道医療大学	看護福祉学部	臨床福祉学科	80	60	75.0%	80	64	80.0%	80	44	55.0%	80	53	66.3%	80.0	55.3	69.1%
平均			78.2	65.2	83.4%	76.0	67.7	89.0%	76.0	59.6	78.4%	76.0	62.4	82.2%	76.6	63.7	83.2%

※参考：大学ポートレート、各大学の情報公開

都道府県	校数	設置年	大学名	学部名称	学科・課程名称	2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度				偏差値(河合塾)		備考	
						入学定員		志願者数	倍率	入学定員		志願者数	倍率	入学定員		志願者数	倍率	入学定員		志願者数	倍率	入学定員		志願者数	倍率	2016年	2017年		
						①	②			①	②			①	②			①	②			①	②						
北海道	7	2008	旭川大学	保健福祉学部	コミュニティ福祉学科	60	25	13	0.5	60	25	2	0.1	40	15	15	1.0	40	15	11	0.7	40	15	13	0.9	—	—	2015年から定員変更 60名→40名	
		1977	札幌学院大学	人文学部	人間科学学科	130	55	286	5.2	130	55	171	3.1	130	55	198	3.6	130	55	195	3.5	130	55	178	3.2	35.0	37.5		
		1978	道都大学	社会福祉学部	社会福祉学科	60	19	23	1.2	60	19	23	1.2	60	19	24	1.3	60	19	34	1.8	60	20	24	1.2	35.0	37.5		
		1992	藤女子大学	人間生活学部	人間生活学科	80	43	236	5.5	80	43	301	7.0	80	45	262	5.8	80	48	227	4.7	80	48	250	5.2	40.0	42.5		
		1997	北翔大学	生涯スポーツ学部	健康福祉学科	60	10	22	2.2	60	10	18	1.8	60	10	16	1.6	60	10	16	1.6	60	10	14	1.4	—	—	2014年人間福祉学部地域福祉学科、医療福祉学科を廃止して生涯スポーツ学部健康福祉学科に転換	
					人間福祉学部	地域福祉学科	60	15	29	1.9																			
					医療福祉学科	30	12	16	1.3																				
		1996	北星学園大学	社会福祉学部	福祉計画学科	85	51	166	3.3	85	51	288	5.6	85	53	189	3.6	85	53	200	3.8	85	53	211	4.0	40.0	40.0	2009年～2013年入学生は40名の履修制限。2014年入学生から履修制限なし。	
					福祉臨床学科	85	51	214	4.2	85	51	157	3.1	85	53	218	4.1	85	53	186	3.5	85	53	178	3.4	40.0	40.0		
福祉心理学科	64				38	221	5.8	64	38	236	6.2	64	40	208	5.2	64	40	149	3.7	64	40	208	5.2	42.5	42.5				
1993	北海道医療大学	看護福祉学部	臨床福祉学科	80	41	593	14.5	80	41	609	14.9	80	41	454	11.1	80	41	390	9.5	80	41	339	8.3	40.0	40.0				
7	—	—	—	—	804	375	1,847	4.9	704	333	1,809	5.4	684	331	1,586	4.8	684	334	1,408	4.2	684	335	1,415	4.2	38.9	40.0			
東北	3	1981	青森大学	社会学部	社会学科 社会福祉学コース	90	不明	不明	不明	90	45	20	0.4	90	45	9	0.2	90	45	19	0.4	70	40	23	0.6	—	35.0	入学定員は学科単位で公表	
		2005	八戸学院大学	健康医療学部	人間健康学科	80	25	32	1.3	80	25	25	1.0	80	25	24	1.0	80	25	23	0.9	80	25	21	0.8	—	—	2013年八戸大学から校名変更、2016年看護学科を設置して人間健康学部→健康医療学部と学部名称変更	
		1999	弘前学院大学	社会福祉学部	社会福祉学科	80	55	56	1.0	80	55	73	1.3	80	40	34	0.9	80	40	39	1.0	80	40	49	1.2	—	—		
	5	1967	仙台大学	体育学部	健康福祉学科	100	25	74	3.0	100	25	135	5.4	100	25	55	2.2	100	25	97	3.9	100	25	44	1.8	35.0	35.0		
					仙台白百合女子大学	人間学部	心理福祉学科 福祉コース	70	23	99	4.3	70	23	95	4.1	70	23	101	4.4	70	23	63	2.7	70	28	58	2.1	—	35.0
		1962	東北福祉大学	総合福祉学部	社会福祉学科	300	177	1,471	8.3	300	177	1,345	7.6	400	236	1,070	4.5	400	236	1,024	4.3	400	228	1,150	5.0	35.0	35.0	2015年定員増 300名→400名、社会教育学科→福祉行政学科に改称 偏差値はいずれもA統一方式	
					福祉心理学科	120	58	807	13.9	120	58	688	11.9	120	58	657	11.3	120	58	513	8.8	120	67	813	12.1	45.0	50.0		
					福祉行政学科	100	59	660	11.2	100	59	599	10.2	100	57	433	7.6	100	57	423	7.4	100	47	454	9.7	40.0	45.0		
		2008	総合マネジメント学部	産業福祉マネジメント学科	100	57	538	9.4	100	57	462	8.1	100	57	421	7.4	100	57	380	6.7	100	47	459	9.8	37.5	40.0			
				情報福祉マネジメント学科	100	57	333	5.8	100	57	391	6.9	100	57	293	5.1	100	57	269	4.7	100	47	389	8.3	35.0	35.0			
	1999	東北文化学園大学	医療福祉学部	保健福祉学科 保健福祉専攻	90	28	66	2.4	90	28	41	1.5	90	28	46	1.6	90	28	52	1.9	90	28	41	1.5	—	—			
				保健福祉学科 生活福祉専攻	30	8	19	2.4	30	8	8	1.0	30	8	13	1.6	30	8	3	0.4	30	8	5	0.6	—	—			
	1949	宮城学院女子大学	教育学部	教育学科 幼児教育専攻	80	40	283	7.1	80	40	226	5.7	80	40	153	3.8	90	40	199	5.0	90	40	146	3.7	42.5	40.0	2016年 学芸学部発達臨床学科→教育学部教育学科幼児教育専攻に改組		
1	2005	秋田看護福祉大学	看護福祉学部	福祉学科	40	19	41	2.2	40	19	41	2.2	40	19	29	1.5	40	19	27	1.4	40	17	41	2.4	—	—			
1	2001	東北公益文化大学	公益学部	公益学科 社会福祉コース	235	120	220	1.8	235	120	196	1.6	235	125	235	1.9	235	125	244	2.0	235	125	275	2.2	—	—	入学定員、志願者数は学科単位で公表		
3	1966	郡山女子大学	家政学部	人間生活学科 福祉コース	40	16	2	0.1	40	16	7	0.4	40	8	5	0.6	40	16	7	0.4	40	16	8	0.5	—	—	入学定員、志願者数は学科単位で公表		
	2004	東日本国際大学	健康福祉学部	社会福祉学科	80	不明	8	不明	80	10	11	1.1	80	40	8	0.2	80	20	9	0.5	80	20	9	0.5	—	35.0	2016年 福祉環境学部→健康福祉学部へ学部名称変更		
	2003	福島学院大学	福祉学部	福祉心理学科 社会福祉・精神保健福祉コース	80	28	32	1.1	80	24	26	1.1	70	21	28	1.3	70	21	22	1.0	70	21	21	1.0	—	—	入2015年こども学科40名を開設、福祉心理学科定員80名→70名に変更		
—	13	—	—	—	1,815	795	4,741	6.0	1,815	846	4,389	5.2	1,905	912	3,614	4.0	1,915	900	3,413	3.8	1,895	869	4,006	4.6	38.6	38.5			
関東	4	2000	茨城キリスト教大学	生活科学部	心理福祉学科 福祉学コース	60	23	96	4.2	60	23	162	7.0	60	23	127	5.5	60	23	114	5.0	60	23	84	3.7	37.5	37.5	2012年は人間福祉学科で募集 入学定員、志願者数は学科単位で公表	
		1994	つくば国際大学	産業社会学部	社会福祉学科	40	15	18	1.2	40	15	8	0.5	40	15	14	0.9											2016年学生募集停止	
		2000	常盤大学	コミュニティ振興学部	ヒューマンサービス学科	80	40	30	0.8	80	24	33	1.4	80	24	33	1.4	80	24	32	1.3					35.0		2017年学生募集停止	
		1988	流通経済大学	社会学部	社会学科	150	62	202	3.3	150	62	147	2.4	150	62	124	2.0	150	62	249	4.0	130	52	335	6.4	35.0	35.0		
	1	1997	国際医療福祉大学	医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科	160	80	246	3.1	160	80	281	3.5	160	80	206	2.6	160	80	208	2.6	160	83	164	2.0	37.5	35.0		
	2	2002	群馬医療福祉大学	社会福祉学部	社会福祉学科 社会福祉専攻	50	20	82	4.1	50	20	127	6.4	50	20	129	6.5	50	20	103	5.2	50	20	36	1.8	35.0	37.5		
		2001	高崎健康福祉大学	健康福祉学部	社会福祉学科	60	30	293	9.8	60	35	263	7.5	60	35	232	6.6	60	35	166	4.7	60	30	198	6.6	35.0	37.5		
	6	2003	浦和大学	総合福祉学部	総合福祉学科	100	25	17	0.7	100	30	32	1.1	100	30	不明	不明	100	30	不明	不明	70	20	18	0.9	—	—		
		2002	十文字学園女子大学	人間生活学部	人間福祉学科 社会福祉・保育コース	60	28	50	1.8	60	28	41	1.5	50	25	72	2.9	50	25	202	8.1	50	25	22	0.9	—	—		
					人間福祉学科 社会福祉・介護福祉コース	50	25	23	0.9	50	25	80	3.2	50	25	80	3.2	50	25	24	1.0	—	—						
2004		聖学院大学	人間福祉学部	人間福祉学科	80	不明	不明	不明	80	20	57	2.9	80	80	82	1.0	80	20	25	1.3	80	20	49	2.5	—	—			
1999		西武文理大学	サービス経営学部	健康福祉マネジメント学科 社会福祉学コース	280	100	116	1.2	280	100	104	1.0	280	100	79	0.8	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	学部一括募集のため、学科・コース別の入学定員、志願者数は不明
1995	東京国際大学	人間社会学部	福祉心理学科	100	不明	164	不明	100	35	105	3.0	100	不明	不明	不明	50	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	2015年度は、入学定員は学科単位、志願者数は学部単位で公表のため詳細不明		
1976	文教大学	人間科学部	人間科学科 社会福祉コース	140	100	1,083	10.8	140	90	1,093	12.1	140	90	921	10.2	140	95	972	10.2	140	95	1,167	12.3	47.5	47.5	入学定員、志願者数は学科単位で公表			

社会福祉士資格取得可能大学志願状況(2013年度～2017年度)(私立大学・関東以北)(2)

都道府県	校数	設置年	大学名	学部名称	学科・課程名称	2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度				偏差値(河合塾)		備考
						入学定員		志願者数	倍率	入学定員		志願者数	倍率	入学定員		志願者数	倍率	入学定員		志願者数	倍率	入学定員		志願者数	倍率	2016年	2017年	
						①	②			①	②			①	②			①	②			①	②					
千葉県	6	1965	淑徳大学	総合福祉学部	社会福祉学科	200	66	261	4.0	200	66	209	3.2	200	66	217	3.3	200	66	239	3.6	200	66	161	2.4	37.5	37.5	
		2004	城西国際大学	福祉総合学部	福祉総合学科 社会福祉コース	160	31	92	3.0	160	33	113	3.4	160	33	63	1.9	140	39	74	1.9	140	39	41	1.1	35.0	37.5	入学定員、志願者数は学科単位で公表
		2012	聖徳大学	心理・福祉学部	社会福祉学科	80	不明	104	不明	80	不明	121	不明	80	不明	82	不明	80	不明	120	不明	80	不明	76	不明	35.0	—	
		2014	千葉商科大学	人間社会学部	人間社会学科					200	50	71	1.4	200	60	208	3.5	200	60	220	3.7	200	60	400	6.7	35.0	35.0	
		2008	東京成徳大学	応用心理学部	福祉心理学科	40	20	18	0.9	40	20	24	1.2	40	16	31	1.9	40	16	33	2.1	40	16	38	2.4	35.0	—	
		2008	和洋女子大学	家政学群	家政福祉学類	90	38	149	3.9	80	28	130	4.6	80	28	118	4.2	80	28	109	3.9	80	28	88	3.1	—	—	2014年家政学群 生活環境学類(90名)を家政福祉学類(80名)に名称変更
東京都	27	2006	桜美林大学	健康福祉学群	社会福祉専修	200	82	723	8.8	200	82	636	7.8	200	82	604	7.4	200	84	707	8.4	200	84	778	9.3	40.0	42.5	入学定員、志願者数は学群単位で公表
		1999	大妻女子大学	人間関係学部	人間福祉学科 人間福祉学専攻	70	25	195	7.8	70	25	226	9.0	70	25	206	8.2	70	25	230	9.2	70	25	204	8.2	35.0	40.0	
					人間福祉学科 介護福祉学専攻	30	8	22	2.8	30	8	51	6.4	30	8	49	6.1	30	8	25	3.1	30	8	35	4.4	—	40.0	
		1979	杏林大学	保健学部	健康福祉学科	20	12	129	10.8	20	18	157	8.7	26	28	176	6.3	26	24	257	10.7	36	33	152	4.6	42.5	40.0	
		1949	駒沢大学	文学部	社会学科 社会福祉学専攻	80	66	476	7.2	80	70	687	9.8	80	70	530	7.6	83	74	895	12.1	83	74	697	9.4	45.0	45.0	
		2005	上智大学	総合人間科学部	社会福祉学科	60	48	455	9.5	60	46	318	6.9	60	46	593	12.9	60	46	584	12.7	60	40	612	15.3	60.0	65.0	
		2003	昭和女子大学	人間社会学部	福祉社会学科	70	45	393	8.7	70	45	533	11.8	70	45	450	10.0	60	36	542	15.1	80	36	693	19.3	47.5	50.0	
		2005	白梅学園大学	子ども学部	家族・地域支援学科	40	17	236	13.9	40	17	213	12.5	40	17	214	12.6	40	22	205	9.3	40	22	140	6.4	35.0	37.5	
		1993	大正大学	人間学部	社会福祉学科 社会福祉学コース	80	56	327	5.8	80	58	311	5.4	80	58	240	4.1	80	58	334	5.8	80	58	369	6.4	37.5	37.5	2013年アーバン福祉学科を社会福祉学科に名称変更
		1987	帝京平成大学	現代ライフ学部	人間文化学科 社会福祉学コース	60	33	114	3.5	60	33	79	2.4	60	33	87	2.6	150	33	105	3.2	150	33	84	2.5	37.5	37.5	
		1995	東海大学	健康科学部	社会福祉学科	85	45	254	5.6	85	45	290	6.4	85	45	225	5.0	85	45	172	3.8	85	48	269	5.6	40.0	40.0	
		1986	東京家政大学	人文学部	教育福祉学科	70	52	372	7.2	70	52	328	6.3	70	52	266	5.1	70	52	319	6.1	70	52	249	4.8	47.5	45.0	
		2010	東京家政学院大学	現代生活学部	人間福祉学科	60	26	47	1.8	60	26	27	1.0	60	26	18	0.7	60	26	8	0.3	60	26	15	0.6	—	35.0	
		2000	東京福祉大学	社会福祉学部	社会福祉学科 社会福祉専攻 社会福祉コース	270	43	315	7.3	270	35	254	7.3	270	35	251	7.2	270	35	230	6.6	360	不明	不明	不明	35.0	37.5	2014年、学科定員は270名のままで、新たに経営福祉専攻を設置 2017年、学科定員を360名に増員
				社会福祉学科 社会福祉専攻 介護福祉コース	25		17	0.7	25		25	1.0	25		19	0.8	25		13	0.5	不明		不明	不明	35.0	37.5		
				社会福祉学科 精神保健福祉専攻	36		67	1.9	31		67	2.2	31		64	2.1	31		44	1.4	不明		不明	不明	35.0	37.5		
				社会福祉学科 経営福祉専攻					12		9	0.8	12		14	1.2	12		17	1.4	不明		不明	不明	35.0	35.0		
		1959	東洋大学	社会学部	社会福祉学科	110	92	1,105	12.0	110	92	1,095	11.9	150	45	1,033	23.0	150	125	1,517	12.1	150	125	1,499	12.0	45.0	50.0	
		2005	東洋大学	ライフデザイン学部	生活支援学科 生活支援学専攻	100	70	711	10.2	100	70	507	7.2	116	48	1,039	21.6	116	90	777	8.6	116	87	867	10.0	45.0	45.0	
				社会学部2部	社会福祉学科	45	35	64	1.8	45	35	137	3.9	45	20	194	9.7	45	35	187	5.3	45	35	281	8.0	35.0	35.0	
		2013	日本大学	文理学部	社会福祉学科	60	35	302	8.6	60	32	393	12.3	60	32	390	12.2	60	29	556	19.2	60	30	264	8.8	50.0	52.5	2013年設置
		1958	日本社会事業大学	社会福祉学部	福祉計画学科	50	41	380	9.3	50	41	393	9.6	50	41	334	8.1	55	41	268	6.5	55	41	248	6.0	45.0	42.5	
					福祉援助学科	100	78	666	8.5	100	78	683	8.8	100	78	573	7.3	105	78	448	5.7	105	78	382	4.9	45.0	40.0	
		1990	日本女子大学	人間社会学部	社会福祉学科	88	88	470	5.3	88	88	440	5.0	88	88	387	4.4	88	88	431	4.9	88	88	423	4.8	45.0	45.0	
		1997	文京学院大学	人間学部	人間福祉学科	110	63	399	6.3	110	63	342	5.4	110	68	489	7.2	110	68	368	5.4	110	55	347	6.3	—	—	
		2000	法政大学	現代福祉学部	福祉コミュニティ学科	147	97	1,095	11.3	147	97	2,111	21.8	147	100	1,300	13.0	147	100	2,500	25.0	147	100	1,802	18.0	55.0	57.5	
		1999	武蔵野大学	人間科学部	社会福祉学科	130	97	875	9.0	130	90	752	8.4	130	不明	792	不明	130	不明	722	不明	143	不明	736	不明	42.5	45.0	
1965	明治学院大学	社会学部	社会福祉学科	240	120	1,179	9.8	240	125	1,477	11.8	240	125	1,569	12.6	240	125	1,207	9.7	240	125	1,817	14.5	47.5	50.0			
2010	明星大学	人文学部	福祉実践学科	60	31	142	4.6	60	31	124	4.0	60	31	111	3.6	60	31	95	3.1	60	31	199	6.4	37.5	37.5			
2000	目白大学	人間学部	人間福祉学科	120	80	270	3.4	120	80	287	3.6	120	80	256	3.2	120	80	174	2.2	120	80	161	2.0	—	—			
1998	立教大学	コミュニティ福祉学部	福祉学科	140	105	2,036	19.4	140	105	1,117	10.6	140	100	1,578	15.8	140	100	1,145	11.5	154	106	1,655	15.6	55.0	57.5			
1996	立正大学	社会福祉学部	社会福祉学科	200	115	587	5.1	200	115	506	4.4	200	不明	450	不明	200	160	756	4.7	200	不明	347	不明	—	—			
2014	ルーテル学院大学	総合人間学部	人間福祉心理学科	50	46	118	2.6	90	45	109	2.4	90	45	110	2.4	90	45	97	2.2	90	45	63	1.4	—	—	2014年社会福祉、臨床心理、キリスト教の3学科を改組して人間福祉心理学科を設置		
2003	早稲田大学	人間科学部	健康福祉科学科	200	150	2,185	14.6	200	150	2,229	14.9	200	150	2,081	13.9	200	150	2,350	15.7	200	145	2,906	20.0	62.5	62.5			
東京都小計						3,145	1,962	16,726	8.5	3,185	1,965	16,913	8.6	3,247	1,689	16,692	9.9	3,340	1,981	18,285	9.2	3,487	1,710	18,294	10.7	43.5	44.1	
神奈川県	2	2015	関東学院大学	社会学部	現代社会学科									180	100	504	5.0	180	105	438	4.2	180	112	519	4.6	42.5	40.0	
		2002	田園調布学園大学	人間福祉学部	社会福祉学科 社会福祉専攻	95	47	83	1.8	95	不明	69	不明	95	不明	64	不明	95	不明	44	不明	95	不明	46	不明	35.0	35.0	
					社会福祉学科 介護福祉専攻	35	17	17	1.0	35	不明	18	不明	35	不明	20	不明	35	不明	16	不明	35	不明	10	不明	35.0	35.0	
			心理福祉学科	60	30	46	1.5	60	不明	34	不明	60	不明	43	不明	60	不明	34	不明	60	不明	50	不明	37.5	—			
—	48	—	—	—	—	5,265	2,709	19,893	7.3	5,495	2,694	20,155	7.5	5,577	2,571	20,084	7.8	5,330	2,704	21,763	8.0	5,377	2,404	21,820	9.1	40.9	42.0	
合計	68	—	—	—	—	7,884	3,879	26,481	6.8	8,014	3,873	26,353	6.8	8,166	3,814	25,284	6.6	7,929	3,938	26,584	6.8	7,956	3,608	27,241	7.6	40.4	41.2	

入学定員：①は総入学定員、②は、AOおよび推薦を除いた一般およびセンター等の入学定員を示す。表中の志願者数及び倍率は、②の定員を基準とした数値である。

志願

	薬学部		歯学部		看護福祉学部				心理科学部		リハビリテーション科学部						合計	
	薬学科		歯学科		看護学科		臨床福祉学科		臨床心理学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚療法学科		人	%
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%		
北海道	4,185	84.9	1,302	59.2	5,981	95.7	2,329	93.2	2,910	89.7	3,662	92.4	3,562	93.4	2,722	92.5	26,653	89.3
東北	264	5.4	142	6.5	106	1.7	78	3.1	150	4.6	201	5.1	147	3.9	109	3.7	1,197	4.0
関東	156	3.2	250	11.4	61	1.0	40	1.6	59	1.8	50	1.3	40	1.0	38	1.3	694	2.3
北陸	31	0.6	34	1.5	6	0.1			4	0.1	2	0.1	5	0.1	0		82	0.3
中部	101	2.0	105	4.8	36	0.6	17	0.7	40	1.2	11	0.3	15	0.4	35	1.2	360	1.2
近畿	55	1.1	140	6.4	21	0.3	14	0.6	21	0.6	9	0.2	12	0.3	8	0.3	280	0.9
中国	31	0.6	49	2.2	5	0.1	4	0.2	14	0.4	9	0.2	4	0.1	5	0.2	114	0.4
四国	1	0.0	18	0.8	4	0.1			1								24	0.1
九州	84	1.7	128	5.8	11	0.2	2	0.1	15	0.5	13	0.3	5	0.1	9	0.3	267	0.9
認定・その他	19	0.4	32	1.5	21	0.3	15	0.6	30	0.9	8	0.2	24	0.6	18	0.6	167	0.6
合計	4,927	-	2,200	-	6,252	-	2,499	-	3,244	-	3,965	-	3,814	-	2,944	-	29,838	-

受験

	薬学部		歯学部		看護福祉学部				心理科学部		リハビリテーション科学部						合計	
	薬学科		歯学科		看護学科		臨床福祉学科		臨床心理学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚療法学科		人	%
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%		
北海道	4,104	85.0	1,263	59.8	5,869	95.7	2,290	93.4	2,850	89.8	3,618	92.4	3,506	93.5	2,680	92.5	26,180	89.5
東北	262	5.4	140	6.6	104	1.7	77	3.1	149	4.7	198	5.1	146	3.9	108	3.7	1,184	4.0
関東	151	3.1	232	11.0	60	1.0	39	1.6	57	1.8	48	1.2	38	1.0	38	1.3	663	2.3
北陸	30	0.6	33	1.6	6	0.1			4	0.1	2	0.1	5	0.1	0		80	0.3
中部	98	2.0	99	4.7	34	0.6	15	0.6	38	1.2	11	0.3	13	0.3	34	1.2	342	1.2
近畿	53	1.1	129	6.1	21	0.3	14	0.6	21	0.7	9	0.2	12	0.3	8	0.3	267	0.9
中国	30	0.6	49	2.3	5	0.1	4	0.2	14	0.4	9	0.2	4	0.1	5	0.2	113	0.4
四国	1	0.0	17	0.8	4	0.1			1	0.0							23	0.1
九州	81	1.7	119	5.6	10	0.2	2	0.1	15	0.5	13	0.3	5	0.1	9	0.3	254	0.9
認定・その他	19	0.4	30	1.4	17	0.3	11	0.4	26	0.8	7	0.2	20	0.5	14	0.5	144	0.5
合計	4,829	-	2,111	-	6,130	-	2,452	-	3,175	-	3,915	-	3,749	-	2,896	-	29,250	-

合格

	薬学部		歯学部		看護福祉学部				心理科学部		リハビリテーション科学部						合計	
	薬学科		歯学科		看護学科		臨床福祉学科		臨床心理学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚療法学科		人	%
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%		
北海道	1,480	86.1	985	60.1	1,260	95.8	1,731	92.6	1,580	89.2	836	94.1	957	94.5	1,218	92.5	10,047	87.1
東北	111	6.5	115	7.0	25	1.9	67	3.6	89	5.0	38	4.3	33	3.3	56	4.3	534	4.6
関東	32	1.9	170	10.4	14	1.1	32	1.7	37	2.1	6	0.7	8	0.8	15	1.1	314	2.7
北陸	11	0.6	25	1.5	2	0.2			3	0.2							41	0.4
中部	27	1.6	69	4.2	8	0.6	13	0.7	25	1.4	2	0.2	2	0.2	11	0.8	157	1.4
近畿	17	1.0	102	6.2	1	0.1	13	0.7	14	0.8			4	0.4	5	0.4	156	1.4
中国	9	0.5	44	2.7	1	0.1	3	0.2	3	0.2	1	0.1			1	0.1	62	0.5
四国			14	0.9													14	0.1
九州	26	1.5	94	5.7	1	0.1	2	0.1	9	0.5	5	0.6	3	0.3	6	0.5	146	1.3
認定・その他	6	0.3	20	1.2	3	0.2	8	0.4	11	0.6			6	0.6	5	0.4	59	0.5
合計	1,719	-	1,638	-	1,315	-	1,869	-	1,771	-	888	-	1,013	-	1,317	-	11,530	-

入学

	薬学部		歯学部		看護福祉学部				心理科学部		リハビリテーション科学部						合計	
	薬学科		歯学科		看護学科		臨床福祉学科		臨床心理学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚療法学科		人	%
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%		
北海道	759	86.1	209	61.3	558	96.7	308	92.2	302	83.4	428	94.3	229	95.8	299	90.6	3,092	87.9
東北	69	7.8	19	5.6	9	1.6	16	4.8	28	7.7	19	4.2	8	3.3	19	5.8	187	5.3
関東	10	1.1	30	8.8	6	1.0	5	1.5	11	3.0	2	0.4			6	1.8	70	2.0
北陸	3	0.3	12	3.5					1	0.3			0.0				16	0.5
中部	13	1.5	12	3.5	2	0.3	1	0.3	7	1.9	1	0.2			3	0.9	39	1.1
近畿	6	0.7	23	6.7			2	0.6	6	1.7			1	0.4			38	1.1
中国	5	0.6	7	2.1			1	0.3	1	0.3	1	0.2					15	0.4
四国			2	0.6													2	0.1
九州	12	1.4	20	5.9					3	0.8	3	0.7			3	0.9	41	1.2
認定・その他	5	0.6	7	2.1	2	0.3	1	0.3	3	0.8			1	0.4			19	0.5
合計	882	-	341	-	577	-	334	-	362	-	454	-	239	-	330	-	3,519	-

北海道医療大学 学部毎の地域別志願・受験・合格・入学者状況(2013年度～2017年度)

志願者(人)

	2013年度										2014年度										2015年度										2016年度										2017年度														
	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計
	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	臨床心理学	理学療法		作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚		臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法		作業療法	言語聴覚	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科		臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚							
北海道	908	232	1,399	593	651	620	582	586	5,571	950	316	1,177	574	718	900	929	634	6,198	881	330	1,178	447	550	756	749	519	5,410	765	244	1,094	385	526	684	661	520	4,879	681	180	1,133	330	465	702	641	463	4,595										
東北	54	21	25	18	29	37	23	22	229	55	34	24	24	44	63	36	31	311	53	35	17	14	22	35	27	17	220	55	30	31	11	33	34	32	27	253	47	22	9	11	22	32	29	12	184										
関東	26	30	17	12	12	5	6	9	117	22	48	17	8	12	11	8	10	136	43	64	11	6	10	17	12	5	168	31	62	12	5	11	3	9	7	140	34	46	4	9	14	14	5	7	133										
北陸	3	6	2						11	12	4			1			17	6	8	1		2					17	5	14	3		1		3					2	2			11												
中部	31	13	9	2	11	1	2	8	77	21	17	12	6	16	5	4	13	94	17	27	7	1	3	3	1	60	9	19	4	5	7		2	7	53	23	29	4	3	5	2	4	6	76											
近畿	3	14	4	5	3	1	2	1	33	12	31	3	3	6	3	3	3	64	18	31	10	4	6	1	4	4	78	7	26	1		4	4	1		43	15	38	3	2	2		2	62											
中国	1	3			8				12	4	7						11	6	17	1		1	2	1	1	29	13	14	3	3	5	4	3	3	48	7	8	1	1		3		1	21											
四国		3							3		6						6		4	4		1				9		3														3													
九州	24	17			5	2		1	49	21	31	1		4	4	1	2	64	18	37	1	1	3	2	2	2	66	13	30	5		2	1	1	2	54	8	13	4	1	1	4	1	2	34										
認定・その他	9	3	3	3	7	4	3	3	35	2	6	7	7	10		9	7	48	3	6	5	2	2	2	5	2	27	2	4	1		2	2	4	4	19	3	13	5	3	9		3	2	38										
合計	1,059	342	1,459	633	726	670	618	630	6,137	1,099	500	1,241	622	811	986	990	700	6,949	1,045	559	1,235	475	588	818	803	551	6,084	900	446	1,154	409	591	732	716	570	5,518	824	353	1,163	360	518	759	687	493	5,157										

受験者(人)

	2013年度										2014年度										2015年度										2016年度										2017年度														
	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計
	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	臨床心理学	理学療法		作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚		臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法		作業療法	言語聴覚	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科		臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚							
北海道	889	221	1,373	583	635	604	570	574	5,449	929	309	1,146	566	701	896	915	621	6,083	881	319	1,154	437	536	748	736	511	5,322	744	240	1,085	378	517	674	650	513	4,801	661	174	1,111	326	461	696	635	461	4,525										
東北	54	21	25	18	29	37	23	22	229	54	33	22	24	44	63	36	31	307	53	35	17	13	21	33	26	16	214	54	29	31	11	33	33	32	27	250	47	22	9	11	22	32	29	12	184										
関東	26	30	17	12	12	3	6	9	115	20	46	16	7	12	11	7	10	129	43	58	11	6	9	17	12	5	161	31	58	12	5	10	3	9	7	135	31	40	4	9	14	14	4	7	123										
北陸	3	6	2						11	12	4			1			17	6	7	1		2				16	4	14	3		1		3			25	5	2	0		2	2		11											
中部	30	12	9	2	11	1	2	8	75	21	17	12	6	16	5	4	13	94	17	26	7	1	1	3	3	1	59	9	17	4	5	7	2	7	51	21	27	2	1	3	2	2	5	63											
近畿	3	12	4	5	3	1	2	1	31	11	27	3	3	6	3	3	3	59	18	29	10	4	6	1	4	4	76	6	24	1		4	4	1		40	15	37	3	2	2		2	61											
中国	1	3			8				12	3	7						10	6	17	1		1	2	1	1	29	13	14	3	3	5	4	3	3	48	7	8	1	1		3		1	21											
四国		2							2		6						6		4	4		1				9		3	0						3	1	2						3												
九州	22	15			5	2		1	45	21	29	1		4	4	1	2	62	18	36	1	1	3	2	2	2	65	12	27	5		2	1	1	2	48	8	12	3	1	1	4	1	2	32										
認定・その他	9	3			4	3			19	2	6	7	7	10		9	7	48	3	5	5	2	2	2	5	2	26	2	4	1		2	2	4	4	19	3	12	4	2	8		2	1	32										
合計	1,037	325	1,430	620	707	651	603	615	5,988	1,073	484	1,207	613	794	982	975	687	6,815	1,045	536	1,211	464	582	808	789	542	5,977	875	430	1,145	402	581	721	705	563	5,420	799	336	1,137	353	511	753	677	489	5,055										

合格者(人)

	2013年度										2014年度										2015年度										2016年度										2017年度														
	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計
	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	臨床心理学	理学療法		作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚		臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法		作業療法	言語聴覚	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科		臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚							
北海道	285	192	240	412	277	128	134	206	1,874	295	254	256	428	308	167	194	233	2,135	287	224	258	342	335	174	215	254	2,089	303	164	242	303	348	189	211	264	2,024	310	151	264	246	312	178	203	261	1,925										
東北	19	20	7	14	8	12	4	10	94	24	31	4	21	21	9	6	16	132	24	26	4	12	15	6	4	10	101	23	20	9	10	25	4	10	12	113	21	18	1	10	20	7	9	8	94										
関東	3	26	3	8	6				46	5	42	5	6	9	2	3	6	78	4	31	2	6	6	3	3	3	58	9	37	3	4	6		1	2	62	11	34	1	8	10	1	1	4	70										
北陸	1	5	2						8	3	4			1			8	1	5			2				8	2	9							11	4	2						6												
中部	6	9	2		5				22	4	16	3	6	11	1		5	46	6	14	1	1	1			23	3	12	1	5	6		1	2	30	8	18	1	1	3		1	4	36											
近畿		12		4			1	1	18	3	23	1	3	4		1	1	36	3	19		4	6		1	3	36	2	18		2		1	23	9	30		2	2				4												

北海道医療大学 学部毎の地域別志願・受験・合格・入学者状況(2013年度～2017年度)

志願者(%)

	2013年度										2014年度										2015年度										2016年度										2017年度														
	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計
	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	臨床心理学	理学療法		作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚		臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法		作業療法	言語聴覚	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科		臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚							
北海道	85.7	67.8	95.9	93.7	89.7	92.5	94.2	93.0	90.8	86.4	63.2	94.8	92.3	88.5	91.3	93.8	90.6	89.2	84.3	59.0	95.4	94.1	92.0	92.4	93.3	94.2	88.9	85.0	54.7	94.8	94.1	89.0	93.4	92.3	91.2	88.4	82.6	51.0	97.4	91.7	89.8	92.5	93.3	93.9	89.1										
東北	5.1	6.1	1.7	2.8	4.0	5.5	3.7	3.5	3.7	5.0	6.8	1.9	3.9	5.4	6.4	3.6	4.4	4.5	5.1	6.3	1.4	2.9	3.7	4.3	3.4	3.1	3.6	6.1	6.7	2.7	2.7	5.6	4.6	4.5	4.7	4.6	5.7	6.2	0.8	3.1	4.2	4.2	2.4	3.6											
関東	2.5	8.8	1.2	1.9	1.7	0.7	1.0	1.4	1.9	2.0	9.6	1.4	1.3	1.5	1.1	0.8	1.4	2.0	4.1	11.4	0.9	1.3	1.7	2.1	1.5	0.9	2.8	3.4	13.9	1.0	1.2	1.9	0.4	1.3	1.2	2.5	4.1	13.0	0.3	2.5	2.7	1.8	0.7	1.4	2.6										
北陸	0.3	1.8	0.1						0.2	1.1	0.8			0.1				0.2	0.6	1.4	0.1		0.3				0.3	0.6	3.1	0.3		0.2	0.0	0.4	0.0	0.5	0.6	0.6			0.3	0.3		0.2											
中部	2.9	3.8	0.6	0.3	1.5	0.1	0.3	1.3	1.3	1.9	3.4	1.0	1.0	2.0	0.5	0.4	1.9	1.4	1.6	4.8	0.6	0.2	0.2	0.4	0.4	0.2	1.0	1.0	4.3	0.3	1.2	1.2	0.0	0.3	1.2	1.0	2.8	8.2	0.3	0.8	1.0	0.3	0.6	1.2	1.5										
近畿	0.3	4.1	0.3	0.8	0.4	0.1	0.3	0.2	0.5	1.1	6.2	0.2	0.5	0.7	0.3	0.3	0.4	0.9	1.7	5.5	0.8	0.8	1.0	0.1	0.5	0.7	1.3	0.8	5.8	0.1		0.7	0.5	0.1		0.8	1.8	10.8	0.3	0.6	0.4		0.3		1.2										
中国	0.1	0.9			1.1				0.2	0.4	1.4							0.2	0.6	3.0	0.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.2	0.5	1.4	3.1	0.3	0.7	0.8	0.5	0.4	0.5	0.9	0.8	2.3	0.1	0.3		0.4		0.2	0.4										
四国		0.9							0.0		1.2							0.1		0.7	0.3		0.2				0.1		0.7							0.1	0.1	0.6					0.1												
九州	2.3	5.0			0.7	0.3		0.2	0.8	1.9	6.2	0.1		0.5	0.4	0.1	0.3	0.9	1.7	6.6	0.1	0.2	0.5	0.2	0.2	0.4	1.1	1.4	6.7	0.4		0.3	0.1	0.1	0.4	1.0	1.0	3.7	0.3	0.3	0.2	0.5	0.1	0.4	0.7										
認定・その他	0.8	0.9	0.2	0.5	1.0	0.6	0.5	0.5	0.6	0.2	1.2	0.6	1.1	1.2		0.9	1.0	0.7	0.3	1.1	0.4	0.4	0.3	0.2	0.6	0.4	0.4	0.2	0.9	0.1		0.3	0.3	0.6	0.7	0.3	0.4	3.7	0.4	0.8	1.7		0.4	0.4	0.7										

受験者(%)

	2013年度										2014年度										2015年度										2016年度										2017年度														
	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計
	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	臨床心理学	理学療法		作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚		臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法		作業療法	言語聴覚	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科		臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚							
北海道	85.7	68.0	96.0	94.0	89.8	92.8	94.5	93.3	91.0	86.6	63.8	94.9	92.3	88.3	91.2	93.8	90.4	89.3	84.3	59.5	95.3	94.2	92.1	92.6	93.3	94.3	89.0	85.0	55.8	94.8	94.0	89.0	93.5	92.2	91.1	88.6	82.7	51.8	97.7	92.4	90.2	92.4	93.8	94.3	89.5										
東北	5.2	6.5	1.7	2.9	4.1	5.7	3.8	3.6	3.8	5.0	6.8	1.8	3.9	5.5	6.4	3.7	4.5	4.5	5.1	6.5	1.4	2.8	3.6	4.1	3.3	3.0	3.6	6.2	6.7	2.7	2.7	5.7	4.6	4.5	4.8	4.6	5.9	6.5	0.8	3.1	4.3	4.2	4.3	2.5	3.6										
関東	2.5	9.2	1.2	1.9	1.7	0.5	1.0	1.5	1.9	1.9	9.5	1.3	1.1	1.5	1.1	0.7	1.5	1.9	4.1	10.8	0.9	1.3	1.5	2.1	1.5	0.9	2.7	3.5	13.5	1.0	1.2	1.7	0.4	1.3	1.2	2.5	3.9	11.9	0.4	2.5	2.7	1.9	0.6	1.4	2.4										
北陸	0.3	1.8	0.1						0.2	1.1	0.8			0.1				0.2	0.6	1.3	0.1		0.3				0.3	0.5	3.3	0.3		0.2	0.0	0.4	0.0	0.5	0.6	0.6			0.3	0.3		0.2											
中部	2.9	3.7	0.6	0.3	1.6	0.2	0.3	1.3	1.3	2.0	3.5	1.0	1.0	2.0	0.5	0.4	1.9	1.4	1.6	4.9	0.6	0.2	0.2	0.4	0.4	0.2	1.0	1.0	4.0	0.3	1.2	1.2	0.0	0.3	1.2	0.9	2.6	8.0	0.2	0.3	0.6	0.3	0.3	1.0	1.2										
近畿	0.3	3.7	0.3	0.8	0.4	0.2	0.3	0.2	0.5	1.0	5.6	0.2	0.5	0.8	0.3	0.3	0.4	0.9	1.7	5.4	0.8	0.9	1.0	0.1	0.5	0.7	1.3	0.7	5.6	0.1		0.7	0.6	0.1		0.7	1.9	11.0	0.3	0.6	0.4		0.3		1.2										
中国	0.1	0.9			1.1				0.2	0.3	1.4							0.1	0.6	3.2	0.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.2	0.5	1.5	3.3	0.3	0.7	0.9	0.6	0.4	0.5	0.9	0.9	2.4	0.1	0.3		0.4		0.2	0.4										
四国		0.6							0.0		1.2							0.1		0.7	0.3		0.2				0.2		0.7							0.1	0.1	0.6					0.1												
九州	2.1	4.6			0.7	0.3		0.2	0.8	2.0	6.0	0.1		0.5	0.4	0.1	0.3	0.9	1.7	6.7	0.1	0.2	0.5	0.2	0.3	0.4	1.1	1.4	6.3	0.4		0.3	0.1	0.1	0.4	0.9	1.0	3.6	0.3	0.3	0.2	0.5	0.1	0.4	0.6										
認定・その他	0.9	0.9	0.0	0.0	0.6	0.5		0.0	0.3	0.2	1.2	0.6	1.1	1.3		0.9	1.0	0.7	0.3	0.9	0.4	0.2	0.3	0.2	0.6	0.4	0.4	0.2	0.9	0.1		0.3	0.3	0.6	0.7	0.4	0.4	3.6	0.4	0.6	1.6		0.3	0.2	0.6										

合格者(%)

	2013年度										2014年度										2015年度										2016年度										2017年度														
	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計	薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		計
	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	臨床心理学	理学療法		作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚		臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法		作業療法	言語聴覚	臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚	薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科		臨床心理学	理学療法	作業療法	言語聴覚							
北海道	88.5	67.1	94.5	94.1	92.6	90.8	96.4	94.5	89.4	86.8	61.4	94.5	91.1	85.6	92.8	93.3	87.9	85.1	84.2	62.7	97.0	93.2	91.3	93.5	95.6	93.4	87.7	87.8	55.2	94.5	93.5	88.8	97.9	93.4	93.3	87.4	83.6	53.2	98.5	91.1	88.4	94.7	94.4	93.5	86.4										
東北	5.9	7.0	2.8	3.2	2.7	8.5	2.9	4.6	4.5	7.1	7.5	1.5	4.5	5.8	5.0	2.9	6.0	5.3	7.0	7.3	1.5	3.3	4.1	3.2	1.8	3.7	4.2	6.7	6.7	3.5	3.1	6.4	2.1	4.4	4.2	4.9	5.7	6.3	0.4	3.7	5.7	3.7	4.2	2.9	4.2										
関東	0.9	9.1	1.2	1.8	2.0				2.2	1.5	10.1	1.8	1.3	2.5	1.1	1.4	2.3	3.1	1.2	8.7	0.8	1.6	1.6	1.6	1.3	1.1	2.4	2.6	12.5	1.2	1.2	1.5		0.4	0.7	2.7	3.0	12.0	0.4	3.0	2.8	0.5	0.5	1.4	3.1										
北陸	0.3	1.7	0.8						0.4	0.9	1.0			0.3				0.3	0.3	1.4			0.5				0.3	0.6	3.0							0.5	1.1	0.7					0.3												
中部	1.9	3.1	0.8		1.7				1.0	1.2	3.9	1.1	1.3	3.1	0.6		1.9	1.8	1.8	3.9	0.4	0.3		0.5			1.0	0.9	4.0	0.4	1.5	1.5		0.4	0.7	1.3	2.2	6.3	0.4	0.4	0.8		0.5	1.4	1.6										
近畿		4.2		0.9			0.7	0.5	0.9	0.9	5.6	0.4	0.6	1.1		0.5	0.4	1.4	0.9	5.3		1.1	1.6		0.4	1.1	1.5	0.6	6.1			0.5		0.4	0.0	1.0	2.4	10.6		0.7	0.6			1.9											
中国		1.0			0.3				0.2	0.3	1.7							0.3	0.9	3.9							0.7	0.6	4.0	0.4	0.6	0.5	0.0	0.0	0.4	0.9	0.8	2.8		0.4		0.5			0.6										
四国		0.7							0.1		1.4							0.2		0.8							0.1		0.7							0.1		0.4																	

臨床検査技師養成大学 学納金一覧

資料6

1. 全国養成大学

所在地	大学名	学部・学科専攻名	入学金	授業料等 (4年間)	納付金総額 (4年間)
茨城県	つくば国際大学	医療保健学部 臨床検査学科	300,000	6,200,000	6,500,000
群馬県	群馬パース大学	保健科学部 検査技術学科	150,000	6,350,000	6,500,000
埼玉県	埼玉医科大学	保健医療学部 健康医療科学科	300,000	6,300,000	6,600,000
千葉県	国際医療福祉大学(成田)	成田保健医療学部 医学検査学科	300,000	5,600,000	5,900,000
東京都	北里大学	医療衛生学部 医療検査学科	300,000	6,750,000	7,050,000
	杏林大学	保健学部 臨床検査技術学科	250,000	6,600,000	6,850,000
	帝京大学	医療技術学部 臨床検査学科	250,000	6,300,000	6,550,000
	東京工科大学	医療保健学部 臨床検査学科	340,000	6,438,000	6,778,000
	文京学院大学	保健医療技術学部 臨床検査学科	280,000	6,332,000	6,612,000
神奈川県	麻布大学	生命・環境科学部 臨床検査技術学科	250,000	6,150,000	6,400,000
新潟県	新潟医療福祉大学	医療技術学部 臨床技術学科	350,000	6,000,000	6,350,000
福井県	北陸大学	医療保健学部 医療技術学科	200,000	6,000,000	6,200,000
岐阜県	岐阜医療科学大学	保健科学部 臨床検査学科	250,000	5,800,000	6,050,000
愛知県	中部大学	生命健康科学部 生命医科学科	280,000	6,760,000	7,040,000
	藤田保健衛生大学	医療科学部 臨床検査学科	300,000	5,850,000	6,150,000
三重県	鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部 医療栄養学科 臨床検査コース	200,000	5,500,000	5,700,000
滋賀県	長浜バイオ大学	バイオサイエンス学部 バイオサイエンス学科 臨床検査プログラム	250,000	5,720,000	5,970,000
大阪府	関西医療大学	保健医療学部 臨床検査学科	300,000	6,000,000	6,300,000
	森ノ宮医療大学	保健医療学部 臨床検査学科	250,000	6,320,000	6,570,000
兵庫県	神戸学院大学	栄養学部 栄養学科 生命栄養学専攻	400,000	5,600,000	6,000,000
	神戸常盤大学	保健科学部 医療検査学科	300,000	5,600,000	5,900,000
奈良県	天理医療大学	医療学部 臨床検査学科	300,000	6,360,000	6,660,000
岡山県	川崎医療福祉大学	医療技術学部 臨床検査学科	300,000	5,600,000	5,900,000
	倉敷芸術科学大学	生命科学部 生命医科学科	300,000	5,984,000	6,284,000
広島県	広島国際大学	保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻	250,000	6,410,000	6,660,000
福岡県	国際医療福祉大学(福岡)	福岡保健医療学部 医学検査学科	300,000	5,600,000	5,900,000
	純真学園大学	保健医療学部 検査科学科	200,000	5,600,000	5,800,000
熊本県	熊本保健科学大学	保健科学部 医学検査学科	200,000	5,200,000	5,400,000
宮崎県	九州保健福祉大学	生命医科学部 生命医科学科	300,000	5,984,000	6,284,000
平均			274,138	6,031,310	6,305,448

各大学ホームページによる

* 授業料等には、授業料の他、実験実習費・施設設備費・その他諸費を含む。但し、教科書代金、委託徴収金(学生会費・後援会費等)は含まない。

2. 本学

所在地	大学名	学部・学科専攻名	入学金	授業料等 (4年間)	納付金総額 (4年間)
北海道	北海道医療大学	医療技術学部 臨床検査学科	300,000	5,500,000	5,800,000

* 初年度納入金：本学 1,450,000円、全国平均：1,751,379円(各大学のホームページ記事に基づき算出)

本学志望の理由(新入生アンケートから 複数回答可)

資料8

2017年度

	薬学部		歯学部		看護福祉学部				心理科学部		リハビリテーション科学部						合計	
	薬学科		歯学科		看護学科		臨床福祉学科		臨床心理学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚療法学科		人数	%
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
1. 医療系総合大学である	89	73.6	40	72.7	110	90.9	39	75.0	49	75.4	79	83.2	49	83.1	54	84.4	509	80.5
2. 教育理念			1	1.8	1	0.8	5	9.6	3	4.6	4	4.2	5	8.5	2	3.1	21	3.3
3. 教育内容	11	9.1	5	9.1	13	10.7	5	9.6	12	18.5	7	7.4	13	22.0	11	17.2	77	12.2
4. 学生生活	6	5.0			3	2.5	2	3.8			1	1.1			3	4.7	15	2.4
4-1 全国各地からの友人ができそう	5	4.1	7	12.7	8	6.6	2	3.8	6	9.2	5	5.3	3	5.1	3	4.7	39	6.2
4-2 他学部・学科の友人ができそう	23	19.0	7	12.7	47	38.8	9	17.3	10	15.4	17	17.9	14	23.7	22	34.4	149	23.6
4-3 奨学金等各種支援制度	7	5.8	8	14.5	6	5.0	6	11.5			5	5.3	4	6.8	6	9.4	42	6.6
4-4 その他の学生生活	1	0.8	5	9.1	1	0.8	1	1.9					1	1.7			9	1.4
5. クラブ活動	7	5.8			20	16.5	2	3.8	7	10.8	10	10.5	4	6.8	10	15.6	60	9.5
6. 国家試験成績	44	36.4	3	5.5	42	34.7	21	40.4	7	10.8	21	22.1	15	25.4	42	65.6	195	30.9
7. 就職状況	15	12.4	3	5.5	24	19.8	5	9.6	7	10.8	14	14.7	11	18.6	25	39.1	104	16.5
8. キャンパス環境	6	5.0			5	4.1	4	7.7			9	9.5	5	8.5	5	7.8	34	5.4
8-1 周辺環境の雰囲気がよい	13	10.7	4	7.3	11	9.1	5	9.6	7	10.8	15	15.8	13	22.0	8	12.5	76	12.0
8-2 最新の実習室が完備されている	12	9.9	10	18.2	13	10.7	2	3.8	5	7.7	25	26.3	27	45.8	19	29.7	113	17.9
8-3 附属病院がある	13	10.7	3	5.5	22	18.2	5	9.6	11	16.9	17	17.9	19	32.2	11	17.2	101	16.0
8-4 その他のキャンパス環境	2	1.7	1	1.8					1	1.5							4	0.6
9. たくさんの教育・研究プロジェクトに採択されている	1	0.8	1	1.8	1	0.8	1	1.9									4	0.6
10. その他	1	0.8					1	1.9			1	1.1					3	0.5
回答者数	121	—	55	—	121	—	52	—	65	—	95	—	59	—	64	—	632	—
(入学者数)	177	—	57	—	128	—	53	—	69	—	95	—	59	—	64	—	702	—

2016年度

	薬学部		歯学部		看護福祉学部				心理科学部		リハビリテーション科学部						合計	
	薬学科		歯学科		看護学科		臨床福祉学科		臨床心理学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚療法学科		人数	%
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
1. 医療系総合大学である	127	73.4	50	61.7	93	87.7	24	75.0	45	65.2	78	88.6	40	93.0	52	76.5	509	77.1
2. 教育理念	7		4	4.9	11	10.4			5	7.2	4	4.5	1	2.3	6	8.8	38	5.8
3. 教育内容	21	12.1	16	19.8	17	16.0	9	28.1	20	29.0	6	6.8	3	7.0	9	13.2	101	15.3
4. 学生生活	1	0.6			5	4.7	2	6.3	2	2.9			2	4.7	2	2.9	14	2.1
4-1 全国各地からの友人ができそう	13	7.5	15	18.5	4	3.8	2	6.3	4	5.8	5	5.7	1	2.3	7	10.3	51	7.7
4-2 他学部・学科の友人ができそう	35	20.2	11	13.6	42	39.6	5	15.6	14	20.3	19	21.6	11	25.6	14	20.6	151	22.9
4-3 奨学金等各種支援制度	2	1.2	9	11.1	4	3.8	2	6.3	3	4.3					2	2.9	22	3.3
4-4 その他の学生生活	3	1.7	1	1.2	1	0.9	1	3.1	2	2.9			1	2.3			9	1.4
5. クラブ活動	11	6.4	4	4.9	18	17.0	4	12.5	6	8.7	12	13.6	2	4.7	8	11.8	65	9.8
6. 国家試験成績	100	57.8	11	13.6	42	39.6	12	37.5	10	14.5	9	10.2	3	7.0	26	38.2	213	32.3
7. 就職状況	29	16.8	2	2.5	26	24.5	2	6.3	12	17.4	7	8.0	4	9.3	18	26.5	100	15.2
8. キャンパス環境	4	2.3	5	6.2	9	8.5	1	3.1	6	8.7	5	5.7	1	2.3	6	8.8	37	5.6
8-1 周辺環境の雰囲気がよい	14	8.1	12	14.8	12	11.3	4	12.5	8	11.6	9	10.2	5	11.6	9	13.2	73	11.1
8-2 最新の実習室が完備されている	14	8.1	3	3.7	12	11.3	3	9.4	9	13.0	20	22.7	7	16.3	9	13.2	77	11.7
8-3 附属病院がある	21	12.1	5	6.2	16	15.1	3	9.4	10	14.5	23	26.1	7	16.3	13	19.1	98	14.8
8-4 その他のキャンパス環境					2	1.9					1	1.1			1	1.5	4	0.6
9. たくさんの教育・研究プロジェクトに採択されている	2	1.2	1	1.2	2	1.9			3	4.3	1	1.1					9	1.4
10. その他	3	1.7	1	1.2			1	3.1	2	2.9			1	2.3	1	1.5	9	1.4
回答者数	173	—	81	—	106	—	32	—	69	—	88	—	43	—	68	—	660	—
(入学者数)	175	—	84	—	116	—	44	—	70	—	89	—	44	—	68	—	690	—

都道府県別人口10万人対比および一医療施設当たりの臨床検査技師数

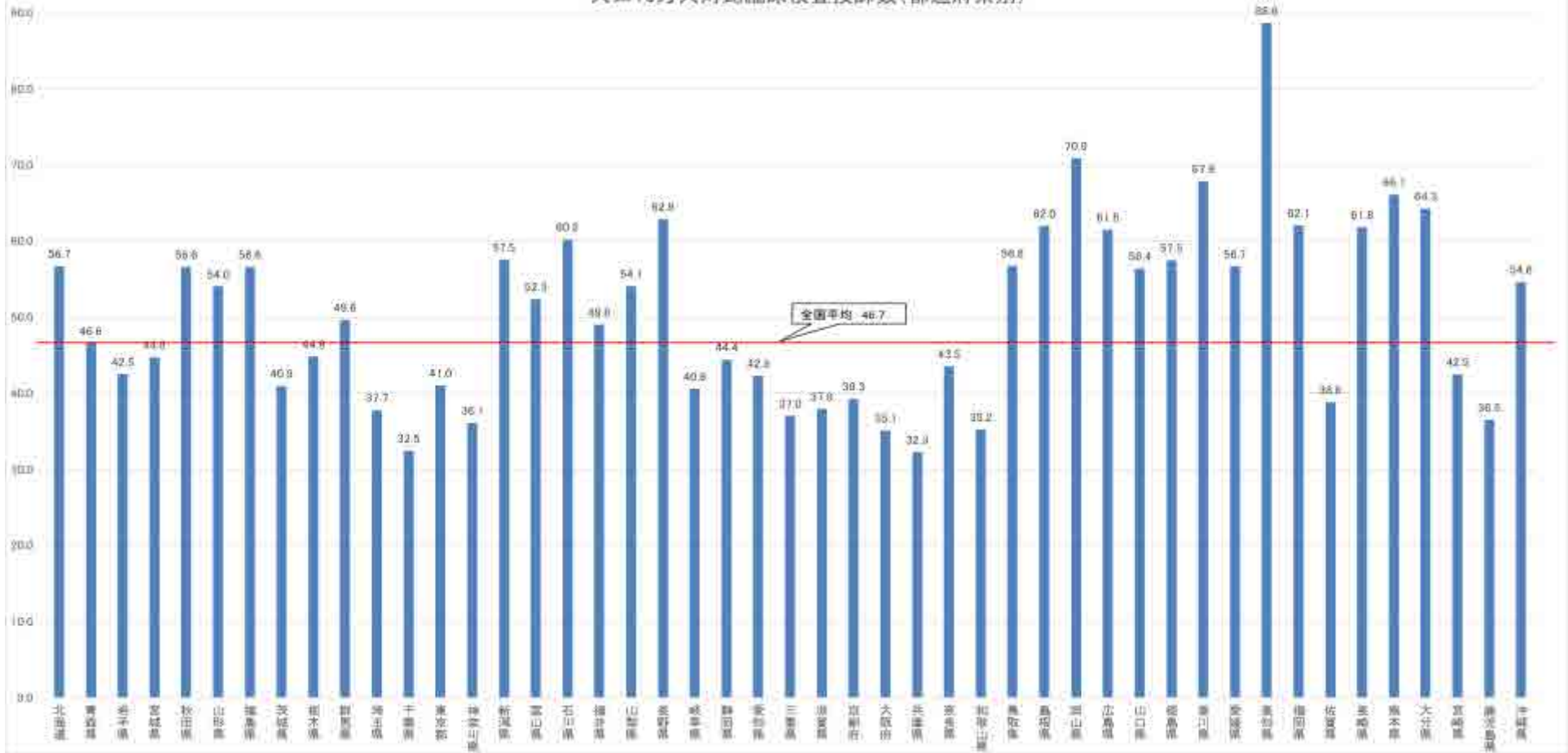
資料9

	人口		入金会員		人口10万人対比(人)	病院施設数	一医療施設当たりの検査技師数	
	人	%	人	%				
北海道	5,400,120	4.2	3,062	5.2	56.7	563	5.4	
東北	青森県	1,321,083	1.0	615	1.0	46.6	96	6.4
	岩手県	1,284,426	1.0	546	0.9	42.5	93	5.9
	宮城県	2,327,700	1.8	1,042	1.8	44.8	140	7.4
	秋田県	1,036,982	0.8	587	1.0	56.6	69	8.5
	山形県	1,130,724	0.9	611	1.0	54.0	68	9.0
	福島県	1,935,456	1.5	1,095	1.8	56.6	128	8.6
	計	9,036,371	7.1	4,496	7.6	49.8	594	7.6
	関東	茨城県	2,918,710	2.3	1,195	2.0	40.9	178
栃木県		1,980,077	1.6	888	1.5	44.8	107	8.3
群馬県		1,976,029	1.6	981	1.7	49.6	130	7.5
埼玉県		7,238,933	5.7	2,732	4.6	37.7	343	8.0
千葉県		6,197,218	4.9	2,013	3.4	32.5	287	7.0
東京都		13,389,725	10.5	5,493	9.2	41.0	649	8.5
神奈川県		9,096,022	7.2	3,287	5.5	36.1	341	9.6
計		42,796,714	33.7	16,589	27.9	38.8	2,035	8.2
中部	新潟県	2,312,973	1.8	1,331	2.2	57.5	131	10.2
	富山県	1,069,796	0.8	560	0.9	52.3	105	5.3
	石川県	1,155,720	0.9	696	1.2	60.2	94	7.4
	福井県	789,604	0.6	387	0.7	49.0	68	5.7
	山梨県	841,224	0.7	455	0.8	54.1	60	7.6
	長野県	2,109,418	1.7	1,327	2.2	62.9	130	10.2
	岐阜県	2,041,207	1.6	829	1.4	40.6	102	8.1
	静岡県	3,705,352	2.9	1,646	2.8	44.4	181	9.1
愛知県	7,455,351	5.9	3,154	5.3	42.3	324	9.7	
計	21,480,645	16.9	10,385	17.5	48.3	1,195	8.7	

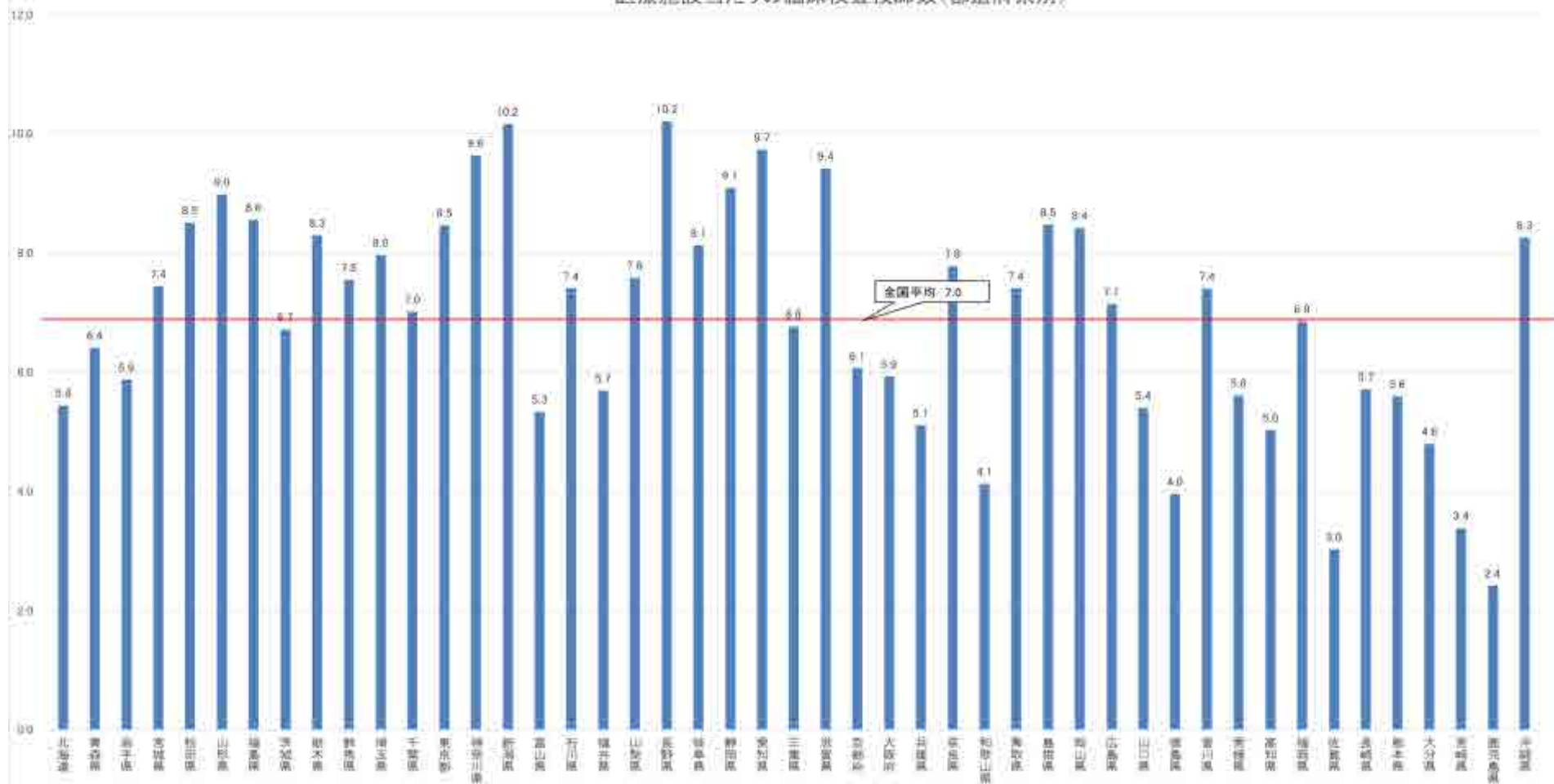
	人口		入金会員		人口10万人対比(人)	病院施設数	一医療施設当たりの検査技師数	
	人	%	人	%				
近畿	三重県	1,825,377	1.4	676	1.1	37.0	100	6.8
	滋賀県	1,415,515	1.1	537	0.9	37.9	57	9.4
	京都府	2,609,693	2.1	1,025	1.7	39.3	169	6.1
	大阪府	8,835,525	7.0	3,100	5.2	35.1	523	5.9
	兵庫県	5,541,074	4.4	1,787	3.0	32.3	350	5.1
	奈良県	1,375,783	1.1	599	1.0	43.5	77	7.8
	和歌山県	971,165	0.8	342	0.6	35.2	83	4.1
	計	22,574,132	17.8	8,066	13.6	35.7	1,359	5.9
中国	鳥取県	573,940	0.5	326	0.5	56.8	44	7.4
	島根県	696,516	0.5	432	0.7	62.0	51	8.5
	岡山県	1,924,147	1.5	1,364	2.3	70.9	162	8.4
	広島県	2,833,320	2.2	1,743	2.9	61.5	244	7.1
	山口県	1,408,178	1.1	794	1.3	56.4	147	5.4
	計	7,436,101	5.9	4,659	7.8	62.7	648	7.2
四国	徳島県	763,864	0.6	439	0.7	57.5	111	4.0
	香川県	981,082	0.8	666	1.1	67.9	90	7.4
	愛媛県	1,395,483	1.1	791	1.3	56.7	141	5.6
	高知県	737,737	0.6	654	1.1	88.6	130	5.0
計	3,878,166	3.1	2,550	4.3	65.8	472	5.4	
九州・沖縄	福岡県	5,091,106	4.0	3,160	5.3	62.1	461	6.9
	佐賀県	835,040	0.7	324	0.5	38.8	107	3.0
	長崎県	1,386,468	1.1	857	1.4	61.8	150	5.7
	熊本県	1,794,091	1.4	1,186	2.0	66.1	212	5.6
	大分県	1,171,061	0.9	753	1.3	64.3	157	4.8
	宮崎県	1,114,109	0.9	473	0.8	42.5	140	3.4
	鹿児島県	1,667,830	1.3	609	1.0	36.5	252	2.4
	沖縄県	1,420,865	9.8	776	9.5	54.6	94	8.3
計	14,480,570	11.4	8,138	13.7	56.2	1,573	5.2	
その他(日臨技)	—	—	1,443	2.4	—	—	—	
合計	127,082,819	—	59,388	—	46.7	8,439	7.0	

- ・都道府県別人口は、総務省統計局「人口推計」による(外国人を含む総人口)(2014年10月1日現在)
- ・都道府県別臨床検査技師数は、日本臨床衛生検査技師会の入金会員数(平成28年(2016)9.30)現在)
- ・病院施設数は、厚生労働省「医療施設動態調査」による(平成29年(2017)1.末)現在)

人口10万人对比臨床検査技師数(都道府県別)



一医療施設当たりの臨床検査技師数(都道府県別)



北海道内市町村別臨床検査技師数(振興局別)(人口10万人対比)

		人口		技師数		10万人対比
		人	%	人	%	
石狩振興局	札幌市	1,936,016	35.6	1,460	49.9	75.4
	江別市	120,225	2.2	20	0.7	16.6
	千歳市	95,532	1.8	10	0.3	10.5
	恵庭市	68,956	1.3	6	0.2	8.7
	北広島市	59,629	1.1	3	0.1	5.0
	石狩市	59,362	1.1	3	0.1	5.1
	当別町	17,251	0.3	3	0.1	17.4
	新篠津村	3,333	0.1	1	0.0	30.0
	小計	2,360,304	43.5	1,506	51.5	63.8
	空知総合振興局	夕張市	9,440	0.2	0	0.0
岩見沢市		86,054	1.6	39	1.3	45.3
美唄市		23,984	0.4	11	0.4	45.9
芦別市		15,404	0.3	7	0.2	45.4
赤平市		11,383	0.2	6	0.2	52.7
三笠市		9,519	0.2	6	0.2	63.0
滝川市		41,924	0.8	19	0.6	45.3
砂川市		18,112	0.3	27	0.9	149.1
歌志内市		3,833	0.1	1	0.0	26.1
深川市		22,278	0.4	13	0.4	58.4
南幌町		8,155	0.2	1	0.0	12.3
奈井江町		5,850	0.1	1	0.0	17.1
上砂川町		3,498	0.1	0	0.0	0.0
由仁町		5,624	0.1	0	0.0	0.0
長沼町		11,489	0.2	3	0.1	26.1
栗山町		12,689	0.2	2	0.1	15.8
月形町		3,577	0.1	0	0.0	0.0
浦臼町		2,078	0.0	0	0.0	0.0
新十津川町		6,929	0.1	0	0.0	0.0
妹背牛町		3,241	0.1	0	0.0	0.0
秩父別町		2,614	0.0	0	0.0	0.0
雨竜町		2,682	0.0	0	0.0	0.0
北竜町		2,041	0.0	0	0.0	0.0
沼田町		3,334	0.1	1	0.0	30.0
小計	315,732	5.8	137	4.7	43.4	
後志総合振興局	小樽市	125,028	2.3	68	2.3	54.4
	島牧村	1,631	0.0	0	0.0	0.0
	寿都町	3,258	0.1	0	0.0	0.0
	黒松内町	3,097	0.1	2	0.1	64.6
	蘭越町	5,030	0.1	0	0.0	0.0
	二七町	4,983	0.1	0	0.0	0.0
	真狩村	2,156	0.0	0	0.0	0.0
	留寿都村	1,886	0.0	0	0.0	0.0
	喜茂別町	2,401	0.0	0	0.0	0.0
	京極町	3,215	0.1	0	0.0	0.0
	倶知安町	15,825	0.3	8	0.3	50.6
	共和町	6,352	0.1	0	0.0	0.0
	岩内町	13,770	0.3	6	0.2	43.6
	泊村	1,765	0.0	0	0.0	0.0
	神恵内村	946	0.0	0	0.0	0.0
	積丹町	2,334	0.0	0	0.0	0.0
	古平町	3,431	0.1	0	0.0	0.0
	仁木町	3,518	0.1	0	0.0	0.0
	余市町	20,152	0.4	0	0.0	0.0
	赤井川村	1,139	0.0	0	0.0	0.0
小計	221,917	4.1	84	2.9	37.9	
胆振総合振興局	室蘭市	89,799	1.7	87	3.0	96.9
	苫小牧市	174,064	3.2	92	3.1	52.9
	登別市	50,571	0.9	8	0.3	15.8
	伊達市	35,802	0.7	12	0.4	33.5
	豊浦町	4,306	0.1	1	0.0	23.2
	壮瞥町	2,705	0.0	1	0.0	37.0
	白老町	18,378	0.3	1	0.0	5.4
	厚真町	4,711	0.1	0	0.0	0.0
	洞爺湖町	9,508	0.2	6	0.2	63.1
	安平町	8,555	0.2	0	0.0	0.0
	むかわ町	8,997	0.2	1	0.0	11.1
小計	407,396	7.5	209	7.1	51.3	

		人口		技師数		10万人対比	
		人	%	人	%		
日高振興局	日高町	12,913	0.2	2	0.1	15.5	
	平取町	5,416	0.1	1	0.0	18.5	
	新冠町	5,735	0.1	1	0.0	17.4	
	浦河町	13,289	0.2	7	0.2	52.7	
	様似町	4,703	0.1	0	0.0	0.0	
	えりも町	5,153	0.1	1	0.0	19.4	
	新ひだか町	24,295	0.4	11	0.4	45.3	
	小計	71,504	1.3	23	0.8	32.2	
	渡島総合振興局	函館市	271,479	5.0	191	6.5	70.4
		北斗市	47,967	0.9	0	0.0	0.0
松前町		8,251	0.2	4	0.1	48.5	
福島町		4,669	0.1	0	0.0	0.0	
知内町		4,797	0.1	0	0.0	0.0	
木古内町		4,683	0.1	3	0.1	64.1	
七飯町		28,785	0.5	2	0.1	6.9	
鹿部町		4,237	0.1	0	0.0	0.0	
森町		17,004	0.3	2	0.1	11.8	
八雲町		17,852	0.3	16	0.5	89.6	
長万部町		5,972	0.1	2	0.1	33.5	
小計		415,696	7.7	220	7.5	52.9	
檜山振興局	江差町	8,466	0.2	4	0.1	47.2	
	上ノ国町	5,443	0.1	0	0.0	0.0	
	厚沢部町	4,258	0.1	1	0.0	23.5	
	乙部町	4,059	0.1	1	0.0	24.6	
	奥尻町	2,939	0.1	1	0.0	34.0	
	今金町	5,730	0.1	3	0.1	52.4	
	せたな町	8,845	0.2	4	0.1	45.2	
	小計	39,740	0.7	14	0.5	35.2	
	上川総合振興局	旭川市	347,207	6.4	230	7.9	66.2
		士別市	20,676	0.4	9	0.3	43.5
名寄市		29,099	0.5	19	0.6	65.3	
富良野市		23,324	0.4	12	0.4	51.4	
鷹栖町		7,264	0.1	0	0.0	0.0	
東神楽町		10,237	0.2	0	0.0	0.0	
当麻町		6,834	0.1	0	0.0	0.0	
比布町		3,924	0.1	0	0.0	0.0	
愛別町		3,106	0.1	0	0.0	0.0	
上川町		4,012	0.1	1	0.0	24.9	
東川町		7,994	0.1	0	0.0	0.0	
美瑛町		10,593	0.2	2	0.1	18.9	
上富良野町		11,263	0.2	2	0.1	17.8	
中富良野町		5,272	0.1	1	0.0	19.0	
南富良野町		2,650	0.0	0	0.0	0.0	
占冠村		1,218	0.0	0	0.0	0.0	
和寒町		3,699	0.1	2	0.1	54.1	
剣淵町		3,359	0.1	0	0.0	0.0	
下川町		3,494	0.1	2	0.1	57.2	
美深町		4,727	0.1	0	0.0	0.0	
音威子府村	800	0.0	0	0.0	0.0		
中川町	1,708	0.0	0	0.0	0.0		
幌加内町	1,620	0.0	0	0.0	0.0		
小計	514,080	9.5	280	9.6	54.5		
留萌振興局	留萌市	22,957	0.4	15	0.5	65.3	
	増毛町	4,893	0.1	0	0.0	0.0	
	小平町	3,394	0.1	0	0.0	0.0	
	苫前町	3,390	0.1	0	0.0	0.0	
	羽幌町	7,552	0.1	3	0.1	39.7	
	初山別村	1,283	0.0	0	0.0	0.0	
	遠別町	2,901	0.1	1	0.0	34.5	
天塩町	3,324	0.1	1	0.0	30.1		
小計	49,694	0.9	20	0.7	40.2		
宗谷総合振興局	稚内市	36,827	0.7	19	0.6	51.6	
	猿払村	2,783	0.1	1	0.0	35.9	
	浜頓別町	3,933	0.1	1	0.0	25.4	
	中頓別町	1,863	0.0	1	0.0	53.7	
	枝幸町	8,722	0.2	3	0.1	34.4	
	豊富町	4,172	0.1	1	0.0	24.0	
	礼文町	2,726	0.1	0	0.0	0.0	
	利尻町	2,236	0.0	1	0.0	44.7	
	利尻富士町	2,749	0.1	0	0.0	0.0	
	幌延町	2,501	0.0	0	0.0	0.0	
小計	68,512	1.3	27	0.9	39.4		

北海道内市町村別臨床検査技師数(振興局別)(人口10万人対比)


		人口		技師数		10万人 対比
		人	%	人	%	
オホーツク総合振興局	北見市	122,198	2.2	65	2.2	53.2
	網走市	37,740	0.7	22	0.8	58.3
	紋別市	23,644	0.4	5	0.2	21.1
	美幌町	20,851	0.4	5	0.2	24.0
	津別町	5,231	0.1	1	0.0	19.1
	斜里町	12,186	0.2	3	0.1	24.6
	清里町	4,380	0.1	0	0.0	0.0
	小清水町	5,227	0.1	3	0.1	57.4
	訓子府町	5,323	0.1	0	0.0	0.0
	置戸町	3,138	0.1	4	0.1	127.5
	佐呂間町	5,644	0.1	0	0.0	0.0
	遠軽町	21,432	0.4	10	0.3	46.7
	湧別町	9,535	0.2	2	0.1	21.0
	滝上町	2,847	0.1	2	0.1	70.2
	興部町	4,106	0.1	1	0.0	24.4
	西興部村	1,147	0.0	0	0.0	0.0
	雄武町	4,700	0.1	0	0.0	0.0
	大空町	7,708	0.1	1	0.0	13.0
小計	297,037	5.5	124	4.2	41.7	
十勝総合振興局	帯広市	168,753	3.1	112	3.8	66.4
	音更町	45,391	0.8	6	0.2	13.2
	士幌町	6,395	0.1	0	0.0	0.0
	上士幌町	4,924	0.1	1	0.0	20.3
	鹿追町	5,603	0.1	1	0.0	17.8
	新得町	6,455	0.1	0	0.0	0.0
	清水町	9,896	0.2	2	0.1	20.2
	芽室町	19,218	0.4	3	0.1	15.6
	中札内村	4,080	0.1	0	0.0	0.0
	更別村	3,334	0.1	0	0.0	0.0
	大樹町	5,845	0.1	1	0.0	17.1
	広尾町	7,468	0.1	3	0.1	40.2
	幕別町	27,660	0.5	0	0.0	0.0
	池田町	7,231	0.1	3	0.1	41.5
	豊頃町	3,359	0.1	0	0.0	0.0
	本別町	7,733	0.1	3	0.1	38.8
	足寄町	7,376	0.1	2	0.1	27.1
	陸別町	2,596	0.0	0	0.0	0.0
浦幌町	5,257	0.1	0	0.0	0.0	
小計	348,574	6.4	137	4.7	39.3	
釧路総合振興局	釧路市	178,394	3.3	122	4.2	68.4
	釧路町	20,329	0.4	0	0.0	0.0
	厚岸町	10,173	0.2	3	0.1	29.5
	浜中町	6,282	0.1	0	0.0	0.0
	標茶町	8,007	0.1	1	0.0	12.5
	弟子屈町	7,877	0.1	2	0.1	25.4
	鶴居村	2,532	0.0	0	0.0	0.0
	白糠町	8,638	0.2	0	0.0	0.0
小計	242,232	4.5	128	4.4	52.8	
根室振興局	根室市	28,050	0.5	5	0.2	17.8
	別海町	15,847	0.3	3	0.1	18.9
	中標津町	24,205	0.4	7	0.2	28.9
	標津町	5,460	0.1	2	0.1	36.6
	羅臼町	5,678	0.1	0	0.0	0.0
小計	79,240	1.5	17	0.6	21.5	
合計	5,431,658	—	2,926	—	53.9	

市町村別人口

総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(2015.1.1現在)による。(データでみる県勢 公益財団法人矢野恒太記念会編集・出版より。)

臨床検査技師数

一般財団法人北海道臨床衛生検査技師会会員名簿による。(2016.10現在の会員名簿から市町村別氏名を拾い出してカウント。)

 : 臨床検査技師がゼロの市町村 (179市町村中72市町村 40.2%)

薬学部薬学科

種別	地域	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		5年間平均	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
病院	道内	44	38.3	39	37.9	50	50.0	51	43.2	62	45.6	49.2	43.0
	道外	11	9.6	7	6.8	5	5.0	6	5.1	5	3.7	6.8	5.9
	計	55	47.8	46	44.7	55	55.0	57	48.3	67	49.3	56.0	49.0
調剤薬局	道内	35	30.4	34	33.0	22	22.0	36	30.5	39	28.7	33.2	29.0
	道外	15	13.0	7	6.8	11	11.0	7	5.9	7	5.1	9.4	8.2
	計	50	43.5	41	39.8	33	33.0	43	36.4	46	33.8	42.6	37.2
一般薬局	道内	5	4.3	9	8.7	4	4.0	8	6.8	14	10.3	8.0	7.0
	道外	2	1.7	2	1.9	2	2.0	1	0.8	1	0.7	1.6	1.4
	計	7	6.1	11	10.7	6	6.0	9	7.6	15	11.0	9.6	8.4
製薬	道内					1	1.0			2	1.5	0.8	0.7
	道外	1	0.9	1	1.0			2	1.7	2	1.5	1.2	1.0
	計	1	0.9	1	1.0	1	1.0	3	2.5	4	2.9	2.0	1.7
医薬品卸	道内			1	1.0	1	1.0			1	0.7	0.8	0.7
	道外												
	計			1	1.0	1	1.0	1	0.8	1	0.7	0.8	0.7
行政	道内							3	2.5	1	0.7	0.8	0.7
	道外	1	0.9							1	0.7	0.4	0.3
	計	1	0.9					3	2.5	2	1.5	1.2	1.0
進学	道内	1	0.9	3	2.9	3	3.0	1	0.8	1	0.7	1.8	1.6
	道外					1	1.0	1	0.8			0.4	0.3
	計	1	0.9	3	2.9	4	4.0	2	1.7	1	0.7	2.2	1.9
合計	道内	85	73.9	86	83.5	81	81.0	101	85.6	120	88.2	94.6	82.7
	道外	30	26.1	17	16.5	19	19.0	17	14.4	16	11.8	19.8	17.3
	計	115	—	103	—	100	—	118	—	136	—	114.4	—

リハビリテーション科学部理学療法学科

種別	地域	2016年度	
		人	%
病院	道内	59	80.8
	道外	9	12.3
	計	68	93.2
福祉施設	道内	3	4.1
	道外	1	1.4
	計	4	5.5
企業	道内	1	1.4
	道外		
	計	1	1.4
合計	道内	63	86.3
	道外	10	13.7
	計	73	—

看護福祉学部看護学科

種別	地域	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		5年間平均	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
病院看護師	道内	80	76.2	80	76.2	78	69.0	90	78.3	84	82.4	82.4	76.3
	道外	16	15.2	13	12.4	25	22.1	22	19.1	13	12.7	17.8	16.5
	計	96	91.4	93	88.6	103	91.2	112	97.4	97	95.1	100.2	92.8
その他看護師	道内			1	1.0							0.2	0.2
	道外												
	計			1	1.0							0.2	0.2
市町村保健師	道内	1	1.0	4	3.8	4	3.5	2	1.7	1	1.0	2.4	2.2
	道外	1	1.0									0.2	0.2
	計	2	1.9	4	3.8	4	3.5	2	1.7	1	1.0	2.6	2.4
その他保健師	道内	1	1.0					1	0.9	1	1.0	0.6	0.6
	道外												
	計	1	1.0					1	0.9	1	1.0	0.6	0.6
大学院進学	道内	6	5.7	5	4.8	5	4.4			1	1.0	3.4	3.1
	道外					1	0.9					0.2	0.2
	計	6	5.7	5	4.8	6	5.3			1	1.0	3.6	3.3
その他進学	道内			2	1.9					1	1.0	0.6	0.6
	道外									1	1.0	0.2	0.2
	計			2	1.9					2	2.0	0.8	0.7
合計	道内	88	83.8	92	87.6	87	77.0	93	80.9	88	86.3	89.6	83.0
	道外	17	16.2	13	12.4	26	23.0	22	19.1	14	13.7	18.4	17.0
	計	105	—	105	—	113	—	115	—	102	—	108.0	—

リハビリテーション科学部作業療法学科

種別	地域	2016年度	
		人	%
病院	道内	34	85.0
	道外	5	12.5
	計	39	97.5
福祉施設	道内	1	2.5
	道外		
	計	1	2.5
合計	道内	35	87.5
	道外	5	12.5
	計	40	—

リハビリテーション科学部 理学療法学科と作業療法学科は、2016年に一期生が卒業のため一期生の実績のみ

看護福祉学部臨床福祉学科

種別	地域	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		5年間平均	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
病院	道内	8	19.0	15	26.8	17	27.4	14	20.0	31	31.3	17.0	25.8
	道外	1	2.4			1	1.6	2	2.9			0.8	1.2
	計	9	21.4	15	26.8	18	29.0	16	22.9	31	31.3	17.8	27.1
社会福祉施設	道内	27	64.3	25	44.6	29	46.8	31	44.3	34	34.3	29.2	44.4
	道外			2	3.6	2	3.2	5	7.1	1	1.0	2.0	3.0
	計	27	64.3	27	48.2	31	50.0	36	51.4	35	35.4	31.2	47.4
介護老人保健施設	道内	1	2.4			2	3.2			3	3.0	1.2	1.8
	道外												
	計	1	2.4			2	3.2			3	3.0	1.2	1.8
社会福祉協議会	道内	1	2.4	1	1.8			2	2.9	2	2.0	1.2	1.8
	道外									1	1.0	0.2	0.3
	計	1	2.4	1	1.8			2	2.9	3	3.0	1.4	2.1
行政	道内			1	1.8	4	6.5	8	11.4	7	7.1	4.0	6.1
	道外												
	計			1	1.8	4	6.5	8	11.4	7	7.1	4.0	6.1
企業	道内	1	2.4	3	5.4	4	6.5	4	5.7	11	11.1	4.6	7.0
	道外			1	1.8			1	1.4	2	2.0	0.8	1.2
	計	1	2.4	4	7.1	4	6.5	5	7.1	13	13.1	5.4	8.2
教員	道内	3	7.1	6	10.7	3	4.8	2	2.9	5	5.1	3.8	5.8
	道外												
	計	3	7.1	6	10.7	3	4.8	2	2.9	5	5.1	3.8	5.8
大学院進学	道内			2	3.6					2	2.0	0.8	1.2
	道外							1	1.4			0.2	0.3
	計			2	3.6			1	1.4	2	2.0	1.0	1.5
合計	道内	41	97.6	53	94.6	59	95.2	61	87.1	95	96.0	61.8	93.9
	道外	1	2.4	3	5.4	3	4.8	9	12.9	4	4.0	4.0	6.1
	計	42	—	56	—	62	—	70	—	99	—	65.8	—

心理科学部臨床心理学科

種別	地域	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		5年間平均	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
病院	道内	1	2.4	2	4.5	2	3.7			3	5.5	1.6	3.2
	道外												
	計	1	2.4	2	4.5	2	3.7			3	5.5	1.6	3.2
社会福祉施設	道内	7	17.1	5	11.4	8	14.8	8	14.5	6	10.9	6.8	13.7
	道外	1	2.4	1	2.3							0.4	0.8
	計	8	19.5	6	13.6	8	14.8	8	14.5	6	10.9	7.2	14.5
企業	道内	21	51.2	15	34.1	22	40.7	26	47.3	30	54.5	22.8	45.8
	道外			8	18.2	8	14.8	5	9.1	1	1.8	4.4	8.8
	計	21	51.2	23	52.3	30	55.6	31	56.4	31	56.4	27.2	54.6
行政	道内	3	7.3	4	9.1	2	3.7	4	7.3	4	7.3	3.4	6.8
	道外			1	2.3	2	3.7	2	3.6	1	1.8	1.2	2.4
	計	3	7.3	5	11.4	4	7.4	6	10.9	5	9.1	4.6	9.2
大学院進学	道内	6	14.6	8	18.2	10	18.5	10	18.2	9	16.4	8.6	17.3
	道外	2	4.9							1	1.8	0.6	1.2
	計	8	19.5	8	18.2	10	18.5	10	18.2	10	18.2	9.2	18.5
合計	道内	38	92.7	34	77.3	44	81.5	48	87.3	52	94.5	43.2	86.7
	道外	3	7.3	10	22.7	10	18.5	7	12.7	3	5.5	6.6	13.3
	計	41	—	44	—	54	—	55	—	55	—	49.8	—

心理科学部言語聴覚療法学科(2016年以降はリハビリテーション科学部に移行)

薬学部薬学科

地域	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		5年間平均		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
道内	石狩	61	53.0	67	65.0	66	66.0	72	61.0	95	69.9	72.2	63.1
	空知	3	2.6	1	1.0	2	2.0			2	1.5	2.0	1.7
	後志	4	3.5							2	1.5	3.0	2.6
	胆振	2	1.7	7	6.8	2	2.0	4	3.4	4	2.9	3.8	3.3
	日高												
	渡島	1	0.9	1	1.0	2	2.0	3	2.5	2	1.5	1.8	1.6
	檜山												
	上川	10	8.7	4	3.9	6	6.0	13	11.0	6	4.4	7.8	6.8
	留萌												
	宗谷							2	1.7	2	1.5	2.0	1.7
	オホーツク			1	1.0			1	0.8	3	2.2	1.7	1.5
	十勝	4	3.5	1	1.0	2	2.0	3	2.5	3	2.2	2.6	2.3
	釧路			4	3.9	1	1.0	3	2.5	1	0.7	2.3	2.0
根室													
(小計)	85	73.9	86	83.5	81	81.0	101	85.6	120	88.2	94.6	82.7	
道外	30	26.1	17	16.5	19	19.0	17	14.4	16	11.8	19.8	17.3	
計	115	-	103	-	100	-	118	-	136	-	114.4	-	

リハビリテーション科学部理学療法学科

地域	2016年度		
	人	%	
道内	石狩	47	64.4
	空知		
	後志	2	2.7
	胆振		
	日高		
	渡島	3	4.1
	檜山	2	2.7
	上川	5	6.8
	留萌		
	宗谷		
	オホーツク		
	十勝	1	1.4
	釧路	3	4.1
根室			
(小計)	63	86.3	
道外	10	13.7	
計	73	100.0	

看護福祉学部看護学科

地域	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		5年間平均		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
道内	石狩	80	76.2	87	82.9	77	68.1	85	73.9	84	82.4	82.6	76.5
	空知												
	後志	2	1.9	1	1.0	1	0.9					1.3	1.2
	胆振							2	1.7			2.0	1.9
	日高					1	0.9					1.0	0.9
	渡島	1	1.0	2	1.9	4	3.5			1	1.0	2.0	1.9
	檜山	1	1.0	1	1.0							1.0	0.9
	上川	1	1.0			1	0.9	1	0.9			1.0	0.9
	留萌							1	0.9			1.0	0.9
	宗谷							1	0.9			1.0	0.9
	オホーツク												
	十勝	3	2.9	1	1.0	3	2.7	3	2.6	2	2.0	2.4	2.2
	釧路												
根室									1	1.0	1.0	0.9	
(小計)	88	83.8	92	87.6	87	77.0	93	80.9	88	86.3	89.6	83.0	
道外	17	16.2	13	12.4	26	23.0	22	19.1	14	13.7	18.4	17.0	
計	105	-	105	-	113	-	115	-	102	-	108.0	-	

リハビリテーション科学部作業療法学科

地域	2016年度		
	人	%	
道内	石狩	25	62.5
	空知	2	5.0
	後志	1	2.5
	胆振	2	5.0
	日高		
	渡島		
	檜山		
	上川		
	留萌		
	宗谷		
	オホーツク		
	十勝	4	10.0
	釧路	1	2.5
根室			
(小計)	35	87.5	
道外	5	12.5	
計	40	100.0	

リハビリテーション科学部 理学療法学科と作業療法学科は、2016年に一期生が卒業のため一期生の実績のみ

看護福祉学部臨床福祉学科

地域	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		5年間平均		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
道内	石狩	25	59.5	33	58.9	40	64.5	35	50.0	57	57.6	38.0	57.8
	空知	2	4.8	4	7.1	3	4.8	3	4.3	4	4.0	3.2	4.9
	後志	2	4.8	1	1.8	5	8.1	6	8.6	12	12.1	5.2	7.9
	胆振	1	2.4	4	7.1	6	9.7	6	8.6	2	2.0	3.8	5.8
	日高	1	2.4	2	3.6					1	1.0	1.3	2.0
	渡島	2	4.8	1	1.8			1	1.4	5	5.1	2.3	3.4
	檜山			3	5.4							3.0	4.6
	上川	5	11.9	2	3.6	1	1.6	2	2.9	4	4.0	2.8	4.3
	留萌												
	宗谷	1	2.4	1	1.8							1.0	1.5
	オホーツク	1	2.4			2	3.2	1	1.4	5	5.1	2.3	3.4
	十勝	1	2.4			2	3.2	6	8.6	2	2.0	2.8	4.2
	釧路			2	3.6			1	1.4	3	3.0	2.0	3.0
根室													
(小計)	41	97.6	53	94.6	59	95.2	61	87.1	95	96.0	61.8	93.9	
道外	1	2.4	3	5.4	3	4.8	9	12.9	4	4.0	4.0	6.1	
計	42	-	56	-	62	-	70	-	99	-	65.8	-	

心理科学部臨床心理学科

地域	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		5年間平均		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
道内	石狩	33	80.5	27	61.4	37	68.5	45	81.8	46	83.6	37.6	75.5
	空知					1	1.9			2	3.6	0.6	1.2
	後志	1	2.4	1	2.3	1	1.9			1	1.8	0.8	1.6
	胆振					2	3.7					0.4	0.8
	日高												
	渡島	1	2.4					1	1.8			0.4	0.8
	檜山	1	2.4									0.2	0.4
	上川			2	4.5	1	1.9					0.6	1.2
	留萌												
	宗谷	1	2.4									0.2	0.4
	オホーツク					1	1.9	1	1.8			0.4	0.8
	十勝	1	2.4	2	4.5	1	1.9			2	3.6	1.2	2.4
	釧路			1	2.3			1	1.8	1	1.8	0.6	1.2
根室			1	2.3							0.2	0.4	
(小計)	38	92.7	34	77.3	44	81.5	48	87.3	52	94.5	43.2	86.7	
道外	3	7.3	10	22.7	10	18.5	7	12.7	3	5.5	6.6	13.3	
計	41	-	44	-	54	-	55	-	55	-	49.8	-	

心理科学部言語聴覚療法学科(2017年以降はリハビリテーション科学部に移行)

地域	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		5年間平均		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
道内	石狩	25	65.8	25	53.2	30	57.7	19	48.7	28	54.9	25.4	55.9
	空知					2	3.8	1	2.6			0.6	1.3
	後志			4	8.5	1	1.9	1	2.6	4	7.8	2.0	4.4
	胆振	1	2.6	3	6.4	5	9.6	2	5.1	1	2.0	2.4	5.3
	日高					1	1.9					0.2	0.4
	渡島	2	5.3	1	2.1	1	1.9	6	15.4	3	5.9	2.6	5.7
	檜山												
	上川	4	10.5	3	6.4			3	7.7	1	2.0	2.2	4.8
	留萌												
	宗谷												
	オホーツク			1	2.1			1	2.6	1	2.0	0.6	1.3
	十勝	1	2.6	4	8.5	2	3.8	1	2.6	2	3.9	2.0	4.4
	釧路	2	5.3	1	2.1	1	1.9			1	2.0	1.0	2.2
根室									1	2.0	0.2	0.4	
(小計)	35	92.1	42	89.4	43	82.7	34	87.2	42	82.4	39.2	86.3	
道外	3	7.9	5	10.6	9	17.3	5	12.8	9	17.6	6.2	13.7	
計	38	-	47	-	52	-	39	-	51	-	45.4	-	

全学部計

地域	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		5年間平均		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
道内	石狩	216	65.5	237	67.2	250	65.6	245	64.2	356.9	68.1	261.0	66.3
	空知	4.609	1.4	4.971	1.4	8	2.1	4	1.0	9.471	1.8	6.2	1.6
	後志	8.478	2.6	7	2.0	8	2.1	7	1.8	21.47	4.1	10.4	2.6
	胆振	3.739	1.1	13.8	3.9	15	3.9	13.39	3.5	7.941	1.5	10.8	2.7